

目 次

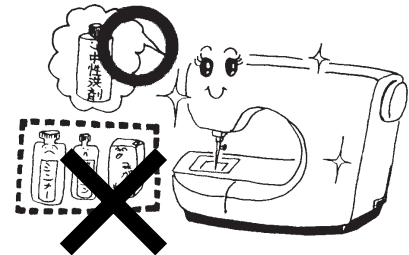
◎お取り扱いについてのお願い	2	●ジグザグぬい	28～29
◎各部の名まえ	3	★振幅（ぬい目幅）/ジグザグあらさの変更 ...	28～29
◎標準付属品と収納場所	4～5	●かがりぬい	30～31
◎操作方法	6～21	●くけぬい（まつりぬい）	32～33
●補助テーブルの使い方	6	●ファスナー付け	34～36
●電源のつなぎ方	7	●キルティング	37
★スタート・ストップボタンの使用	7	◎ボタンホール	38～50
★フットコントローラーの使用	7	●ボタンホールの種類と用途	38
●操作ボタンのはたらき	8	●センサーボタンホール	39～43
★スタート・ストップボタン	8	★スクエアボタンホール	39～41
★返しぬいボタン	8	★芯入りセンサーボタンホール	42
★止めぬいボタン	8	★ボタンホールの幅をかえるとき	43
★上下停針ボタン	8	★ぬい目のあらさをかえるとき	43
●速さの調節	8	●オートボタンホール	44～45
★スピードコントロールつまみ	8	●ボタン付け	46
★フットコントローラー	8	●つくろいぬい	47～48
●押さえ上げ	9	●かんぬきどめ	49
●押さえの取りかえ	9～11	●アイレット	50
★押さえの外し方、付け方	9	◎飾りぬい（サテン模様）	51～55
★T：ボタン付け押さえ	10	●キーのはたらき	51～52
★送りジョーズ	10	●ワンサイクルぬいの例	53
★P：刺しゅう押さえ	10	●組み合わせ連続模様ぬいの例	53
★各種押さえと用途	11	●エロンゲータぬい	54
●下糸の準備をしましょう	12～14	●反転キーを使った連続模様ぬいの例	55
★ボビンを取り出します	12	◎飾りぬい	56～61
★糸こまをセットします	12	●キーのはたらき	56
★補助糸立て棒の利用	12	●アップリケ	56
★ボビンに糸を巻きます	13	●直線模様の記憶ぬい	57
★ボビンをセットします	14	●先頭頭出しキーの使い方	58
●上糸の準備をしましょう	15～17	●組み合わせ模様の個別調節	59
★上糸をかけます	15	●プログラム修正	60
★糸通しの使い方	16	★模様の削除	60
★下糸の引きあげ方	17	★模様の挿入	60
●針のとりかえ方	18	●プログラム確認	61
●布に適した糸や針を選ぶ目安	18	◎2本針ぬい	62～63
●糸調子の合わせ方	19	◎文字ぬい	64～70
★自動糸調子	19	●キーのはたらき（ブロック体）	64
★マニュアル糸調子	19	●キーのはたらき（明朝体）	65
●押さえ圧ダイヤルの使い方	20	●ぬい例	66～68
●送り歯のさげ方	20	●ファイルの保存	69～70
●モード切りかえ	21	◎模様の形の整え方	71
◎通常ぬい	22～37		
●模様の選び方	22		
●キーのはたらき	22		
●実用ぬい	23～27		
★直線ぬい	23～24		
★針板ガイドラインの利用	24		
★直線模様の針落ちの変更 /			
ぬい目あらさの合わせ方	25～26		
★その他の直線模様	27		

◎おとり扱いについてのお願い

◎刺しゅう	72～95
●刺しゅう枠（テンプレート）の種類と用途	72
●芯地	73
●刺しゅう糸	73
●押さえ圧ダイヤル	73
●糸調子	73
●押さえ	73
●針	73
●布の張り方	74
●刺しゅう枠の取り付け	75
●ぬい始めの糸掛け	75
●内蔵模様	76
●刺しゅう画面キーのはたらき	77～79
★ぬい	79
●文字刺しゅう	80～84
★モノグラム選択画面	80
★キーのはたらき	80～81
★文字ぬい例	82～83
★2 エンブレム	84
●プログラム修正	85
★文字の削除	85
★文字の挿入	85
●カード刺しゅう（オプション）	86
★メモリーカードのセットと取り出し方	86
★模様選択	86
●カードリーダー（オプション）読み込み	87
★カードリーダーの接続	87
★模様選択	87
●編集	88～93
★編集画面	88
★模様の指定	89
★キーのはたらき	90～93
●編集例	94～95
★内蔵模様と文字の組み合わせ	94～95
◎ファイルオープンキー	96
◎ミシンのお好みセット	97～99
★セットキー	97～99
★言語設定キー	99
◎ヘルプキー	100
◎ミシンのお手入れ	101～102
●かまの掃除	101
●内がまと針板の組み付け	101
●ランプの取りかえ	102
◎ミシンの調子が悪いときの直し方	103～105
◎模様一覧表	106～108

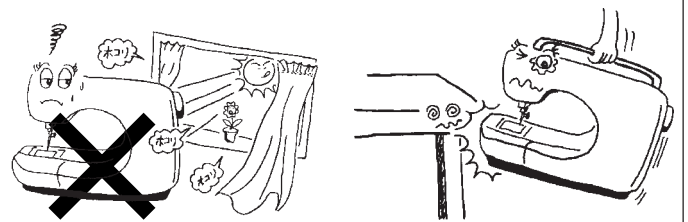
◇ご使用の前に

- ① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



◇いつまでもご愛用いただくために

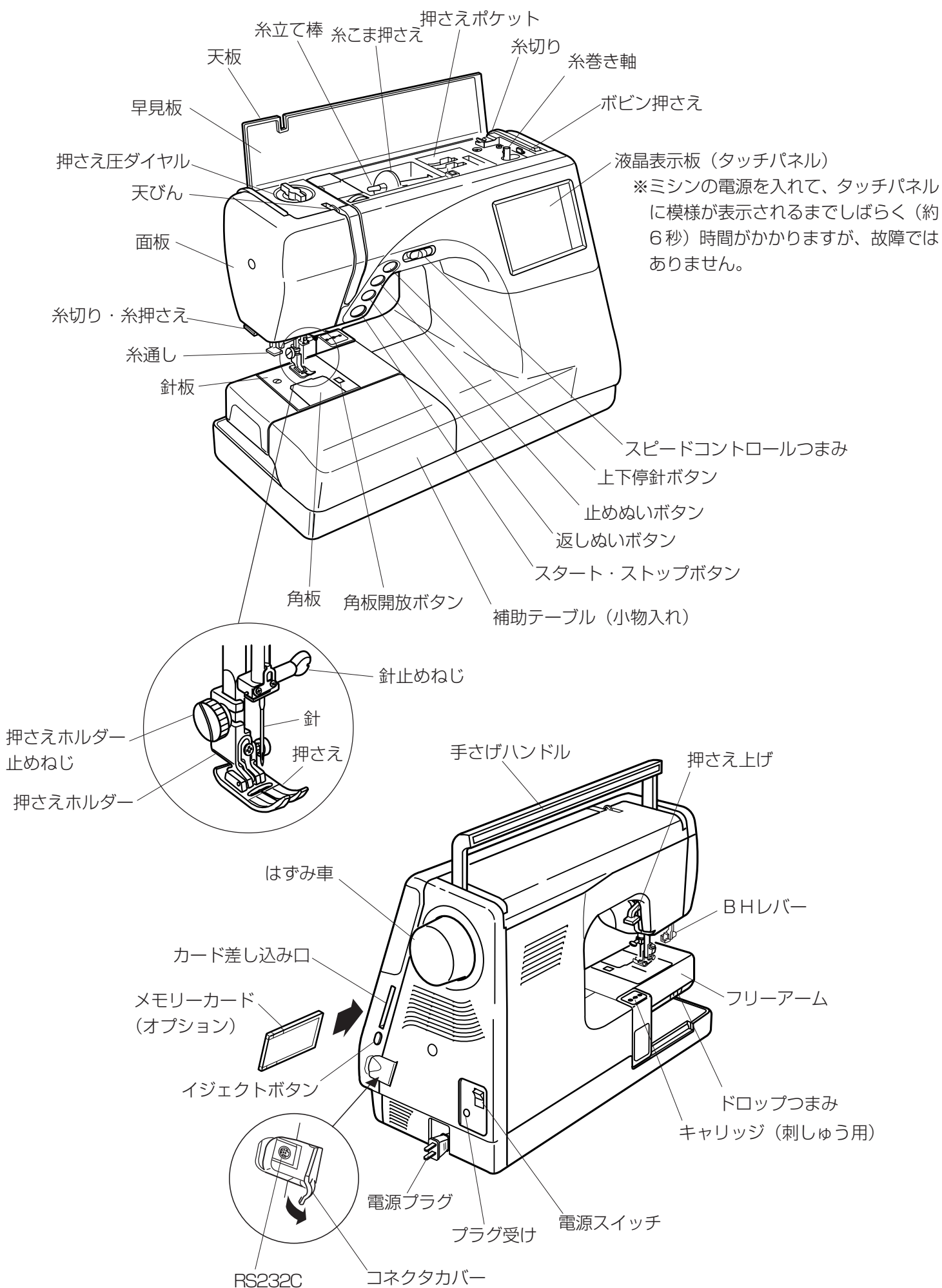
- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。



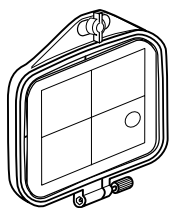
◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」（103～105ページ）により点検・調整を行ってください。

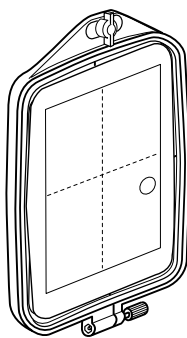
◎各部の名まえ



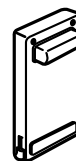
◎標準付属品と収納場所



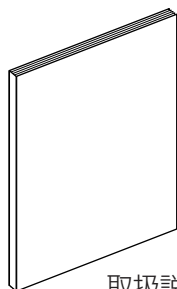
標準刺しゅう枠A (テンプレート付き)



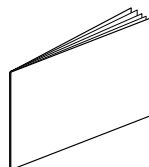
大型刺しゅう枠B (テンプレート付き)



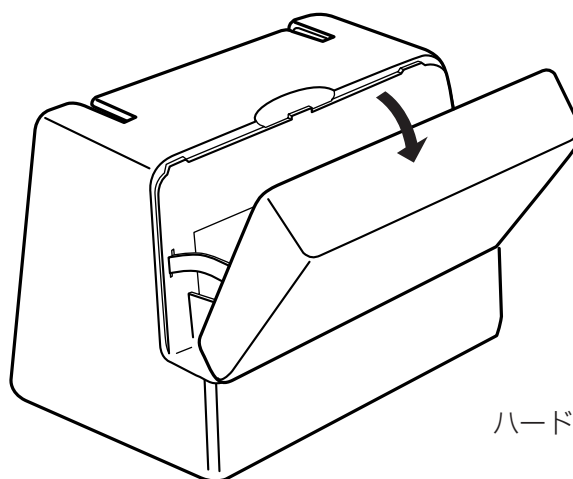
フットコントローラー
(オプション)



取扱説明書



刺しゅう内蔵模様用テンプレートシート

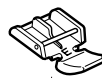


ハードカバー

F: サテン押さえ



E: ファスナー押さえ



C: たち目かがり押さえ



G: くけぬい押さえ



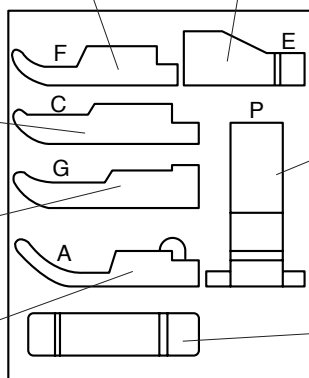
A: 基本押さえ



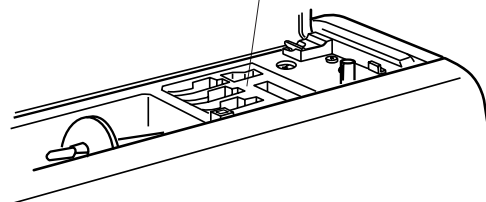
P: 刺しゅう押さえ

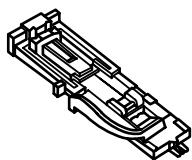


押さえホルダー

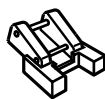


※ A: 基本押さえ、押さえホルダーは、ミシンにセットされています。

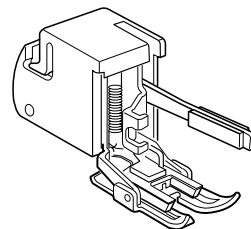




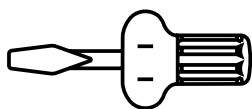
R : オートマチックボタンホール押さえ



T : ボタン付け押さえ



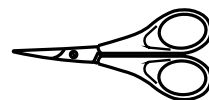
送りジョーズ



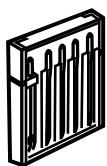
ねじまわし



ねじまわし



はさみ



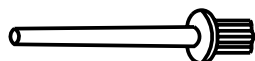
針と針ケース組



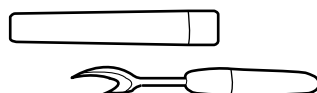
フェルト



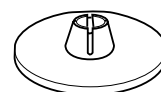
ブラシ



補助糸立て棒



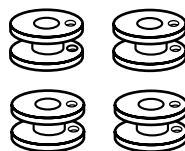
目ほどき



糸こま押さえ (大)



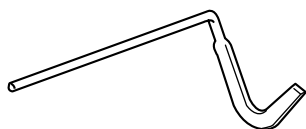
糸こま押さえ (小)



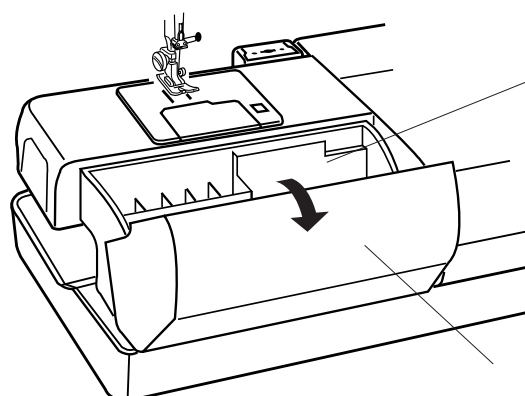
ボビン



糸こま受け台



キルター (棒定規)



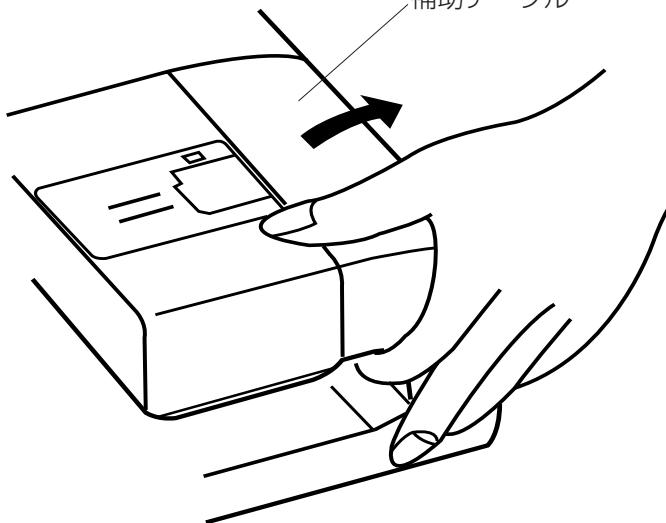
(小物入れ)
付属の収納にお使いください。

補助テーブル

◎操作方法

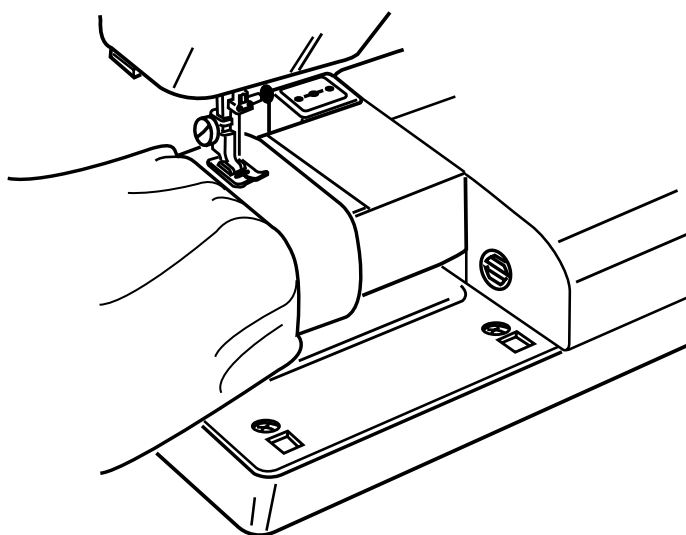
●補助テーブルの使い方

補助テーブル



(外し方)

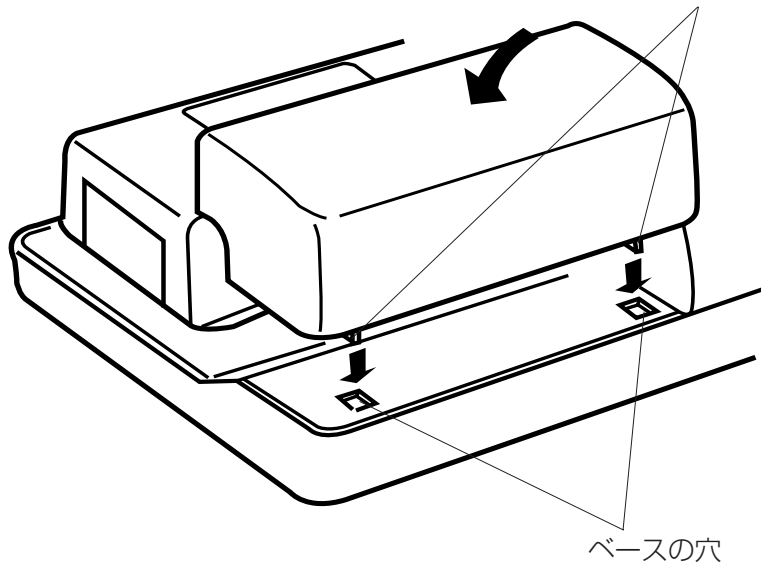
外すときは、補助テーブルを閉じて、下側に手をかけて持ちあげます。



(フリーアームの使い方)

袖口やすそなどのぬい、および、ふくろ物の口端の始末に利用します。

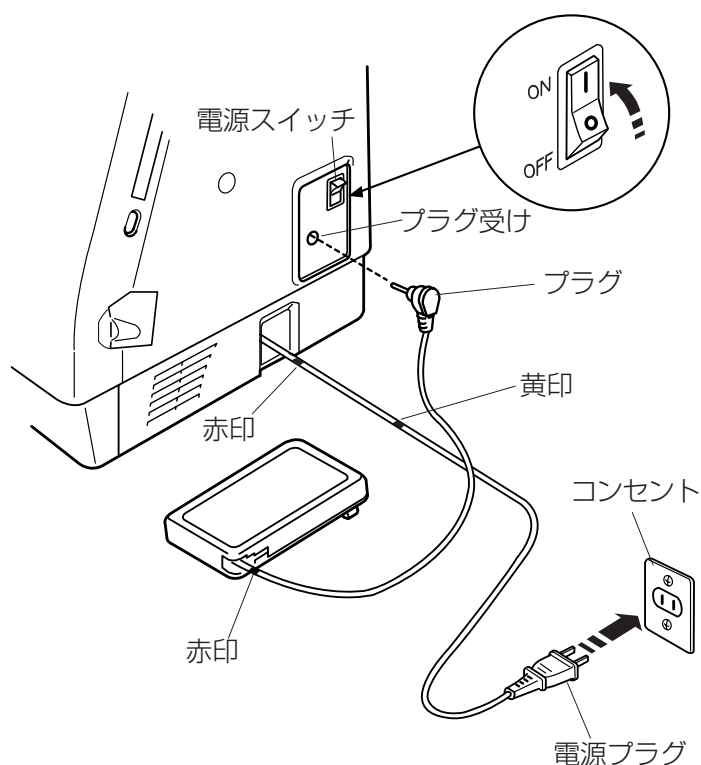
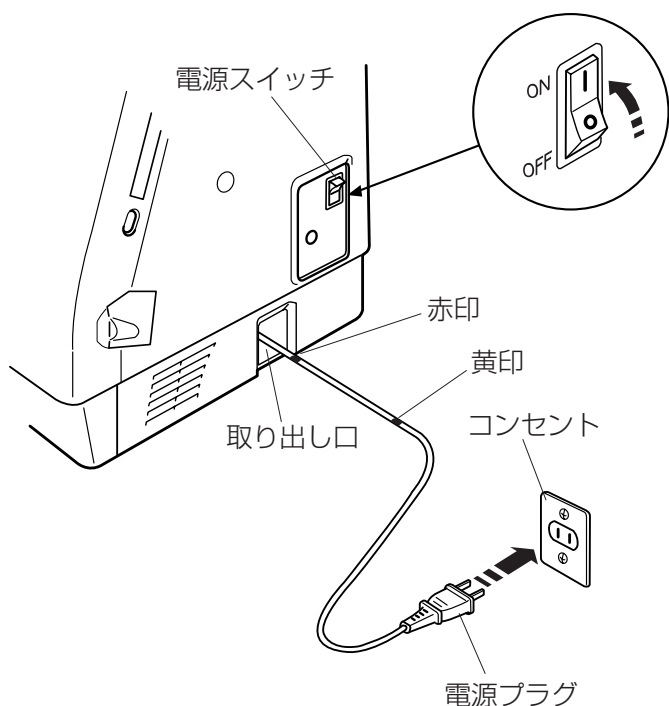
補助テーブルの足



(付け方)

付けるときは、ベースの穴に補助テーブルの足をのせて上から軽く押し付けます。

●電源のつなぎ方



⚠警告

- ・電源は、一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
- ・マシンを使わないときは、電源スイッチを「切」(OFF)にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。

★スタート・ストップボタンの使用

- ① 電源スイッチを「切」(OFF) にします。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③ 電源スイッチを「入」(ON) にします。

※電源コードを引き出すときは、取り出し口からまっすぐに引き出してください。

※コードを引き出したときに、黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。

★フットコントローラー(オプション)の使用

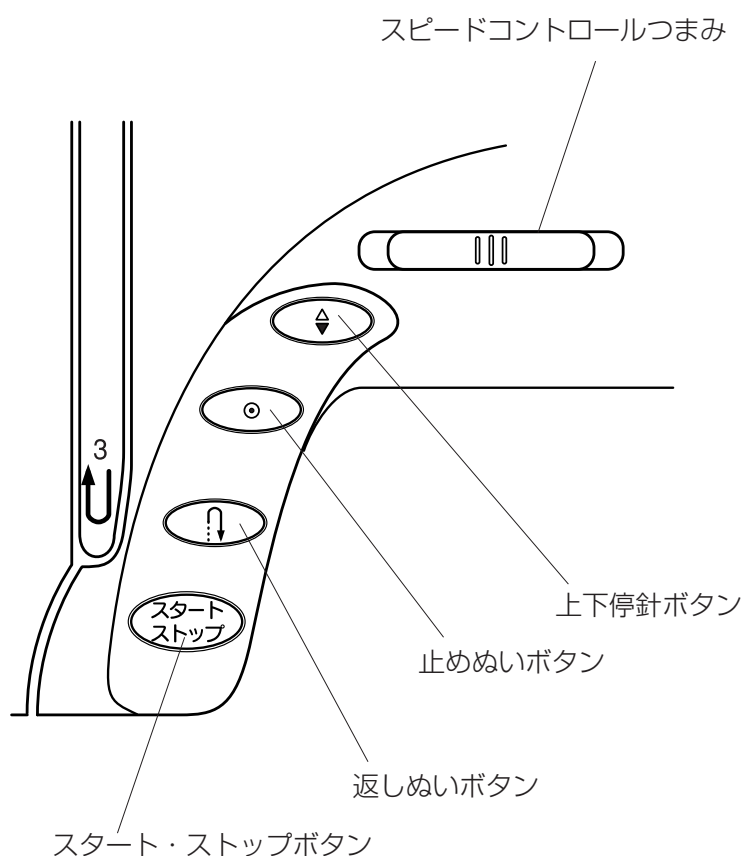
- ① 電源スイッチを「切」(OFF) にします。
- ② コントローラーのプラグをプラグ受けに差し込みます。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ④ 電源スイッチを「入」(ON) にします。

※電源スイッチの「入」「切」の操作はコンピューターに負担をかけるので、少なくとも2秒以上の間隔をあけてください。

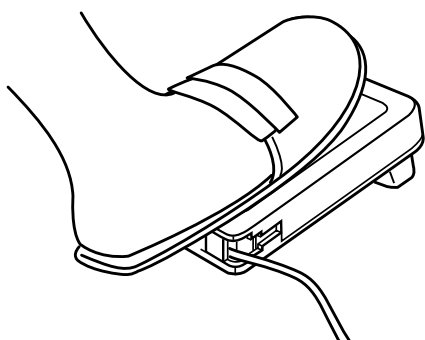
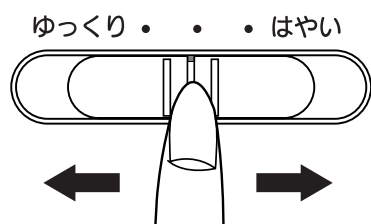
※コードを引き出したときに、黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。

※フットコントローラーを使用する場合は、スタート・ストップボタンは使用できません。

●操作ボタンのはたらき



●速さの調節



★スタート・ストップボタン

ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬいはじめます。

※ スタートさせると、ボタンが「緑」から「赤」にかわります。

★返しぬいボタン

【運転中の返しぬい】

模様 は、ボタンを押している間は返しぬいをします。その他の模様のときには、すぐに止めぬいをして自動的に止まります。

【停止中の返しぬい】(スタート・ストップボタン使用時のみ)
模様 # 0 1、0 2、0 6、0 7 は、ミシンが動いていない状態で返しぬいボタンを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと止まります。

★止めぬいボタン

模様 は、ボタンを押すと数針止めぬいをして自動的に止まります。

その他の模様ぬいのときには、模様を完成させたあと、止めぬいをし自動的に止まります。

★上下停針ボタン

ミシンが止まっているときボタンを押すと、針が上位位置から下位置に切りかわります。

もう一度押すと、上位位置にもどります。

★スピードコントロールつまみ

ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由にセットできます。

★フットコントローラー (オプション)

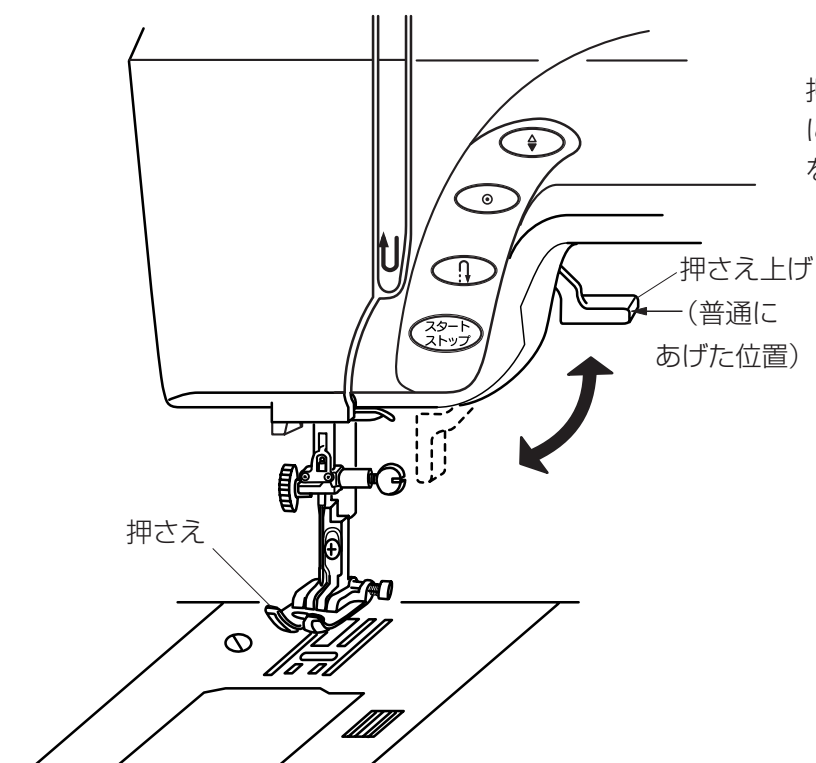
フットコントローラーの踏みかげんで、ぬう速さが調節できます。

フットコントローラーをはなすと、通常は針が上の位置で止まります。

深く 踏む→速くなる。

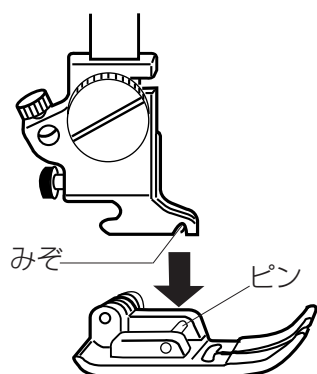
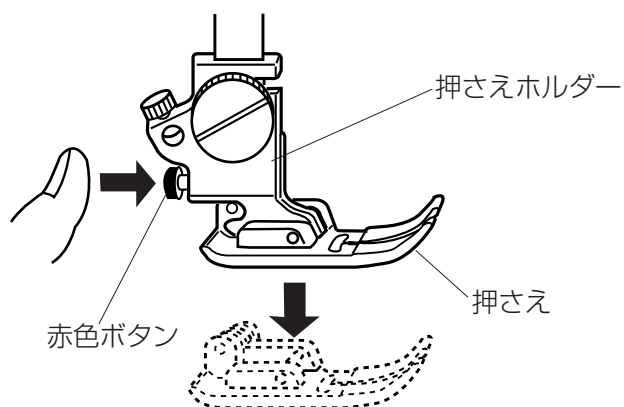
浅く 踏む→遅くなる。

●押さえ上げ



押さえ上げで、押さえのあげさげを行ないます。普通にあげた位置よりさらにあげることもでき、厚物の布を入れるときの補助リフトとして使用します。

●押さえの取りかえ



⚠注意

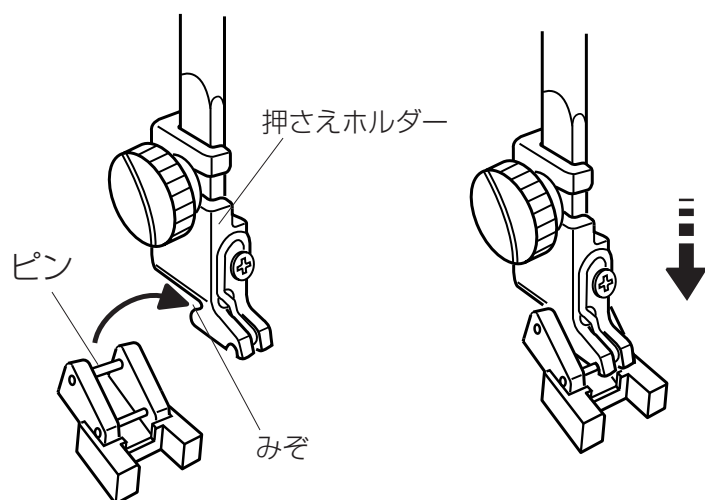
押さえ、押さえホルダーの交換は、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

けがの原因になります。

★押さえの外し方、付け方

- ① 針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダーの赤色ボタンを押して、押さえを外します。
- ③ 押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをさげます。

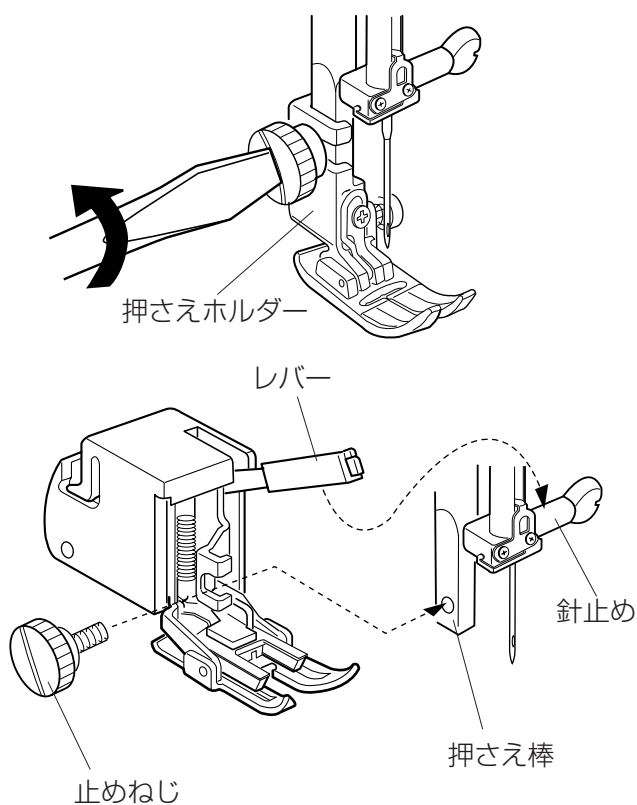
★T：ボタン付け押さえ



①押さえの後ろのピンを押さえホルダーの後ろのみぞにかけます。

②押さえの後ろを軽くささえながら、静かに押さえ上げをさげます。

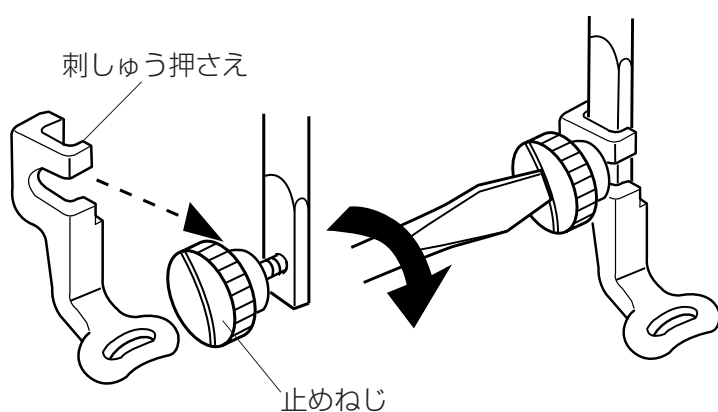
★送りジョーズ



①針と押さえをあげ、止めねじをゆるめて押さえホルダーを外します。

②送りジョーズのレバーが針止めにのるように、押さえ棒に取り付け、ねじまわしで止めねじをしっかりとめます。

★P：刺しゅう押さえ

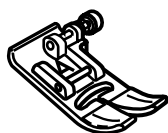


①針と押さえをあげ、止めねじをゆるめて押さえホルダーを外します。

②刺しゅう押さえを取り付け、ねじまわしで止めねじをしっかりとめます。

★各種押さえと用途

A：基本押さえ



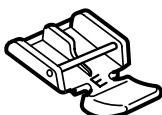
直線ぬいを主に、地ぬいをする時に使用します。糸締まりが良く、パッカリングの発生にも強い形状をしています。

C：たち目かがり押さえ



たち目かがり専用の押さえで、布の端面での空ぬいに対応するよう右針落ち部をブラシ状にしています。

E：ファスナー押さえ



ファスナーをぬいつけるための特殊な形をしています。

F：サテン押さえ



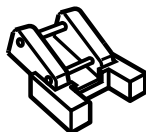
サテン（密着）模様ぬい、飾り模様ぬいをするための押さえで前後進ぬいで模様を安定させるために押さえの裏が逃げています。

G：くけぬい押さえ



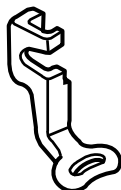
くけぬい専用の押さえで、布の折端のガイドがついています。

T：ボタン付け押さえ



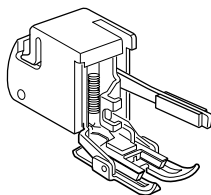
ボタン付け専用の押さえで、ぬい糸が良く見えるようになっています。

P：刺しゅう押さえ



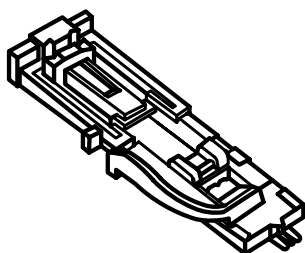
刺しゅう専用の押さえで、刺しゅうをする時に使います。

送りジョーズ



ぬいずれ、パッカリングを防ぐ目的の専用押さえです。

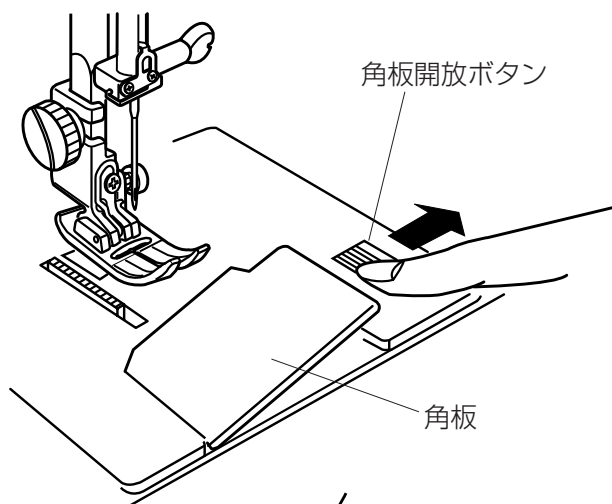
R：オートマチック
ボタンホール押さえ



ボタンホール専用の押さえで、全てのボタンホールぬいと、ダーニングぬいに使用します。

●下糸の準備をしましょう

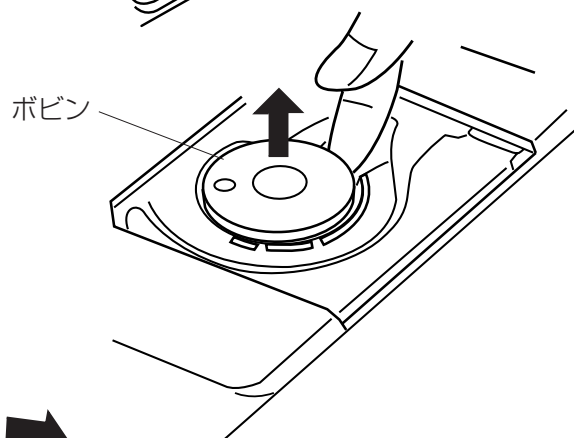
①



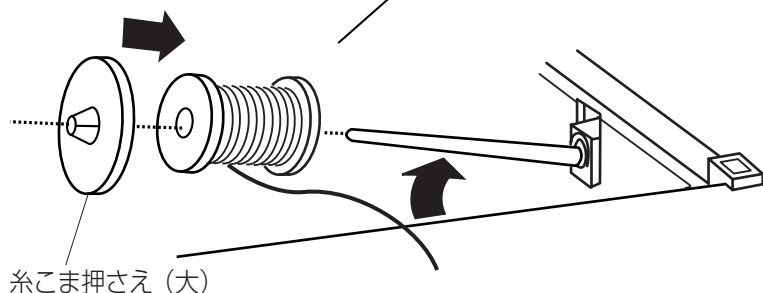
★ボビンを取り出します

① 角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。

②



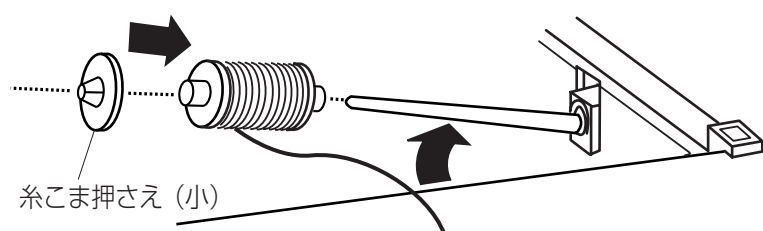
② ボビンを取り出します。



★糸こまをセットします

糸立て棒を軽くおこし、糸の端が下から手前に出るようにして、糸こまを入れ糸こま押さえで糸こまを押さえます。

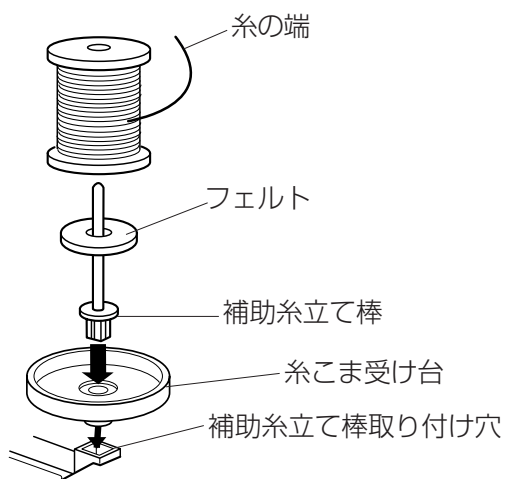
※ 糸こま押さえ (小) は、小さい糸こまに使用します。

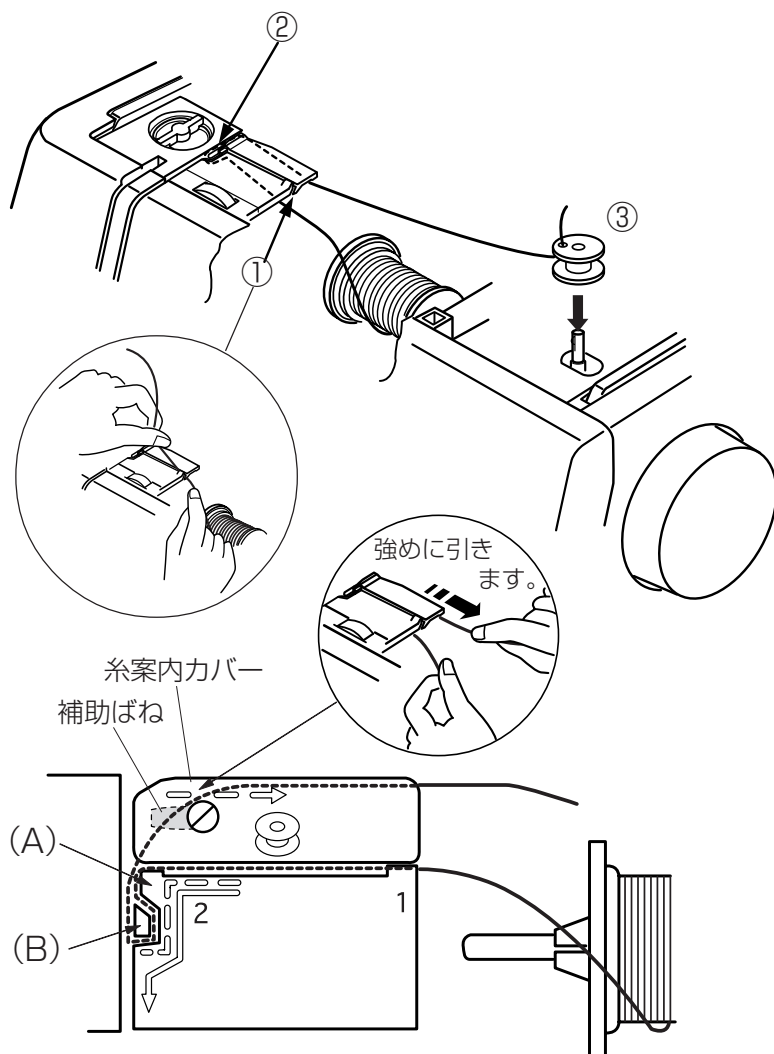


★補助糸立て棒の利用

補助糸立て棒での利用もできます。補助糸立て棒を使うときは、取り付け穴にセットします。糸の端は糸こまの右側からうしろに出るようにします。

※ 2本針ぬい のときにも利用します。





★ボビンに糸を巻きます

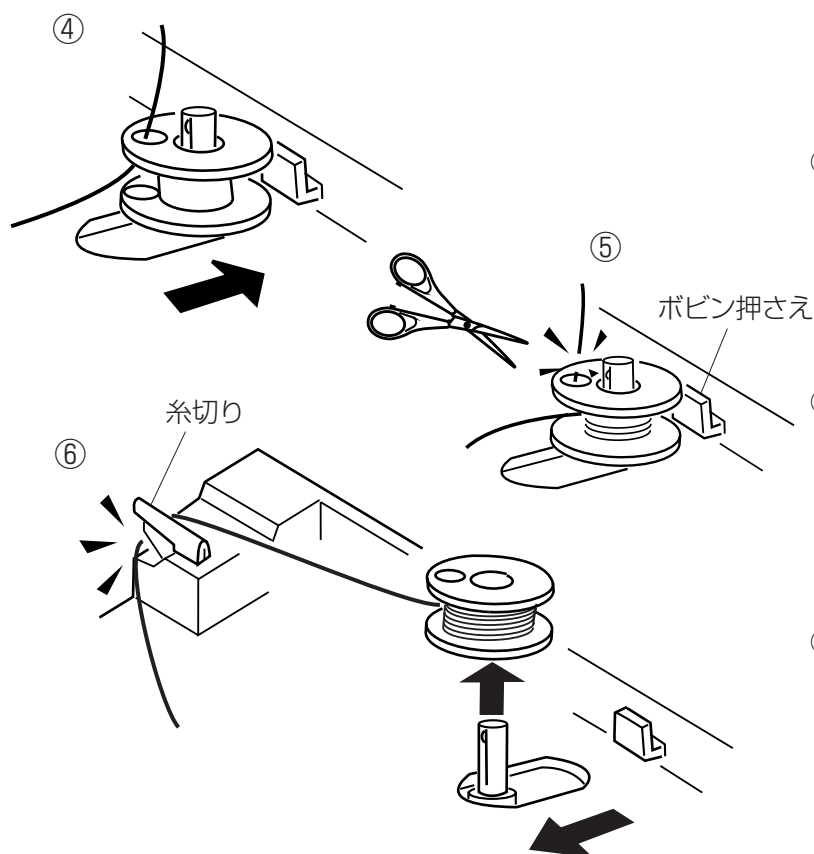
※ スピード・コントロールつまみは、「はやい」の位置にセットします。

① 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むように糸案内カバーのすきまに糸を通します。

② 糸案内 (A) と糸案内 (B) に糸を通し、糸案内カバーにかけて (補助ばねの下を通す) 右に引き出します。

※ 糸案内カバーにかけるときは、補助ばねの下を通るように矢印方向に強めに引いてください。補助ばねの下を通してないと糸巻き不良の原因になります。

③ ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。



④ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。

⑤ 糸の端をつまんだまま、ミシンをスタートして、ボビンに糸が3重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

⑥ 再びスタートして、巻き終わったらミシンを止めます。糸巻き軸をもどし、ボビンを糸巻き軸から外して、糸を糸切りで切ります。

※ 糸巻き軸は必ずミシンが止まってから動かしてください。

★ボビンをセットします

① 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。

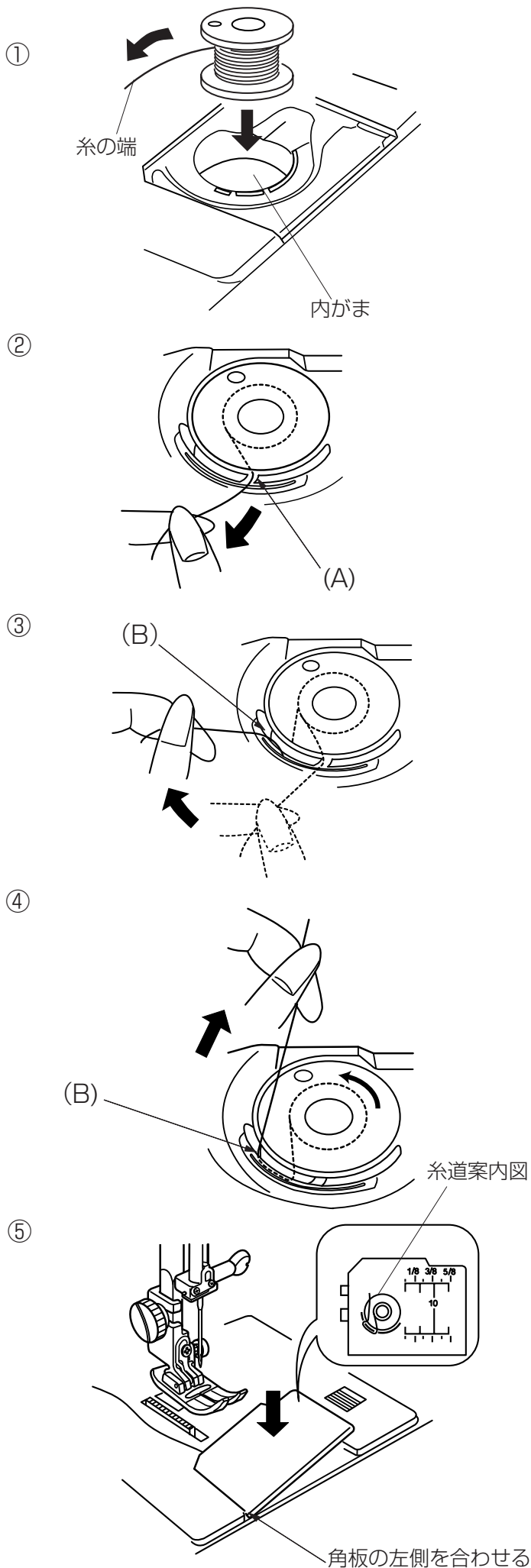
② 糸の端を引きながら、手前のみぞ (A) にかかけます。

③ 糸を引きながら、左へ移動させ、みぞの外側とバネの間を通して、左側のみぞ (B) のところに出します。

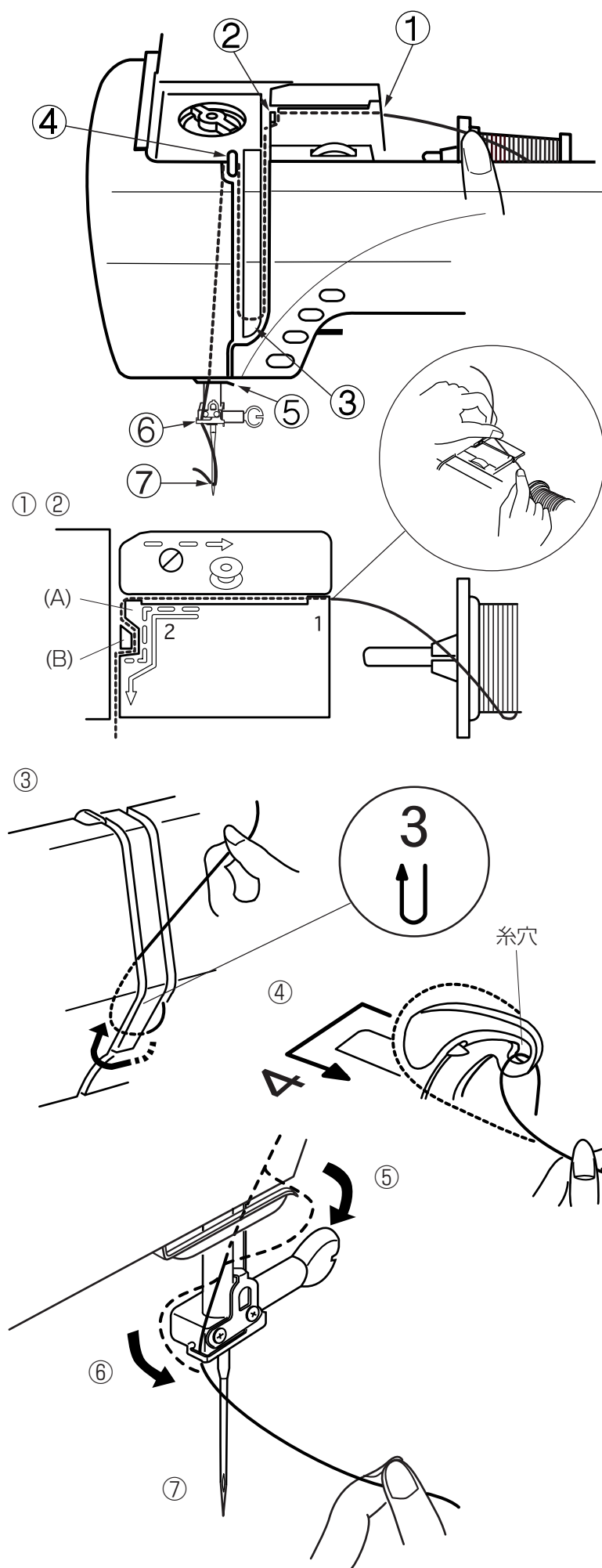
④ 糸を左側のみぞ (B) にかけるように向こう側に出します。

※ 糸を引き出したとき、ボビンは、反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ボビンの向きを上下逆に入れかえてください。

⑤ 下糸は、10cmくらい引き出して角板を左側から合わせてつけます。



●上糸の準備をしましょう



★上糸をかけます

- ※ 上糸は①～⑦の順にかけます。
- ※ ③～⑥にかけるときには、糸こまの糸を押さえておきます。
- ※ ⑦（針）には、糸通しを使って通します。
- ※ 電源を入れ、上下停針ボタンを2度押して、針をあげます。電源を切り、押さえをあげます。

① 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むようにして糸案内カバーのスキマに通します。

② 糸案内（A）と糸案内（B）に糸をまわし、みぞにそって手前に糸を引き出します。

③ 糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。

④ 糸こまの糸を押さえ、天びんに右からうしろへまわし、バネを通過させて糸穴に入れ、まっすぐにおろします。

⑤ アーム糸案内に右からかけます。

⑥ 針棒糸かけに左からかけます。

⑦ 糸通しを使って針に糸を通します。
（糸通しの使い方は、16ページをごらんください。）

★糸通しの使い方

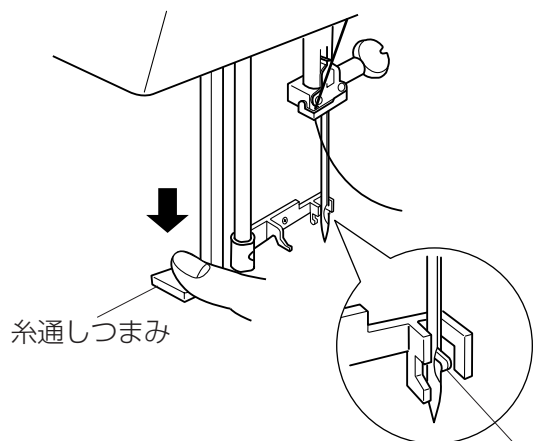
※ 針は、11番～16番

糸は、一般糸50～100番が使用できます。

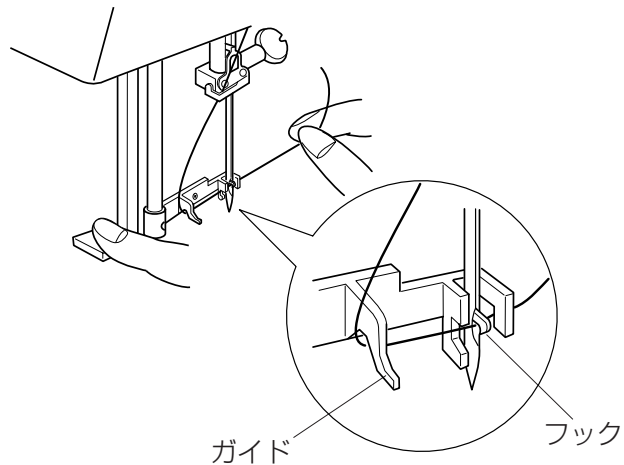
※ 2本針のときは、糸通しは使えません。

※ 押さえをさげます。

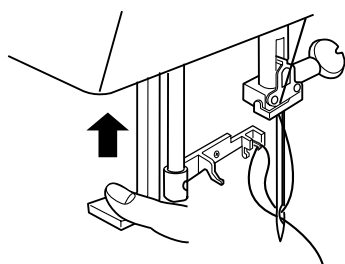
①



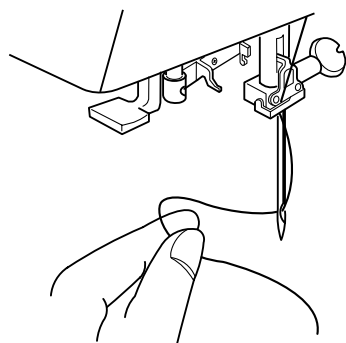
②



③



④



① 左手で糸通しつまみが止まるまでいっぱいにはさげます。フックが針穴に入るので糸通しつまみをそのまま保持しておきます。

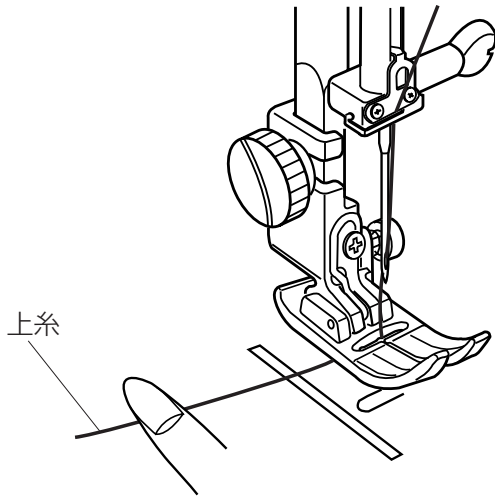
② 右手で糸を左側からガイドとフックにかけます。糸がたるまないように、ななめ上に引っ張っておきます。

③ 糸の端を軽く持ったまま、糸通しつまみを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。

④ 糸の輪を糸通しから外し、針穴から端を引き出します。

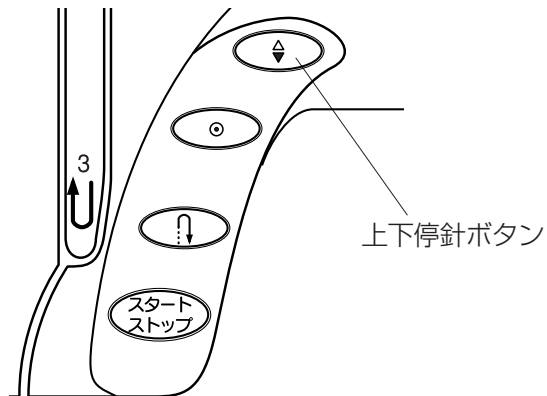
★下糸の引きあげ方

①



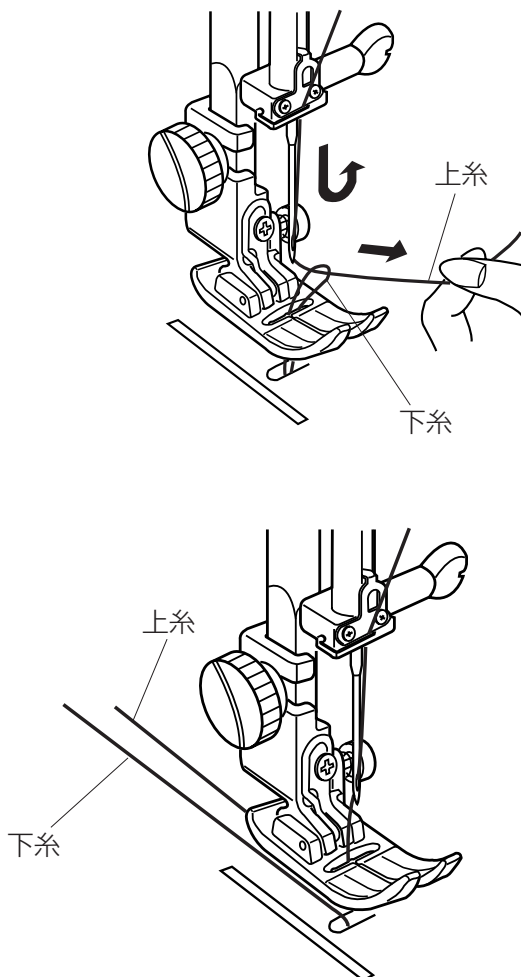
① 押さえをあげ、上糸の端を指で押さえておきます。

②



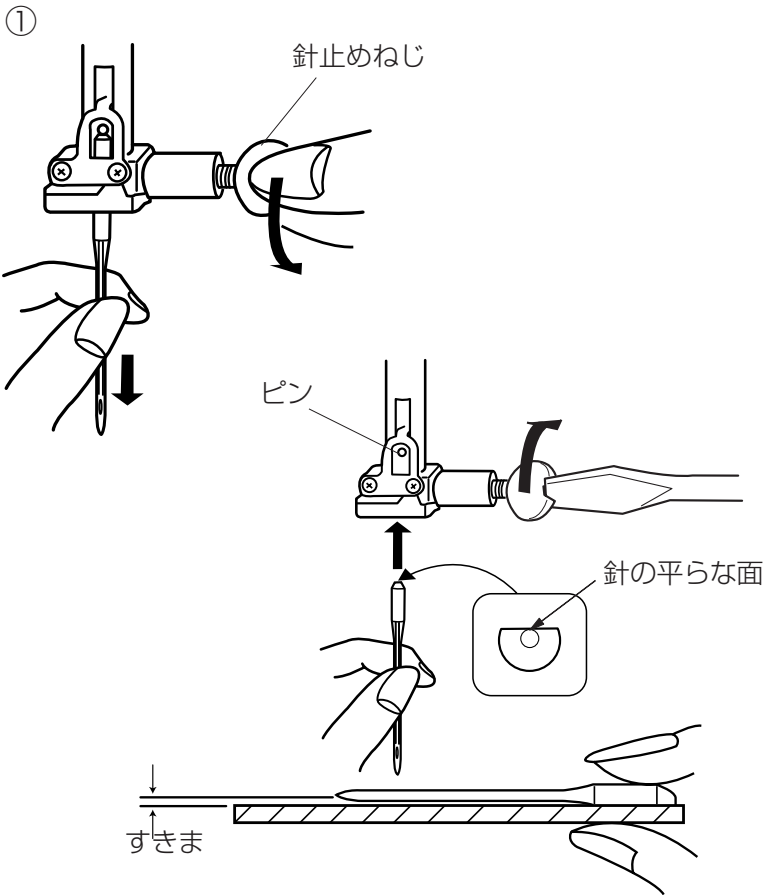
② 上下停針ボタンを2回押して、針をあげます。
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③



③ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cm
ほど引き出して、そろえておきます。

●針のとりかえ方



⚠注意

針の交換は、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
けがの原因になります。

① 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをねじまわしてかたくしめます。

(1) 針の調べ方

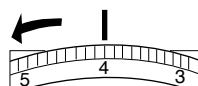
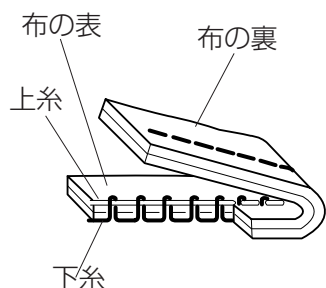
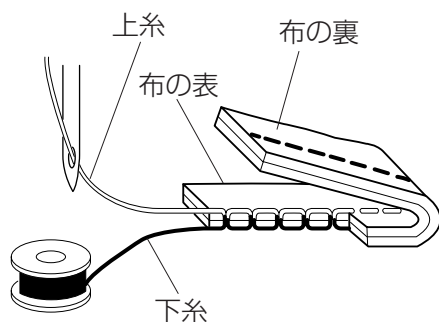
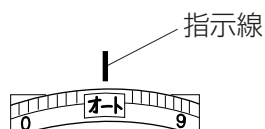
針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、スキマが針先まで均等に見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

布の厚さ	布の種類				糸	針
	木綿	絹	ウール・化繊織物	ニット		
うすい布	ローン ボイル	シフォン ジョーゼット オーガンジー	デジン クレープ モスリン	スミーズニット地 トリコット地	絹糸 80番～100番 綿糸 80番～100番 化繊糸 80番～100番	9番～11番
普通の布	ブロード サッカー ピケ	タフタ ファイユ サテン	ジョーゼット フラノ サキソニー	ジャガードニット地	絹糸 50番 綿糸 60番～80番 化繊糸 50番～80番	11番～14番
					綿糸 50番	14番
厚い布	デニム キルティング ギャバジン		ツイード ギャバジン コート地	ダブルニット地	絹糸 50番 綿糸 40番～50番 化繊糸 40番～50番	14番～16番
					絹糸 30番 綿糸 30番	16番

- ※ 普通、上糸と下糸は同じ糸を使います。
- ※ うすい布には細い糸と針、厚い布には太い糸と針を使いましょう。
- ※ 針や糸は、実際にぬう布のはぎれを使って、必ず試しぬいをして確かめてみましょう。
- ※ ジャノメブルー針は、柄の部分が青色をしています。伸縮性のある布（ニット地）や、目とびしやすい合・化繊地に効果があります。

●糸調子の合わせ方



★自動糸調子

このミシンは、指示線に糸調子ダイヤルの「オート」に合わせると、普通ぬいどきにバランスよくぬえる糸調子に自動セットされます。

※ 画面に（オート）が表示されている場合は、糸調子ダイヤルを「オート」に合わせてください。

【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいどき時は、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

ジグザグぬいどき時は、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

★マニュアル糸調子

糸調子のバランスがとれないときには、糸調子ダイヤルを「4」に合わせて試しぬいをしてください。

次に、下記調整を行ないます。

【上糸が強すぎる時】

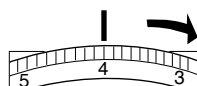
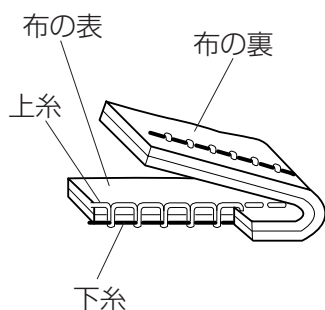
・・・下糸が布の表に引き出されます。

糸調子ダイヤルをまわして数値を小さくします。

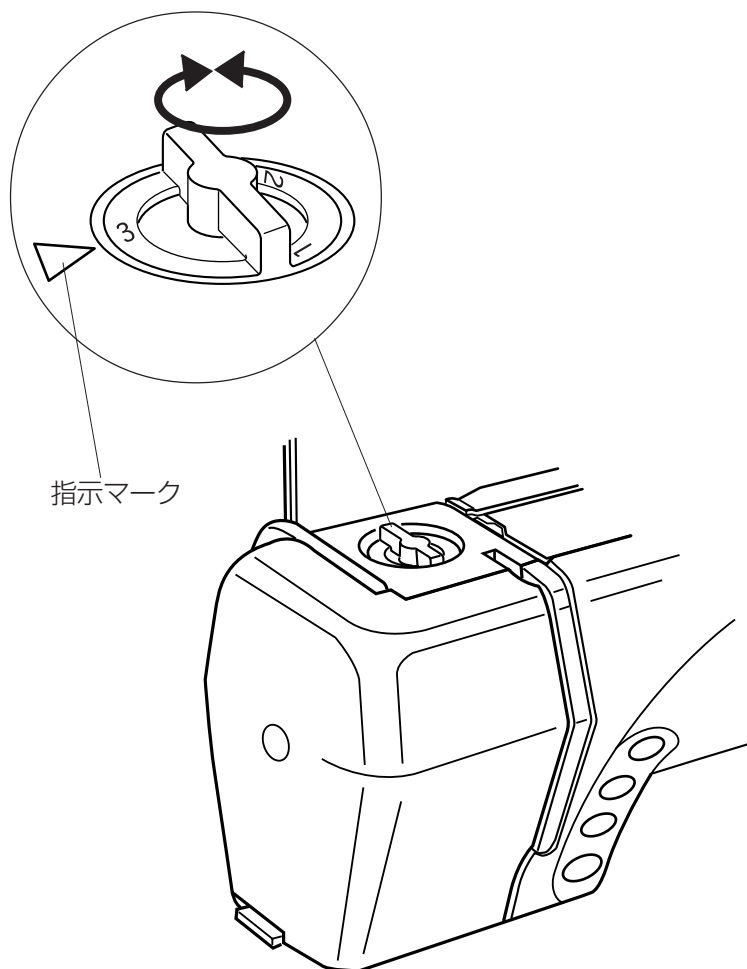
【上糸が弱すぎる時】

・・・上糸が布の裏に引き出されます。

糸調子ダイヤルをまわして数値を大きくします。



●押さえ圧ダイヤルの使い方



普通ぬいのはきは

.....「3」を指示マークに合わせます。

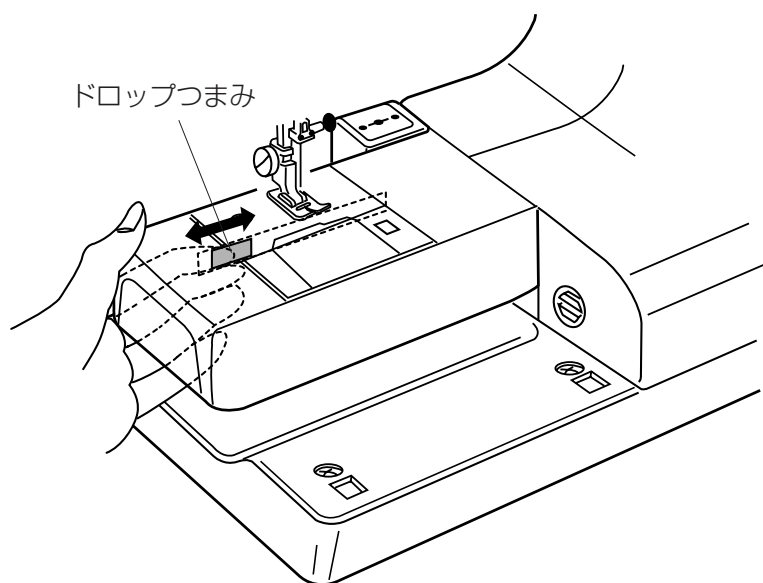
うす手の化繊地や伸縮性の布地をぬうとき、および
アップリケなどぬいしろ部分が重なりあうものをカー
ブしてぬうときなど、ぬいずれしやすい場合は

.....「2」または「1」を指示マークに合わせます。

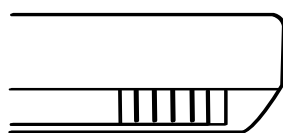
刺しゅうのとき

.....「2」を指示マークに合わせます。

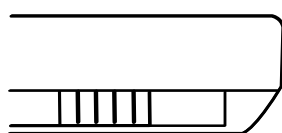
●送り歯のさげ方



※ 送り歯をさげた場合、終わったら、ドロップつまみを
あげる位置にもどしておきます。送り歯は、ミシ
ンが回転すると、自動的にあがります。



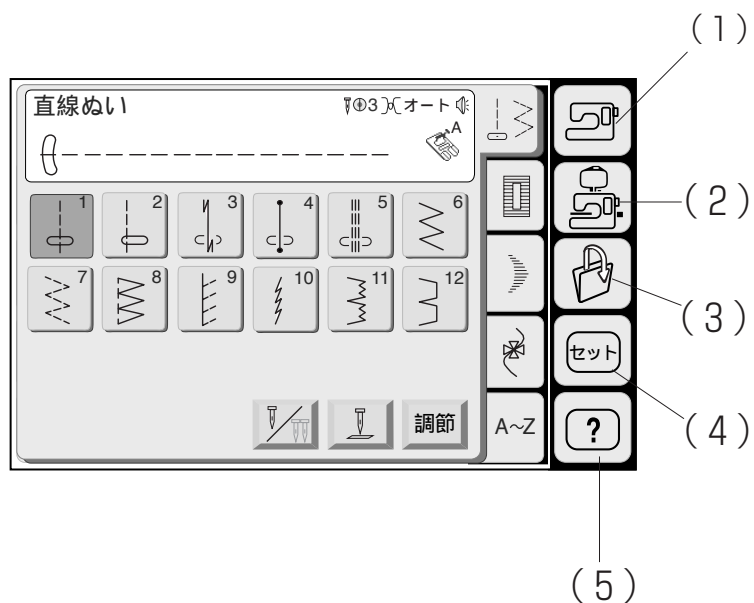
送り歯をさげた位置



送り歯をあげた位置

●モード切りかえ

ミシンの電源を入れると、オープニング画面が表示されたあと模様選択画面が表示されます。



(1) 通常ぬいモードキー

(22ページ参照)

通常ぬい状態にミシンがセットされ、通常ぬいの使用目的に合った模様を選択することができます。

(2) 刺しゅうモードキー

(76ページ参照)

刺しゅうぬい状態にミシンがセットされ、刺しゅうぬいの使用目的に合った模様を選択することができます。

(3) ファイルオープンキー

(96ページ参照)

通常ぬい、刺しゅうぬいそれぞれのモードで記憶された模様を呼び出すことができます。

(4) セットキー (97ページ参照)

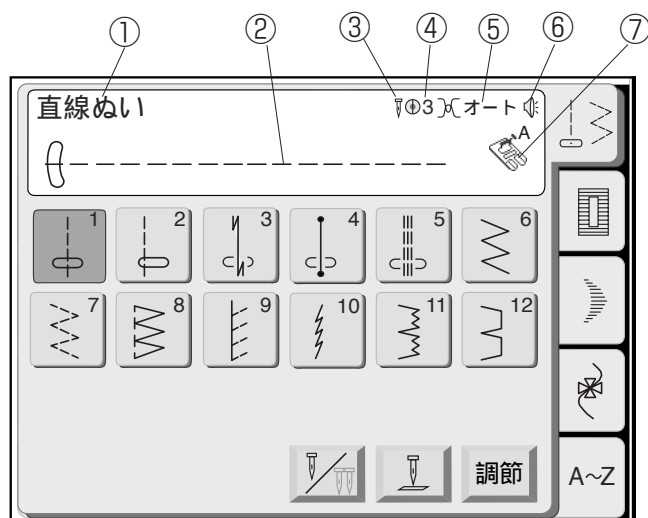
ミシンのセット状態、および使用言語をかえることができます。

(5) ヘルプキー (100ページ参照)

ミシンの重要な基本動作の説明を見ることができます。

◎通常ぬい

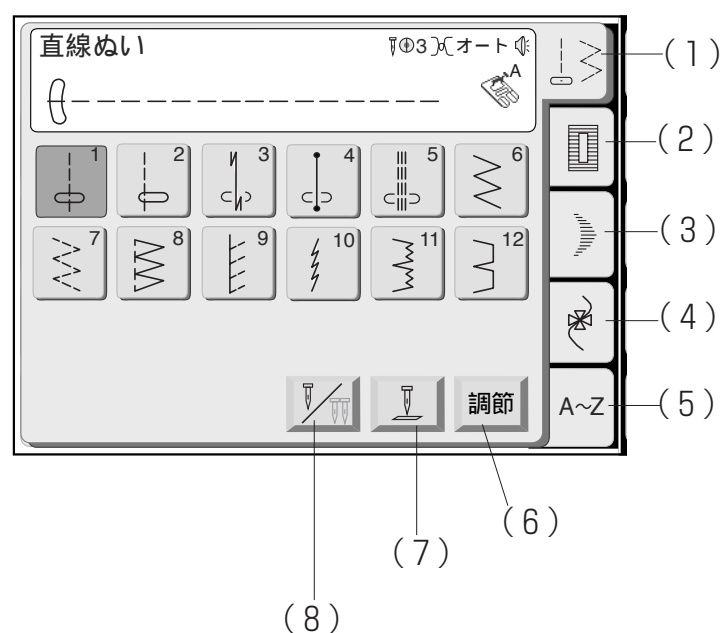
●模様の選び方



模様表示（キー）を直接押して、模様を選びます。

- ①模様名
- ②ぬい目
- ③2本針設定の有無表示
- ④押さえ圧の設定表示
- ⑤糸調子の設定を表示
- ⑥ブザー音量の設定を表示
(音量0のとき表示が消えます。)
- ⑦模様に適した押さえを表示

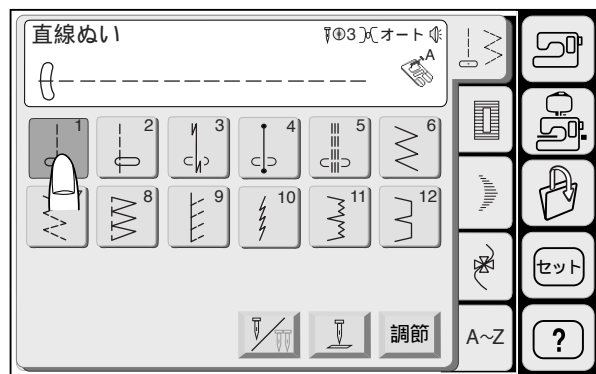
●キーのはたらき



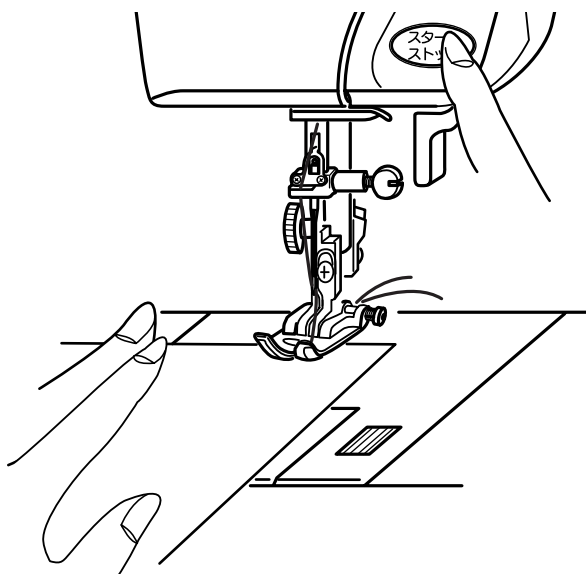
通常ぬいモードは5つに分類されていて、各キーを押すことによって、模様の選択をすることができるようになります。

- (1) 実用ぬい
12種類の実用ぬいを直接選択できます。
- (2) ボタンホール、ボタン付け、ダーニング、かんぬき止め、アイレット
8種類のボタンホール、ボタン付け、ダーニング、かんぬき止め、アイレットを直接選択できます。
- (3) 飾りぬい（サテン模様）
サテン（密着）模様を選択できるとともに、組み合わせ模様をプログラムすることができます。
- (4) 飾りぬい
飾りぬい模様を選択できるとともに、組み合わせ模様をプログラムすることができます。
- (5) 文字
文字の組み合わせ模様（文字列）を作成することができます。
- (6) 調節キー
調節キーを押すとマニュアル調節画面が表示されます。
振幅、送りなどマニュアル調節ができます。
- (7) 針上下切りかえキー
ミシンを停止したとき、針を上にするか下に止めるかを選択することができます。
- (8) 2本針ぬい切りかえキー
2本針ぬいのときに選択します。

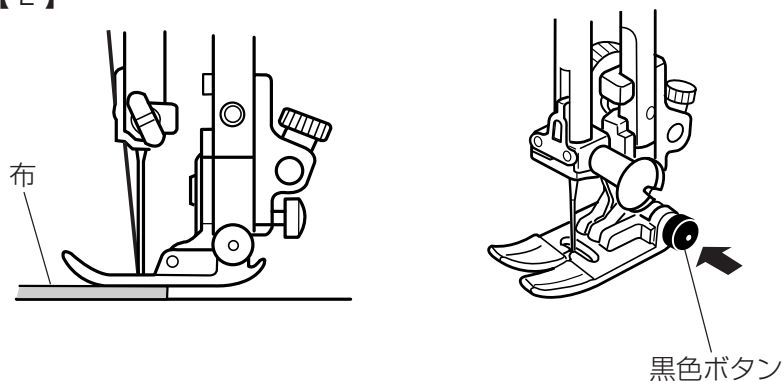
●実用ぬい



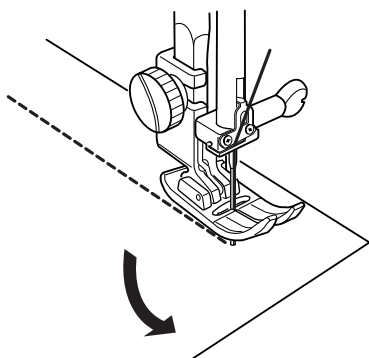
【1】



【2】



【3】



★直線ぬい

【1】ぬい始め

上糸と下糸を押さえの下を通し向こう側に引き出し、押さえをさげてぬい始めます。

※F：サテン押さえとR：オートマチックボタンホール押さえのぬい始めの上糸下糸は、横に引き出しておきます。

【2】厚手の布端のぬい始め

ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押しこみます。

ボタンを押したままで押さえをさげます。

ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

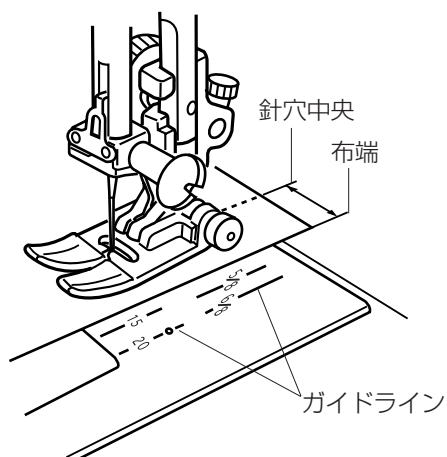
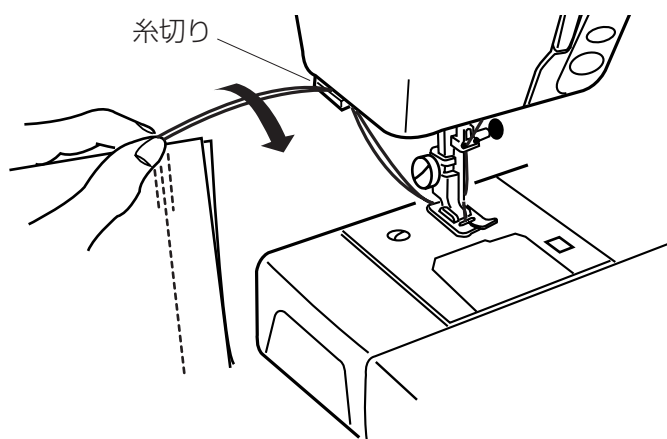
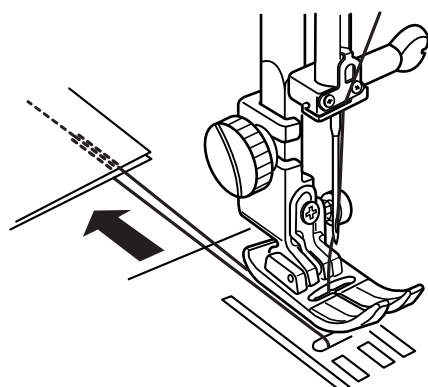
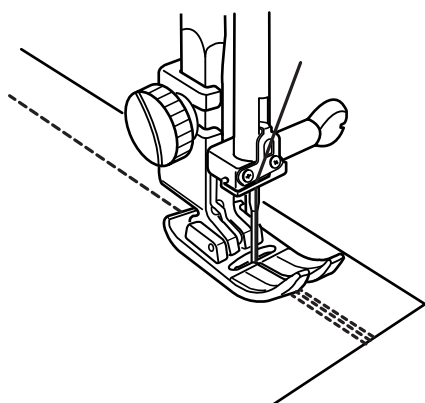
押さえが完全に布の上にのると、黒色ボタンの押しこみは自動的に解除されます。

【3】ぬい方向をかえるには

ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえをあげます。


針を布にさしたまま、ぬい方向をかえて押さえをさげ、スタート・ストップボタンを押して、ふたたびぬい始めます。

【4】



【4】ぬい終わりの返しぬい／糸切り

返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。

※模様  のぬい終わりには、返しぬいボタンを1度押すと、数針返しぬい（止めぬい）をして自動的に止まります。

押さえをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

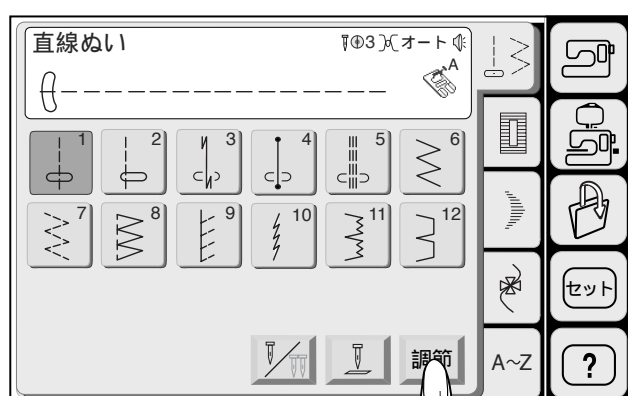
★針板ガイドラインの利用

布端を針板のガイドラインに合わせてぬいます。

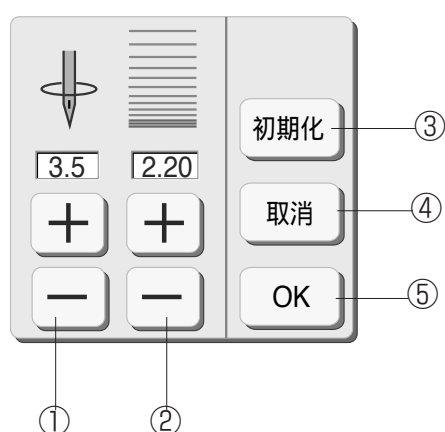
数 字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく (cm)	1.5	20	—	—	—
間かく (inch)	—	—	4/8	5/8	6/8

※ガイドラインの数字は、針穴中央からガイドラインまでの間隔を「ミリメートル」または、「インチ」で示しています。

★直線模様の針落ちの変更／ぬい目あらしの合わせ方



(1)



(1) 調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。

+ **-** キーを押してマニュアル調節をします。

① 針落ち位置調節キー

② 送り調節キー

③ 初期化キー

キーを押すと、表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

④ 取消キー

キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面にもどります。

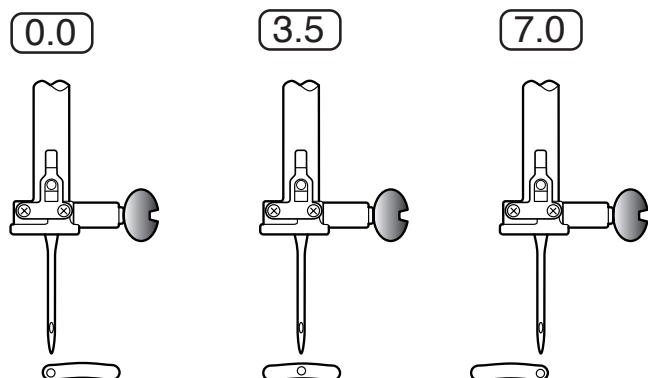
⑤ OKキー

キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面にもどります。

【1】



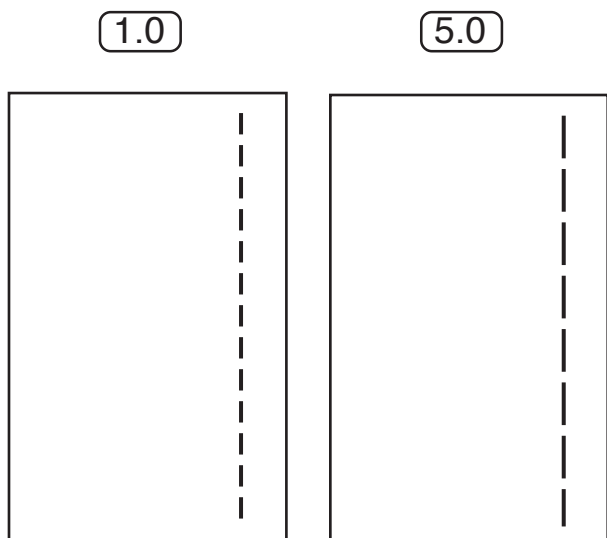
【1】 直線ぬいの針落ち位置をかえるとき
針落ち位置調節 **+** **-** キーで針落ち位置をか
えることができます。



【2】



【2】 ぬい目のあらさをかえるとき
- キーを押すと、表示される数値が小さくなり、
ぬい目が細くなります。
+ キーを押すと、表示される数値が大きくなり、
ぬい目があらくなります。



★その他直線状模様

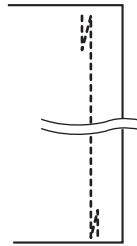
【1】



【1】 直線ぬい

端ぬいに使用します。

【2】



【2】 自動返しぬい

しっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使用します。

(スタート・ストップボタン使用時)

ぬい終わりにきたら、ミシンを止め、返しぬいボタンを1度押します。数針返しぬいをして自動的に止まります。

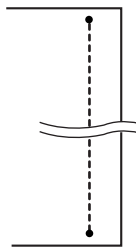
ミシンを止めないときも返しぬいボタンを1度押すと、数針返しぬいをして自動的に止まります。

(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりにきたら、返しぬいボタンを1度押します。

数針返しぬいをして自動的に止まります。

【3】



【3】 自動止めぬい

目立たない止めぬいを自動的に行うときに使用します。

(スタート・ストップボタン使用時)

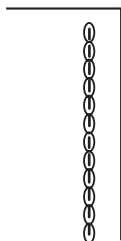
ぬい終わりにきたら、ミシンを止め、返しぬいボタンを1度押します。数針止めぬいをして自動的に止まります。ミシンを止めなくても返しぬいボタンを1度押すと、数針止めぬいをして自動的に止まります。

(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりにきたら、返しぬいボタンを1度押します。

数針止めぬいをして自動的に止まります。

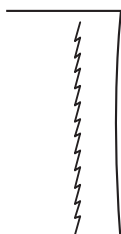
【4】



【4】 三重ぬい

伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

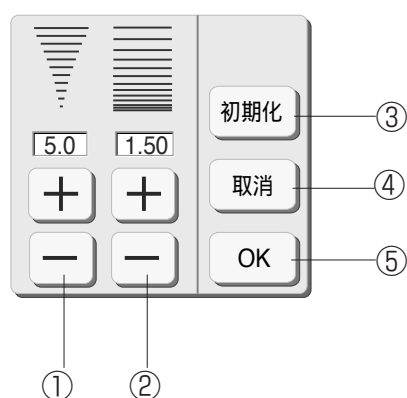
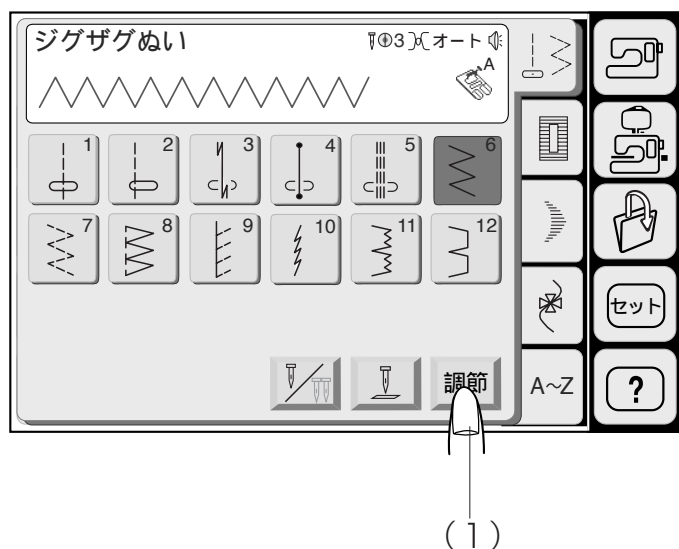
【5】



【5】 伸縮ぬい

布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目です。

●ジグザグぬい



★振幅（ぬい目幅）／ジグザグあらかさの変更

(1) 調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。

+ **-** キーを押してマニュアル調節をします。

① 振幅（ぬい目幅）調節キー

② 送り調節キー

③ 初期化キー

キーを押すと、表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

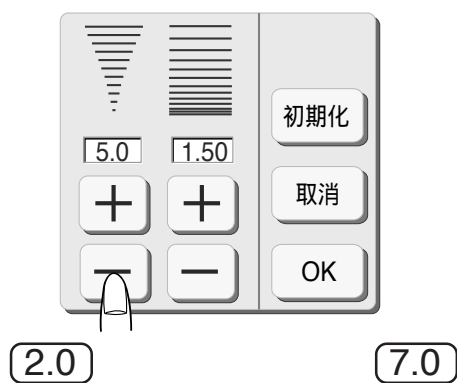
④ 取消キー

キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面にもどります。

⑤ OKキー

キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面にもどります。

【1】

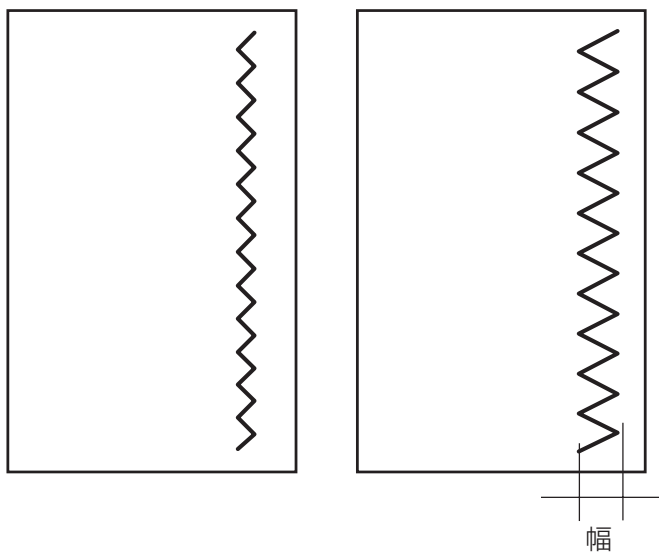


【1】 めい目幅の変更

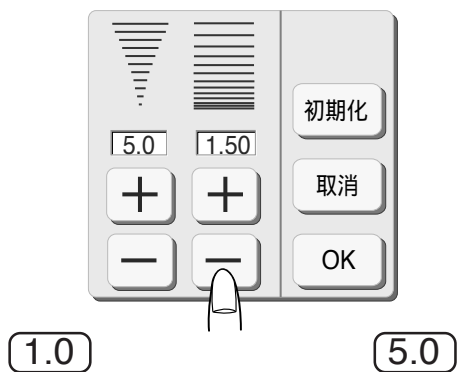
－ キーを押すと、表示される数値が小さくなり、めい目の幅はせまくなります。

＋ キーを押すと、表示される数値が大きくなり、めい目の幅は広くなります。

※セットが終わったら、「OK」キーを押します。



【2】

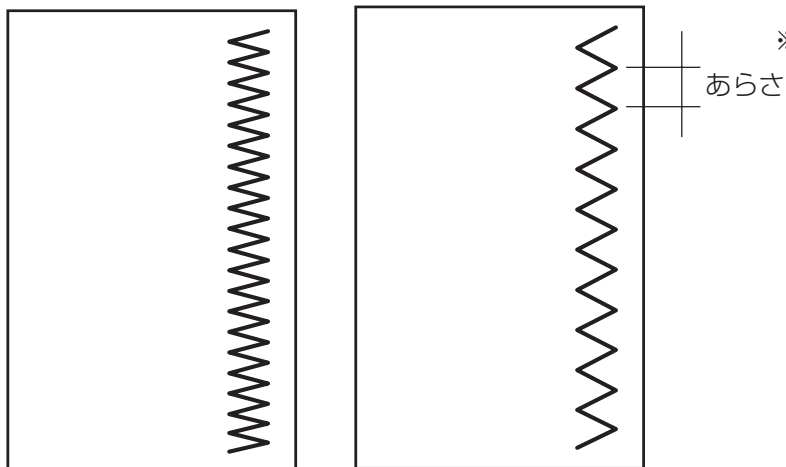


【2】 めい目あらしの変更

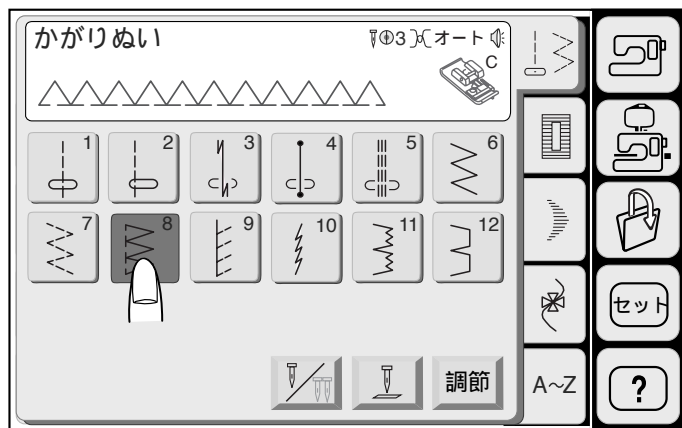
－ キーを押すと、表示される数値が小さくなり、めい目のあらしが細かくなります。

＋ キーを押すと、表示される数値が大きくなり、めい目のあらしがあらくなります。

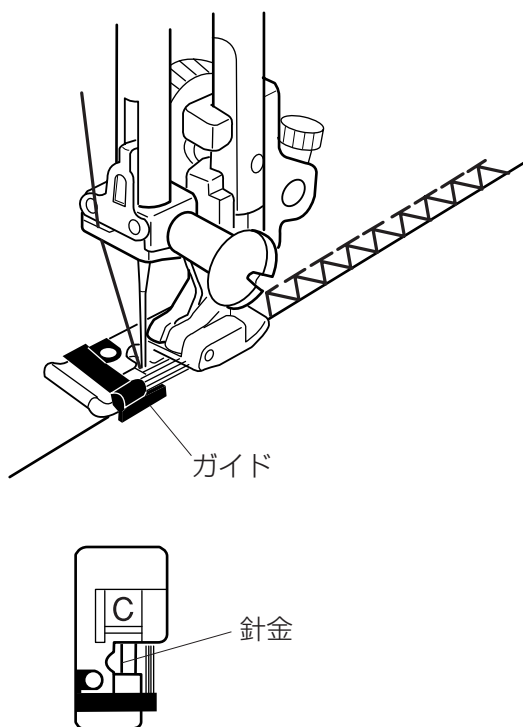
※セットが終わったら、「OK」キーを押します。



●かがりぬい



【1】

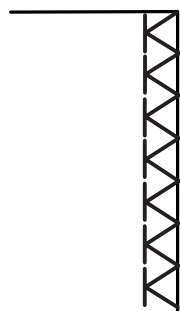


【1】かがりぬい

押さえ C：たち目かがり押さえ

地ぬいをかねた、たち目かがりに使います。
布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。

- ※ C：たち目かがり押さえを使用するかがりぬいのはきは、ぬい目の幅を5.0～7.0の間でぬいます。
- ※ ぬいの前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

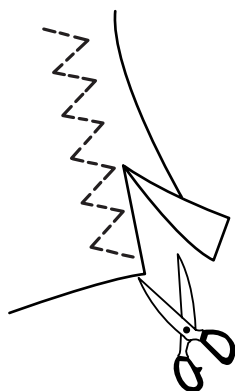
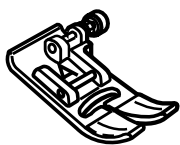


【2】

③



④



【2】トリコットぬいたち目かがり

③模様 #07

④押さえ A：基本押さえ

ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに利用します。

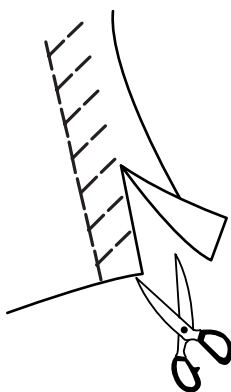
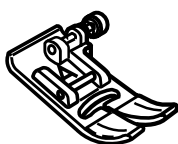
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

【3】

③



④



【3】ニットステッチ

③模様 #09

④押さえ A：基本押さえ

ニット地のかがりぬいに利用します。

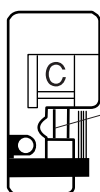
ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

【4】

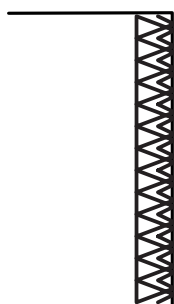
③



④



針金



【4】かがりぬい

③模様 #38

④押さえ C：たち目かがり押さえ

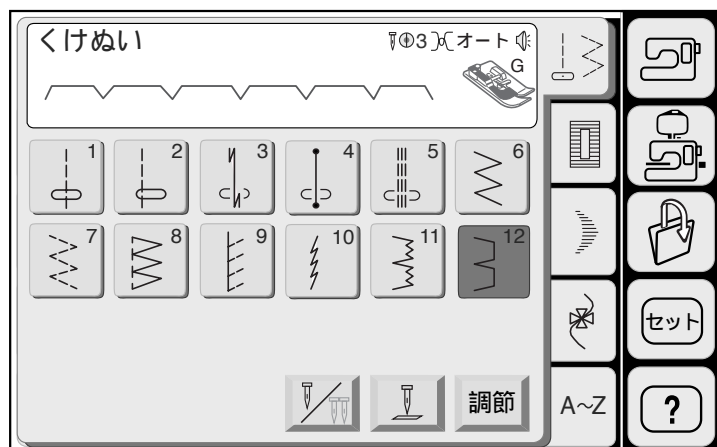
中、厚地のしっかりした布端をかがるときに利用します。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

※ C：たち目かがり押さえを使用するかがりぬいのはきは、ぬい目の幅を5.0～7.0の間でぬいます。

※ ぬいの前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

●くけぬい（まつりぬい）



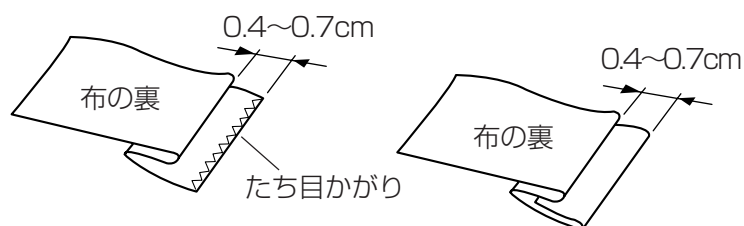
※伸縮性のある布をぬうときは、模様#11を選びます。

※模様#11/#12は、ぬい目の幅は変化せず、ガイドからの針落ちがかわります。

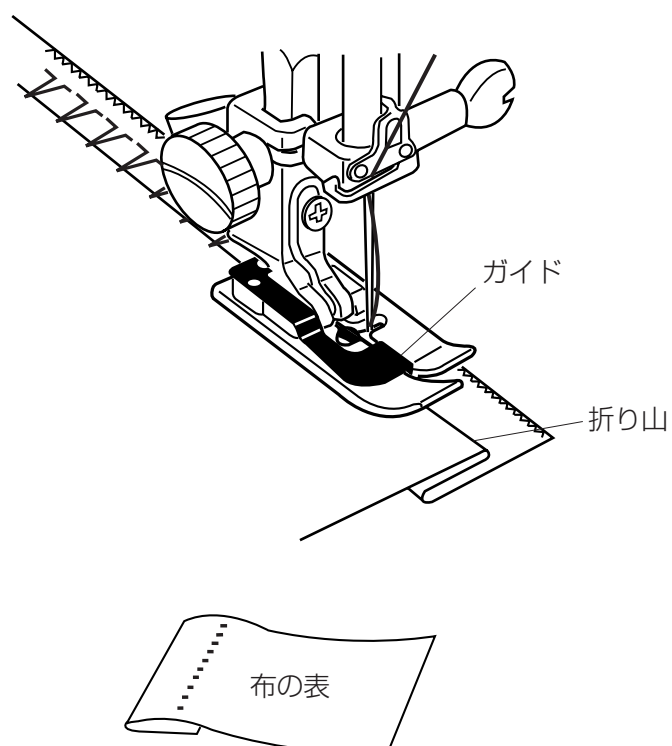
【1】布の折り方

【厚い布の場合】

【うすい布普通の布の場合】



【2】ぬい

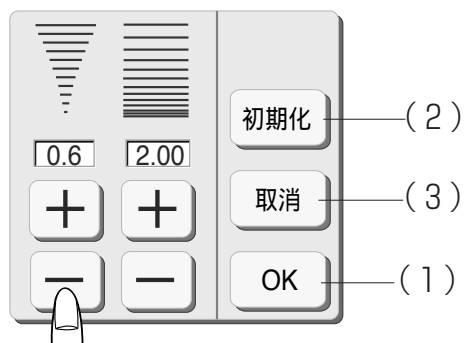


① ガイドを折り山に合わせ、針が折り山から外れないように振幅調節キーで針落ち位置を調節してぬいます。

② ぬい終わったら布をひろげます。

【3】針落ち位置をかえたいとき

① ②



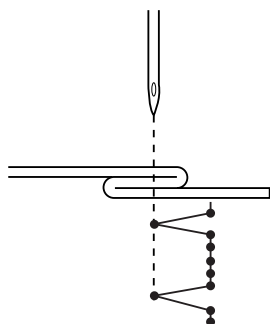
① 調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。

② 振幅調節キー **+**、**-** で調節します。

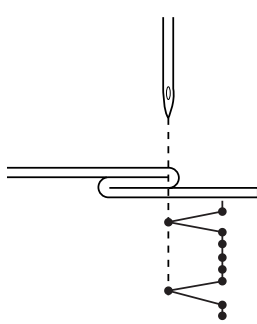
針落ちを右に移動させたいとき **-** キーを押します。

針落ちを左に移動させたいとき **+** キーを押します。

針が左にきたとき



針が右にきたとき



(1) OK キー

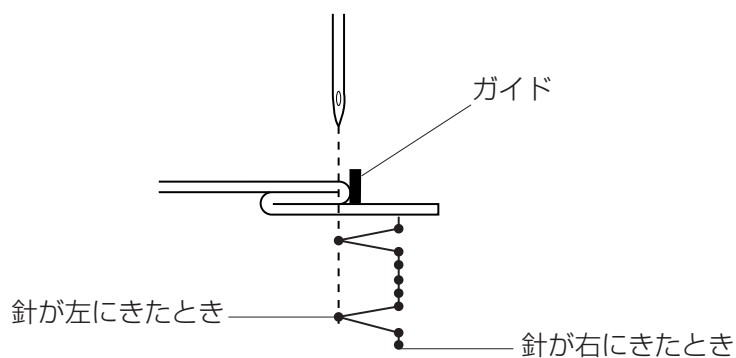
キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面へもどります。

(2) 初期化キー

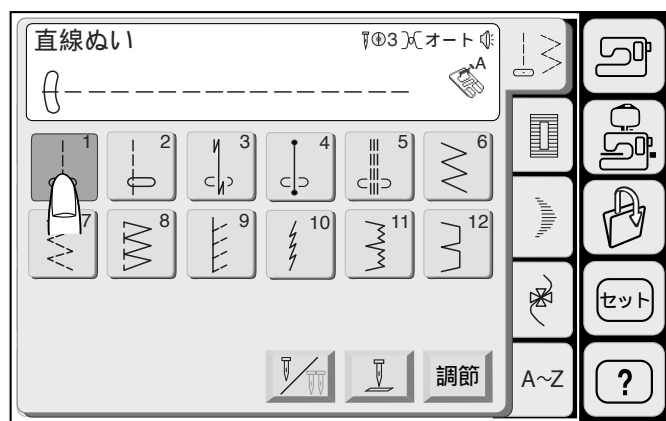
キーを押すと、表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

(3) 取消キー

キーを押すともとの数値になり、もとの画面へもどります。



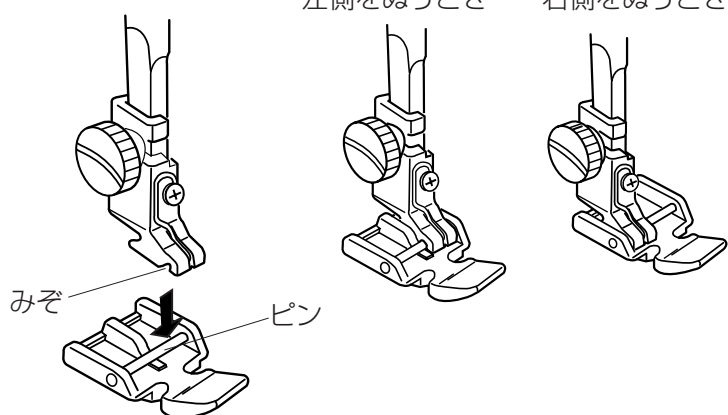
●ファスナー付け



【1】

左側をぬうとき

右側をぬうとき



【1】ファスナー押さえの付け方

左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。

右側をぬうときは、左側にセットします。

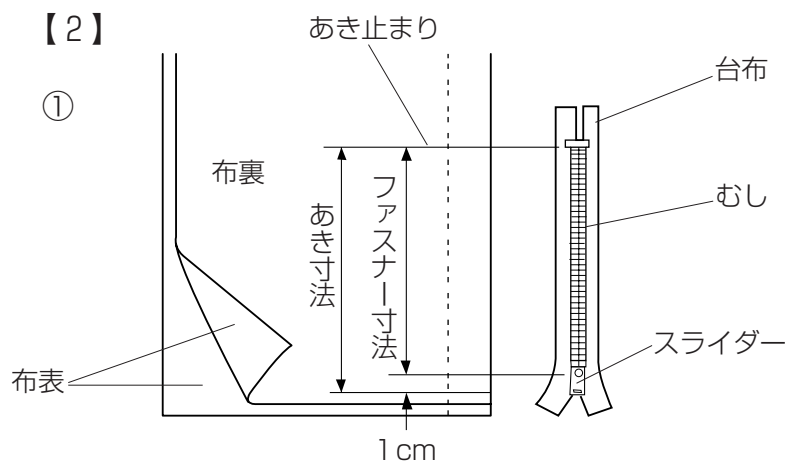
【2】準備（例：左脇あきのぬい方）

① ファスナーのあき寸法を確かめます。

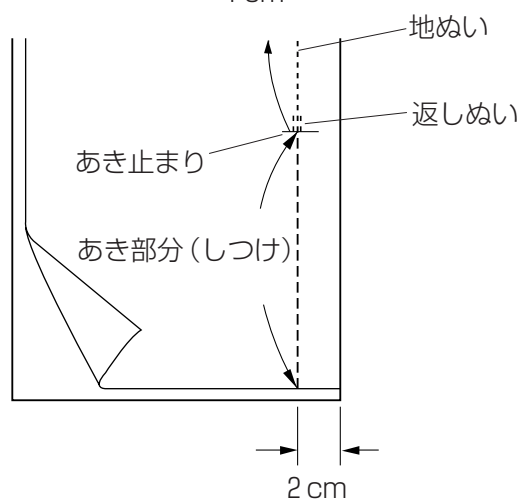
あき寸法はファスナー寸法に1 cm プラスした寸法です。

【2】

①



②



② 仮ぬいのしつけと地ぬいをします。

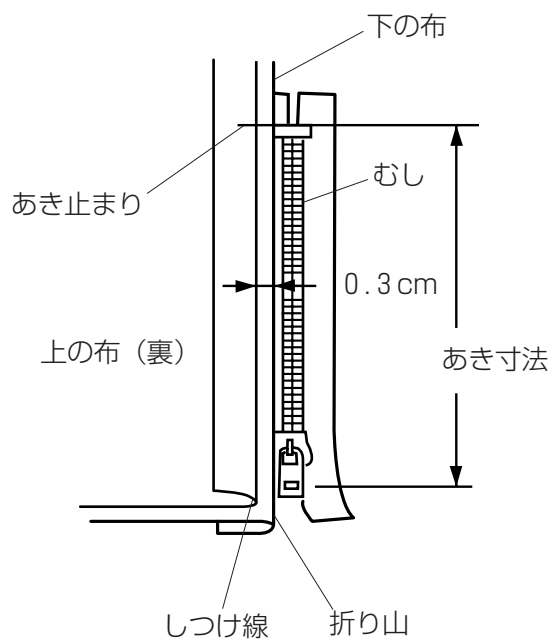
布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。

あき部分は、ぬい目のあかさ0.5 cmでしつけをします。

※しつけは、ほどこしやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。

【3】

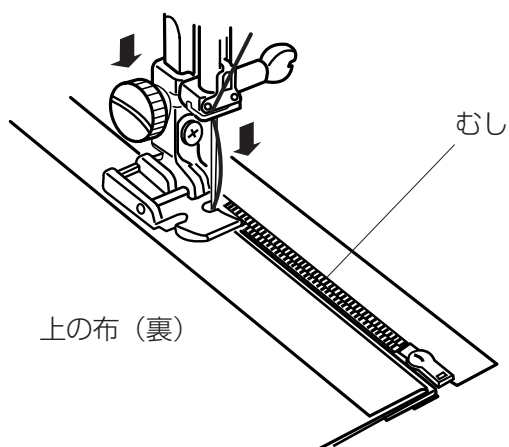
③



【3】 めい方

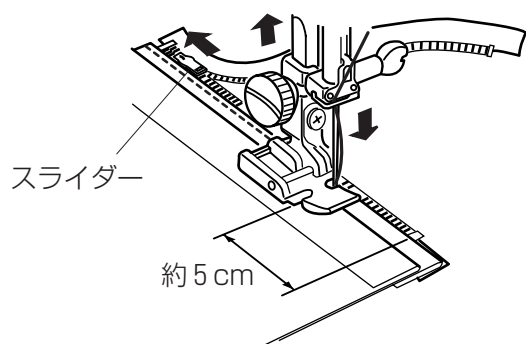
③ めいしろを割り、下の布のめいしろを0.3 cm 出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

④



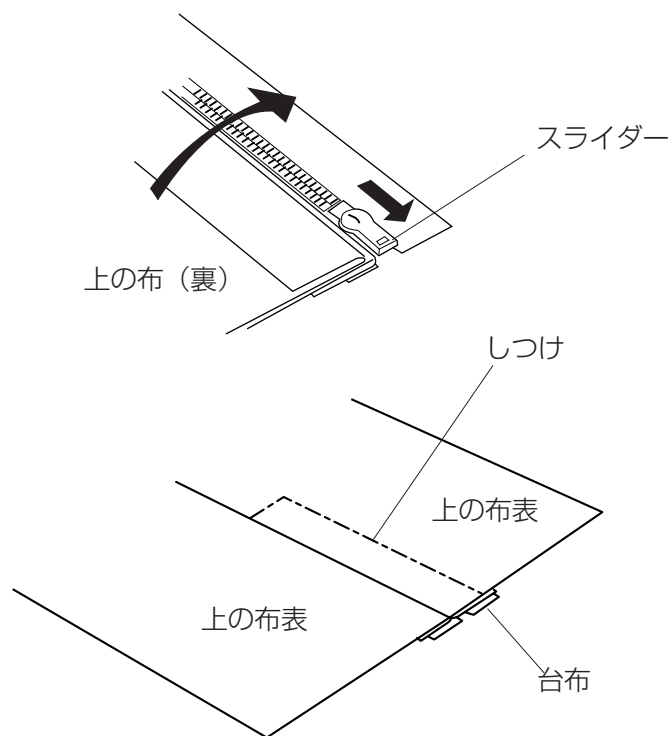
④ 押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットして、むしのきわに押さえの端をあてて、あき止まりからぬいます。

⑤



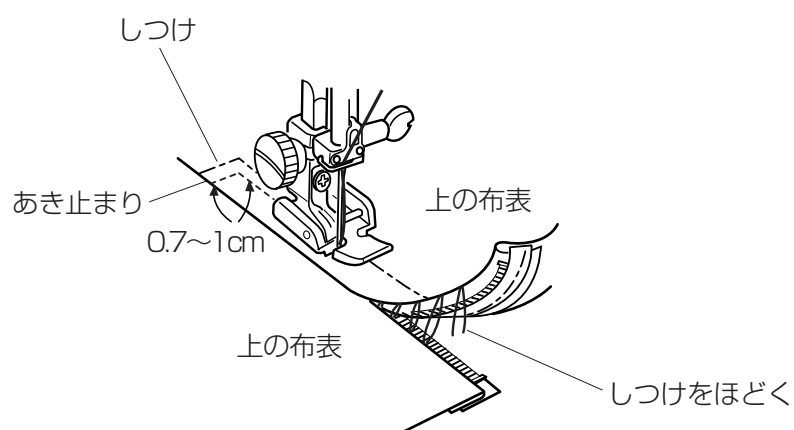
⑤ ファスナーの端から約 5 cmほど手前でミシンを止め、針を布にさします。
押さえをあげてスライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

⑥



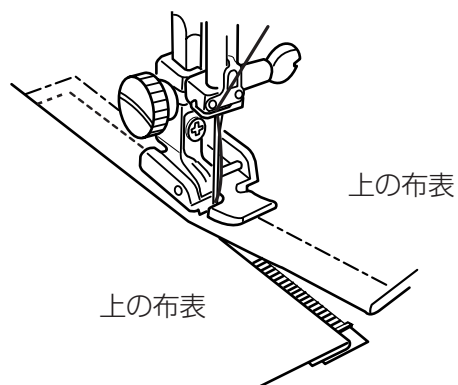
- ⑥ ファスナーをとじ、スライダーを上にあたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。かぶせた布と台布をしつけで止めます。

⑦



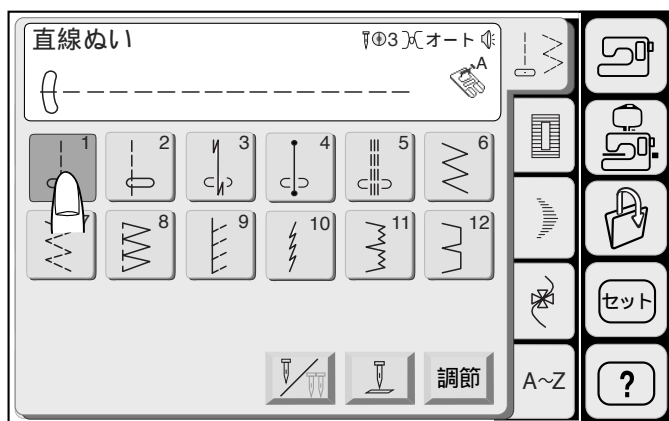
- ⑦ 押さえホルダーをファスナー押さえの左側につけかえ、上の布のあき止まりを(0.7~1 cm) 返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。ファスナーの上側を5 cmほど残したところで止め、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押さえをあげて、手順②でぬったしつけ糸をほどきます。

⑧

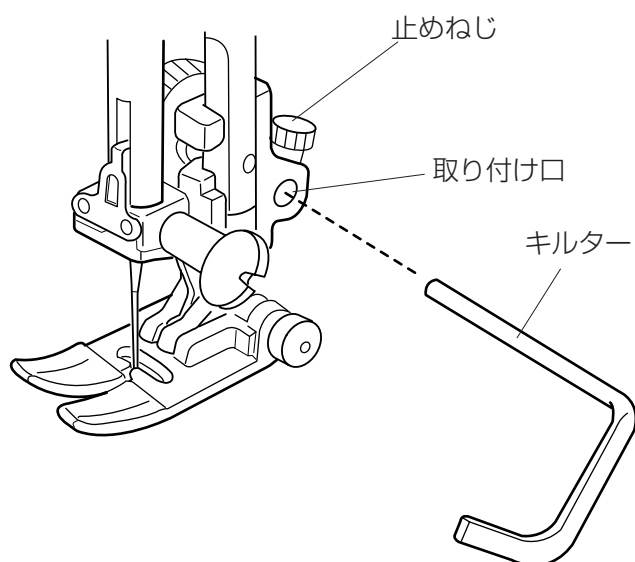


- ⑧ スライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら手順⑥でぬったしつけ糸をほどきます。

●キルティング



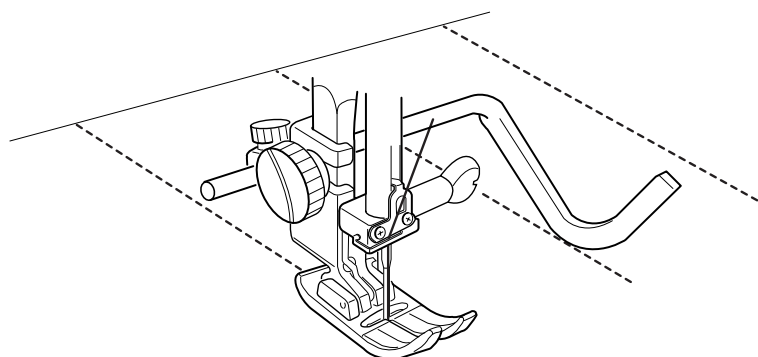
【キルターの取り付け】



①止めねじをゆるめます。

②取り付け口にキルターを差し込み、ぬい目の間かくに合わせます。

③止めねじをしめます。



◎ボタンホール

●ボタンホールの種類と用途

① 13



①センサー(スクエア) ボタンホール

スクエアボタンホールは中厚物から厚物まで一般的な使用目的のボタンホールです。スクエアボタンホールは使用されるボタンの大きさに合わせて自動的にボタンホールの大きさを決定してぬい上げます。

② 14



オート

②オート (スクエア)ボタンホール

スクエアボタンホールは中厚物から厚物まで一般的な使用目的のボタンホールです。オートボタンホールはボタンホールの長さを自由に決めることができ、一度決めた長さを記憶することにより、自動的に何度も同じ大きさのボタンホールをぬうことができます。

③ 15



③片ラウンドボタンホール

中厚物から薄物の素材に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。
センサーボタンホールです。

④ 16



④両ラウンドボタンホール

薄物の素材に使います。薄手のブラウスでよく使われます。
センサーボタンホールです。

⑤ 17



⑤キーホールボタンホール

中厚物から厚物の素材で使われる一般的なボタンホールです。大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。
センサーボタンホールです。

⑥ 18



⑥ラウンドキーホールボタンホール

中厚物の素材で厚めのボタンを使用するときに使います。
センサーボタンホールです。

⑦ 19



⑦ニットボタンホール

伸縮性のある布に適したボタンホールです。またそのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使えます。
センサーボタンホールです。

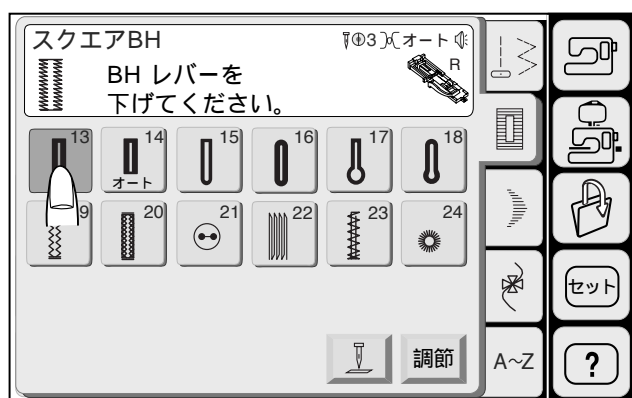
⑧ 20



⑧ニットボタンホール

ニットに適したボタンホールです。また、そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使えます。
センサーボタンホールです。

●センサーボタンホール



★スクエアボタンホール

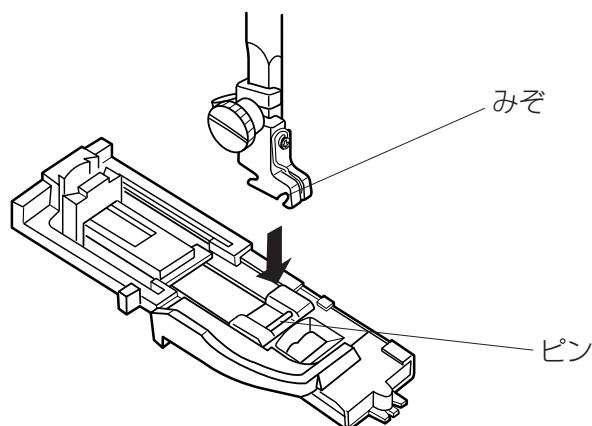
※ # 13、# 15～20はセンサーボタンホールです。

※ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタン受け台にはさみ込むと決まります。

※ボタンの直径 1.0 ～ 2.5 cm まで、ボタンホールができます。

※ボタンホール幅は、シャツなどのボタン穴の幅に自動セットされています。

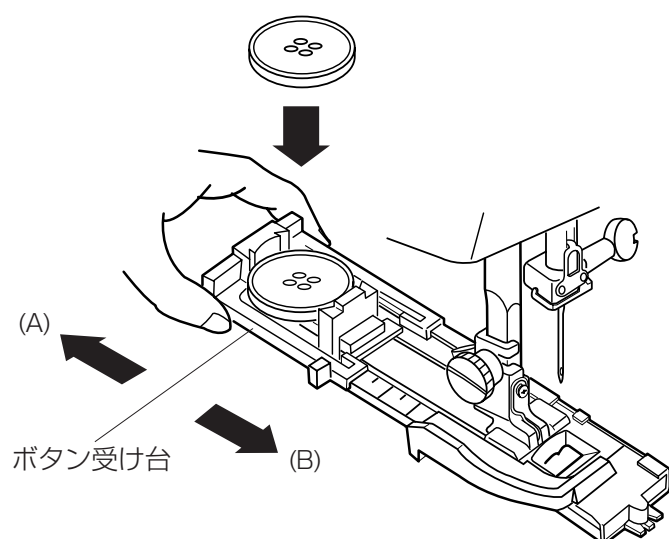
①



① 上下停針ボタンを押して針をあげ、押さえをあげます。

押さえホルダーのみぞと押さえのピンを合わせ、押さえをさげてセットします。

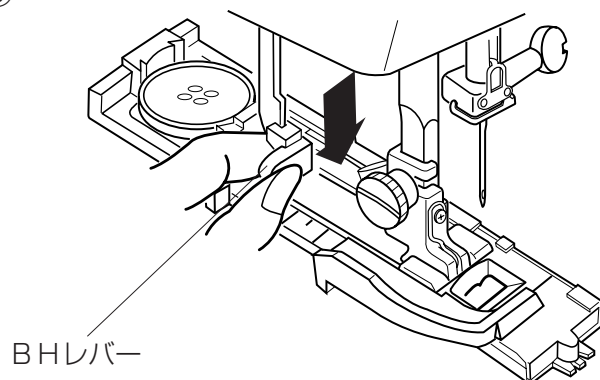
②



② ボタン受け台を(A)の方向へ引き、ボタンを乗せて(B)方向にもどしてはさみ込みます。

※ボタン受け台のすきまをあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。

③



【A】

⚠ BH レバーを
下げてください。



③ BHレバーを止まるまでいっぱい引きさげます。

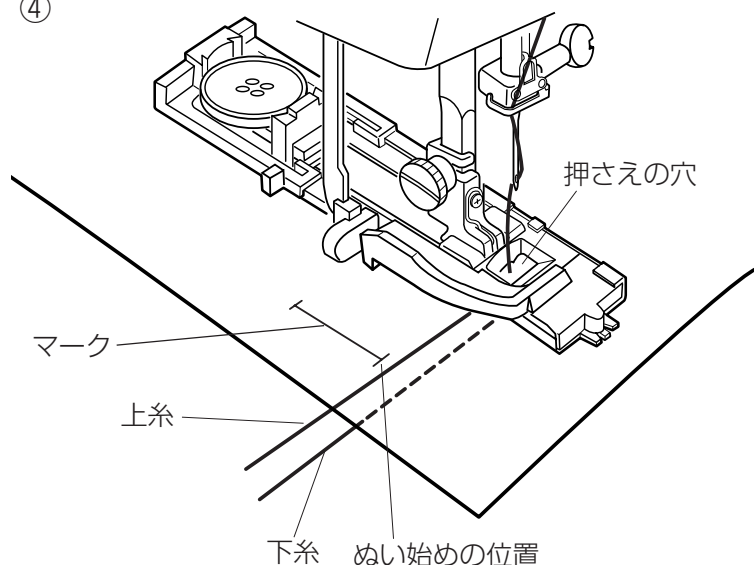
【A】

※BHレバーをさげないでボタンホールを0.5 cm
ぬうと表示され、ミシンが止まります。

BHレバーを引きさげて再スタートします。

↺ キーを押すと、もとの画面にもどります。

④

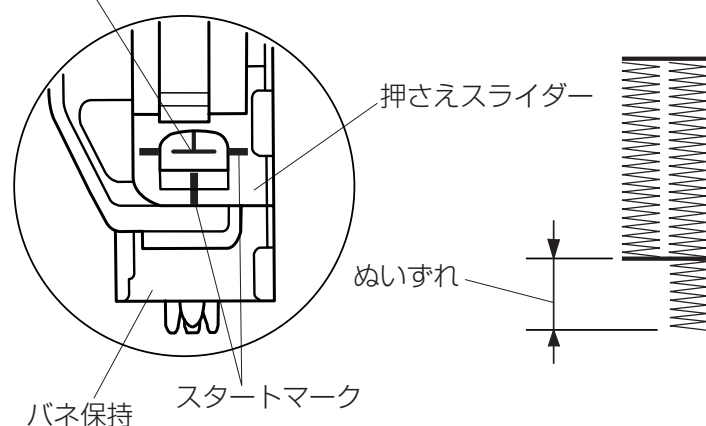


④ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、
横に引き出して下糸とそろえます。

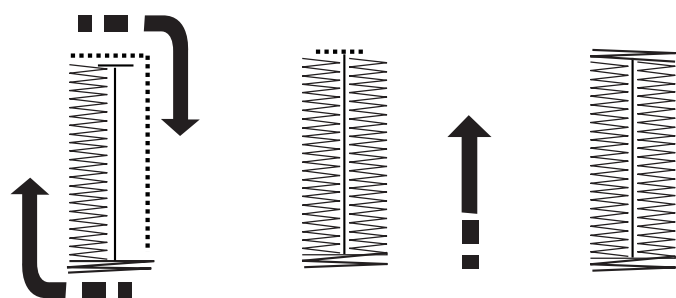
布を入れ、押さえのスタートマークとぬい始め
の位置を合わせ、針をさして、押さえをさげま
す。

※ぬい始めに、押さえスライダーとバネ保持の間に
すきまがないことを確認してください。すきまが
あるとぬい終わったときぬいずれがおこることが
あります。

ぬい始めの位置



⑤

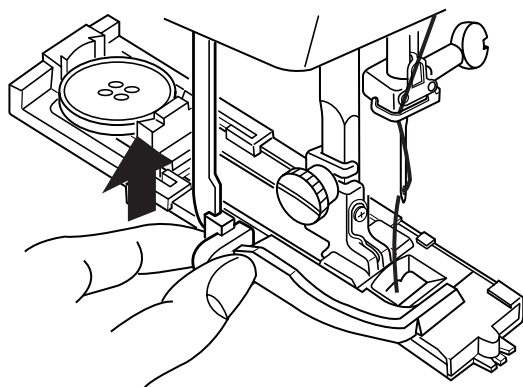


ぬいあがりました
押さえをさ上げてください。

- ⑤ ミシンをスタートさせます。
ボタンホールをぬい終わったところで、自動的に止まります。

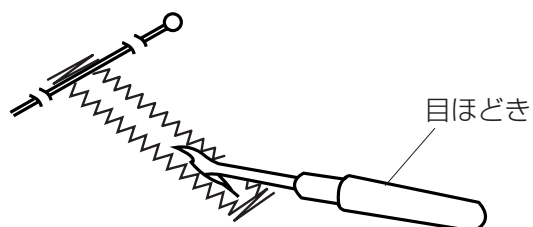
※引き続きセンサーボタンホールをする場合、押さえをあげ、糸を切り別の場所にそのままの状態で押さえをおろしスタートします。

⑥

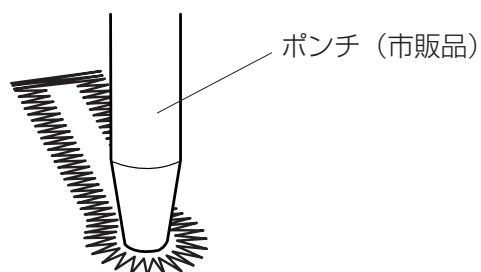


- ⑥ ぬい終わったら、BHレバーを止まるまでいっぱい押し上げてもどしてください。

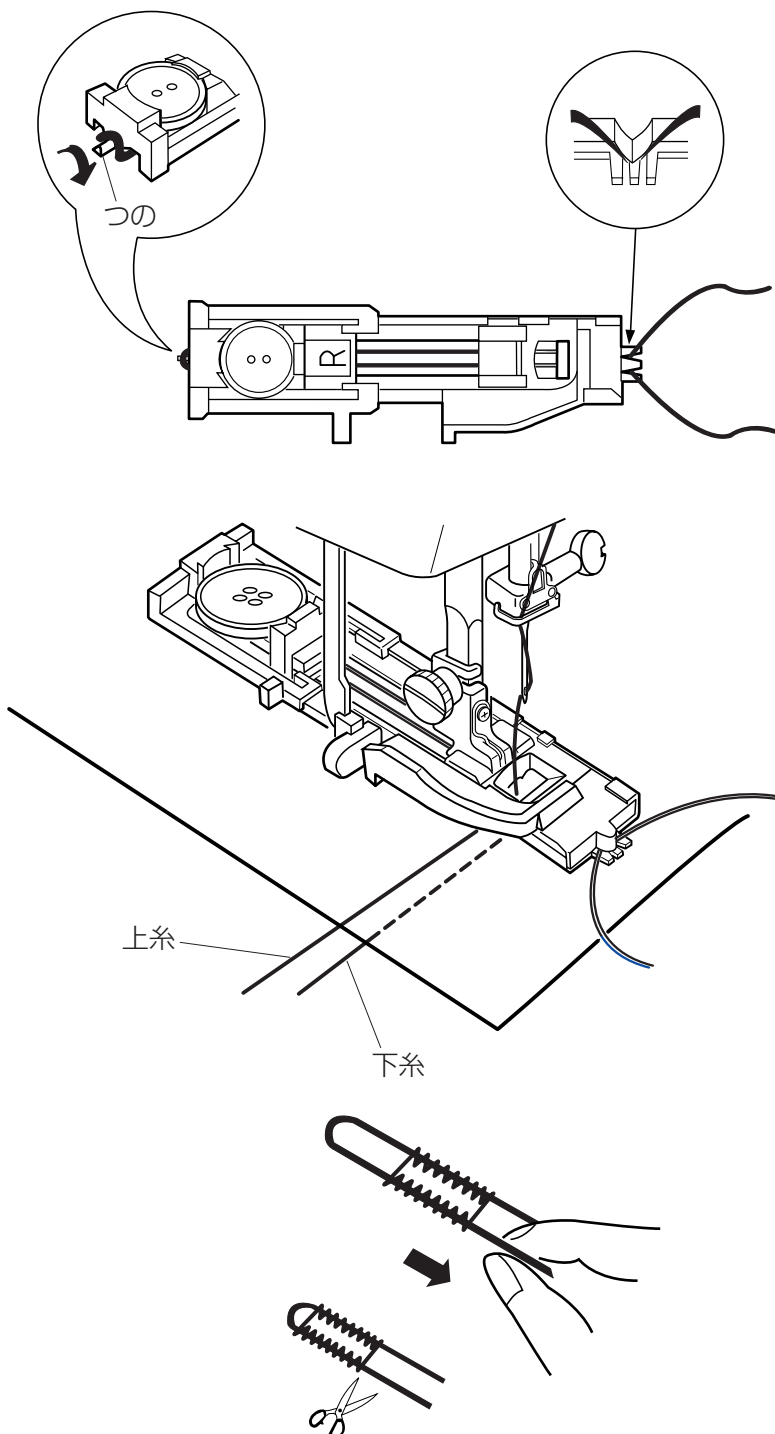
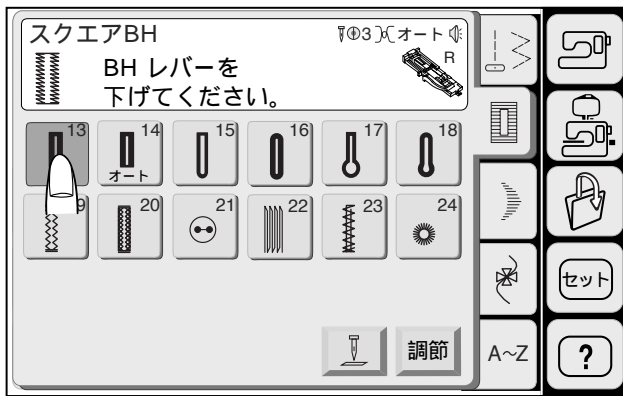
⑦



- ⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切り開きます。



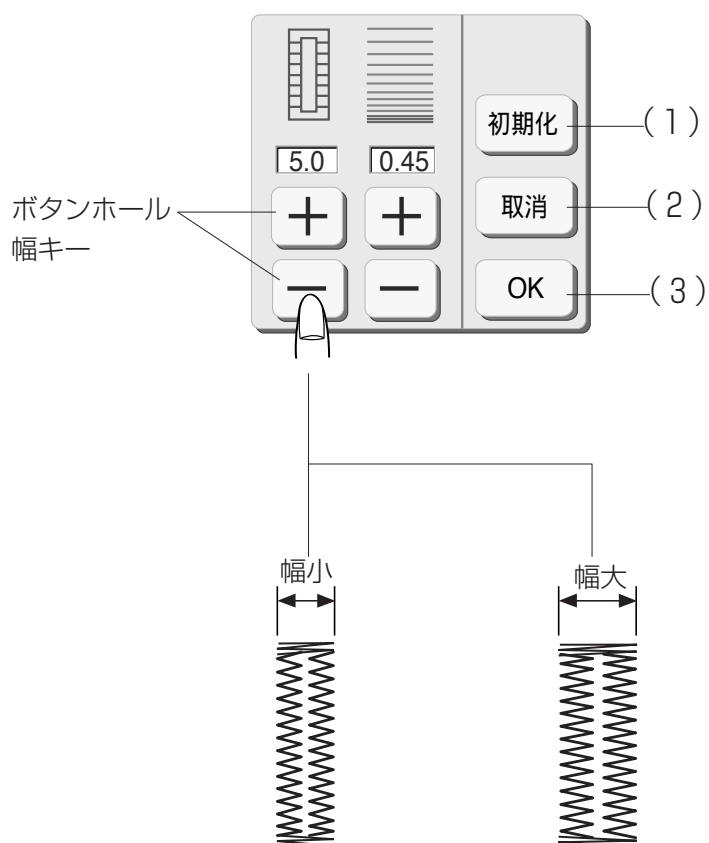
★芯入りセンサーボタンホール



- ① 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。
- ② R押さえ前部の、右側切り込みに芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を押さえの下から後ろに引き、輪にしてつのに掛けます。
- ③ つのに掛けた芯糸を、押さえの下を通して、前部左側の切り込みに、しっかりはさみます。
- ④ めい始めの位置に針をさして押さえ上げをさげます。
- ⑤ スタート・ストップボタンを押して、ボタンホールをぬいます。
- ⑥ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

※ めい目の幅は、芯糸に合わせてセットします。
 ※ ボタン穴の開け方は、41 ページをご覧ください。

★ボタンホールの幅をかえるとき



① 「調節」キーを押します。

② ボタンホール幅キー **+** **-** キーで調節します。

+ キーを押すと幅は広がります。

- キーを押すと幅は狭くなります。

初期値は「5.0」です。

(1) 初期化キー

表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

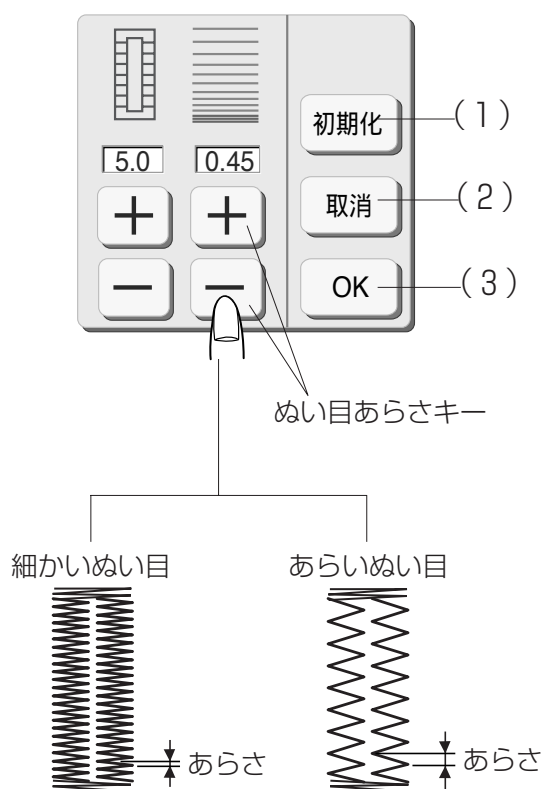
(2) 取消キー

キーを押すと、もとの数値になります。

(3) OK キー

キーを押すと、表示された数値になります。

★ぬい目のあらかさをかえるとき



① ぬい目のあらかさキー **+** **-** キーで調節します。

+ キーを押すとあらかさはあらかくなります。

- キーを押すとあらかさは細かくなります。

初期値は「0.45」です。

※電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、ボタンホール幅、送りのセットは取消されます。

(1) 初期化キー

表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

(2) 取消キー

キーを押すと、もとの数値になります。

(3) OK キー

キーを押すと、表示された数値になります。

●オートボタンホール

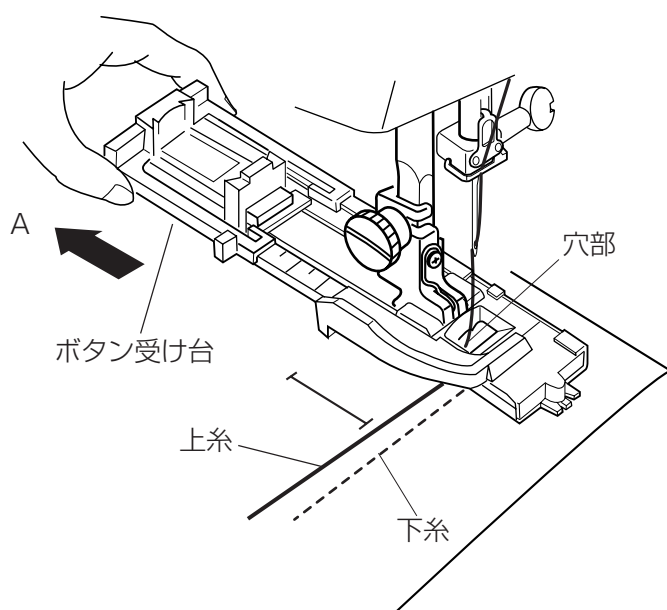


※ボタンホールの幅やあらさをかえたいときは、「調節」キーを押してください。

※左右のぬい目のあらさがそろわないときは、71ページをごらんください。

※長いボタンホールをぬいたいときは、F：サテン押さえをご使用ください。また、B：ボタンホール押さえ（オプション）も使用できます。

① ② ③


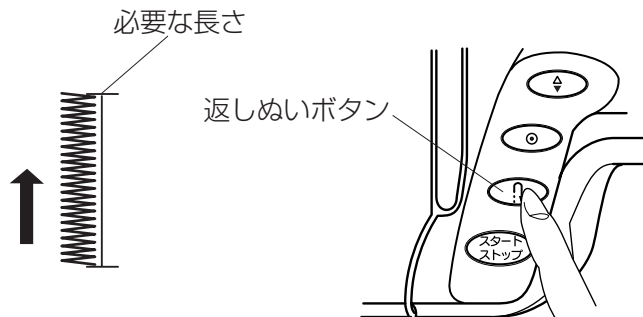


- ① ボタン受け台をAの方向にいっぱい引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。

④

ステップ1 ④3)オート

必要な長さまでぬい
"!↶"ボタンを押します。


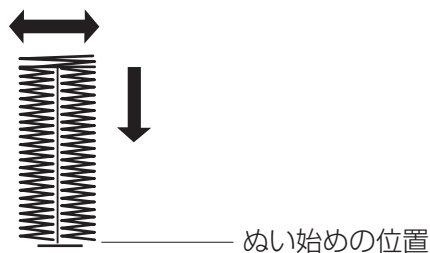



- ④ 左側のボタンホールぬいを必要な長さまでぬったら止めて、返しぬいボタンを押します。

⑤

ステップ2 ④3)オート

ぬい始めまでぬって
"!↶"ボタンを押します。


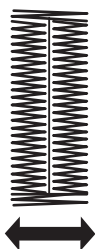



- ⑤ かんぬきと右側をぬい、ぬい始めの位置にもどったら止めて、返しぬいボタンを押します。

⑥

ステップ3 ④3)オート

ぬい終わると、
自動で停止します。

- ⑥ かんぬきと止めぬいをし、自動的に止まるまでぬいます。

- ⑦ 引き続きオートボタンホールをするとき／しないとき

※ ミシンは、1度ぬったボタンホールの大きさを記憶しています。2度目からは、同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。

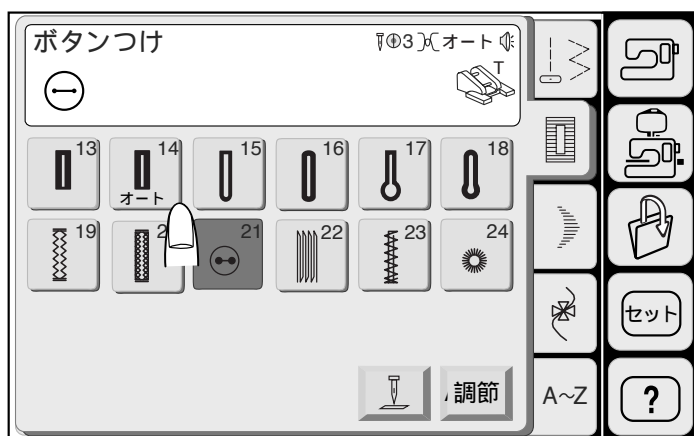
- ⑧ スタートボタンを押すと同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。
異なる大きさのボタンホールをぬうとき、または他の模様をぬうときには「取消」キーを押します。

※ボタン穴のあけ方は、41ページをごらんください。

⑦

同じサイズ → 再スタート
ちがうサイズ → 取消

●ボタン付け



① はずみ車を手前にまわして、針が左にきたときボタンの左の穴におりるようにします。

〔ボタン穴の針落ち調節〕

「調節」キーを押します。

+ キーを押すと、幅が広くなります。

- キーを押すと、幅がせまくなります。

※左針落ちが固定され、右の針落ち位置が変化します。

(1) 初期化キー

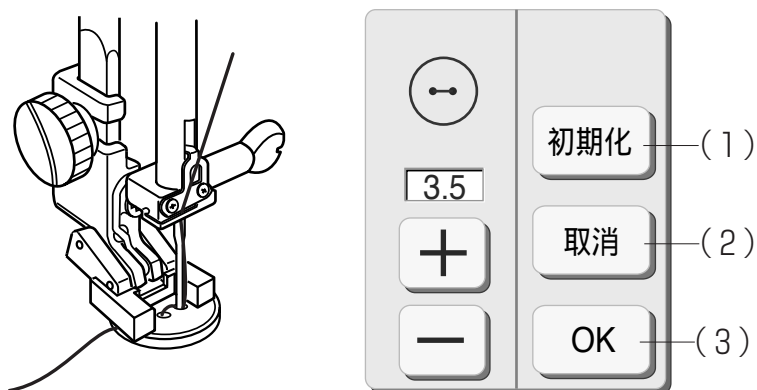
キーを押すと、表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

(2) 取消キー

キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面にもどります。

(3) OK キー

キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面にもどります。



② ボタンの左右の穴が真横にくるようにして押さえをさげます。

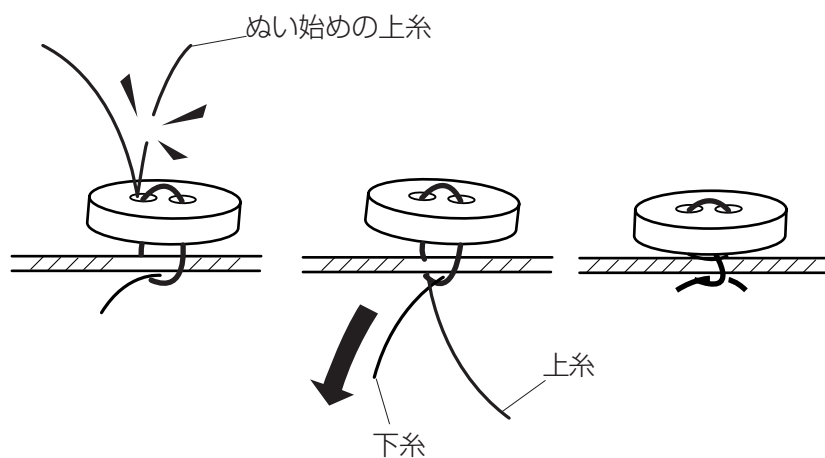
③ はずみ車を手前にまわして、針が左右の穴におりことを確かめます。

④ 10針くらいぬったらミシンを止めます。

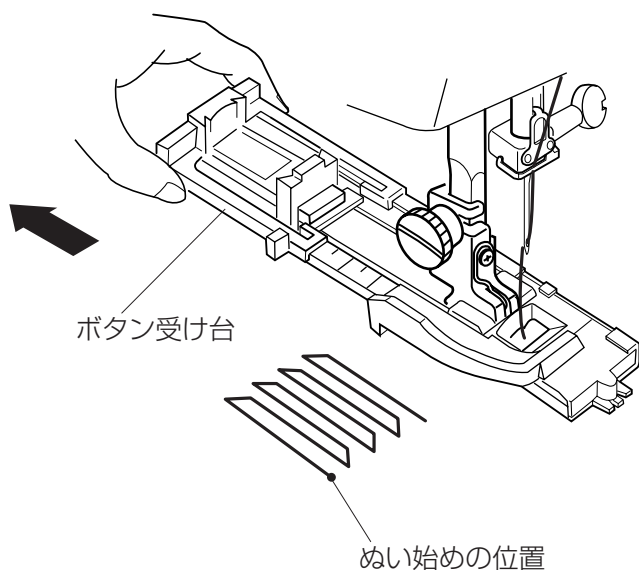
※ ぬい始めの上糸と下糸は、はさみで切り取ってください。

⑤ 押さえをあげて布を引き出し、上糸と下糸を20cmくらい残して切ります。

ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。

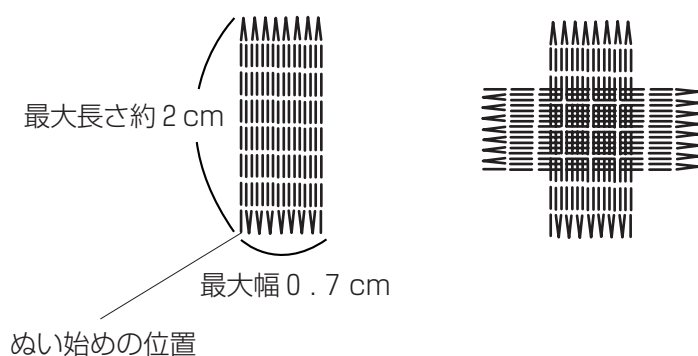


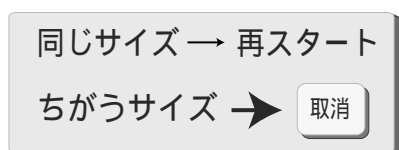
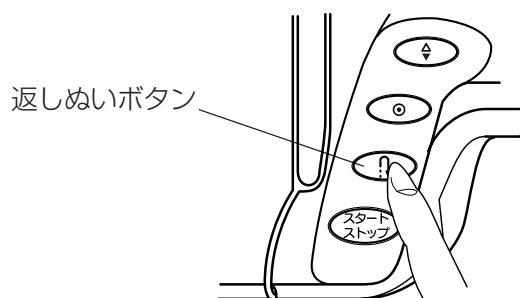
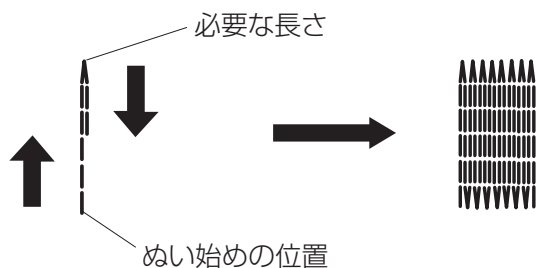
●つくろいぬい



【ぬい】

- ① ボタン受け台をいっぱい引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげ自動的に止まるまでぬいます。
※ 一回のぬいで、最大長さ約 2 cm、最大幅約 0.7 cm までぬえます。
- ④ 布の向きをかえてくり返しぬいます。





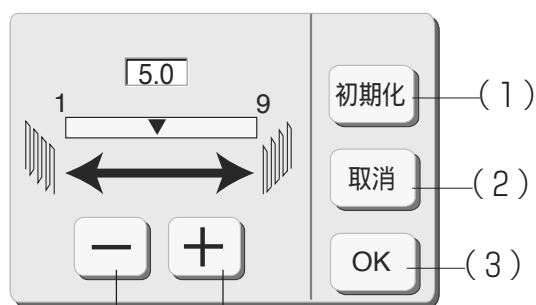
【2 cmより短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して、自動的に止まるまでぬいます。

【つくろいぬいの記憶】

スタートボタンを押してぬうとくり返し同じ大きさのつくろいぬいがぬえます。

「取消」キーを押すと、異なる大きさのつくろいぬいができます。



【つくろいぬいの形の整え方】

つくろいぬいのぬい始め（左側）と、ぬいおわり（右側）の高さがそろわないときは、「調整」キーを押します。

初期値「5.0」が表示されます。

左側が低いとき **-** キーを押します。

右側が低いとき **+** キーを押します。

「1.0」～「9.0」の範囲で調節してください。

(1) 初期化キー

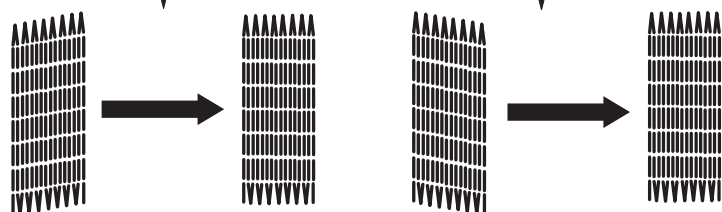
表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

(2) 取消キー

キーを押すと、もとの数値になります。

(3) OK キー

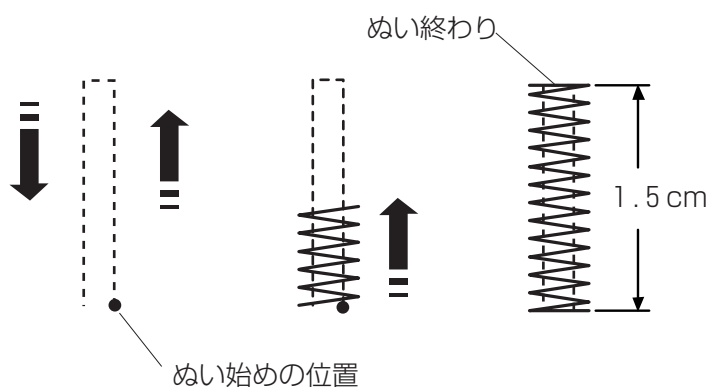
キーを押すと、表示された数値になります。



●かんぬきどめ

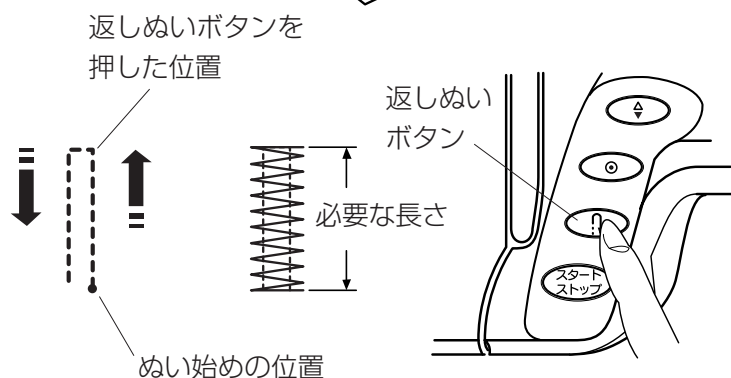
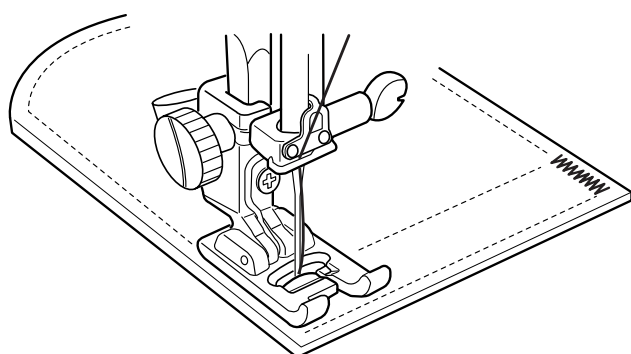


ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに使うと、ぬい目がしっかりします。



一回のぬいで、オート値で1.5 cmが自動的にぬえます。

ぬい目の幅、あらさをかえたいときは、「調節」キーを押して調節してください。



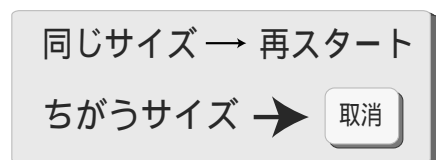
【1.5 cmより短い長さでぬうとき】

必要な長さまでぬい返しぬいボタンを押すと、その長さが決まります。

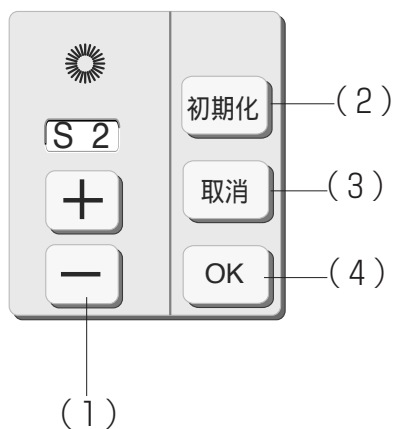
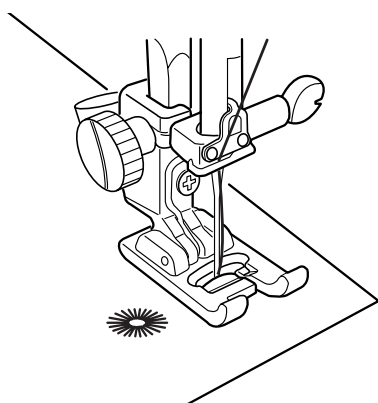
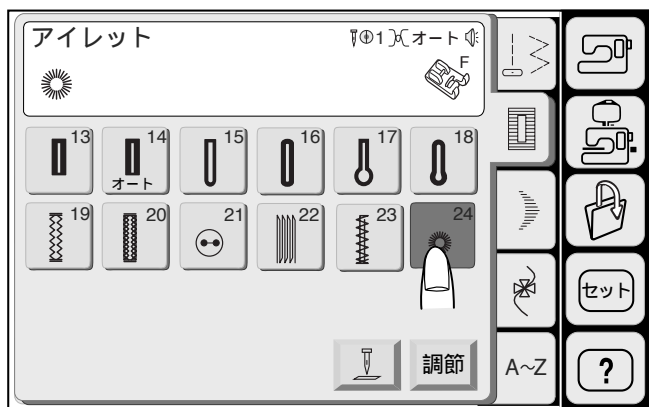
【記憶】

スタートボタンを押すとくり返し同じ長さのかんぬき止めがぬえます。

「取消」キーを押すと異なる長さのかんぬき止めができます。



●アイレット



自動的に止まるまでぬいます。

※ぬい目の内側を目打ち（市販品）などで穴をあけます。目打ちの大きさは、直径0.25cm以下のものをご使用ください。

【1】アイレット形状の修正

「調節」キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。布によってアイレットの形がくずれるときに調節します。

（1）形状調節キー

+ **-** キーを押して変更します。

S 1、S 2、S 3 表示されます。

ぬい目にすきまがあるときは、S1 にします。

ぬい目の重なりがあるときは、S3 にします。

（2）初期化キー

キーを押すと、表示されている項目すべてが初期の状態（購入時の設定状態）へもどります。

（3）取消キー

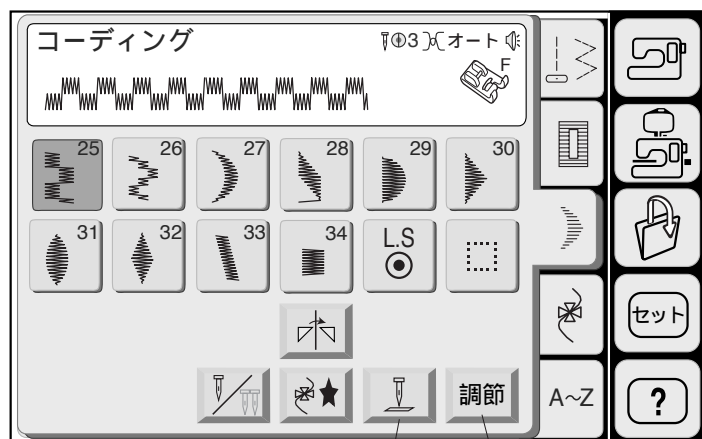
キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面にもどります。

（4）OK キー

キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面にもどります。

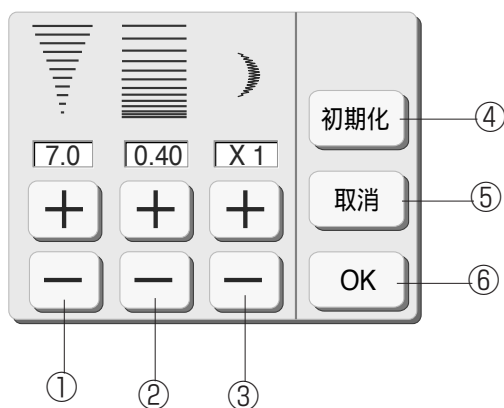
◎飾りぬい（サテン模様）

●キーのはたらき



(1) (2)

通常ぬいモードキーを押してサテンモードを選択します。



(1) 針上下切りかえキー

ミシンを停止したとき、針を上にするか下にするかを選択することができます。

(2) 調節キー

キーを押すとマニュアル調節画面が表示されます。

+ **-** キーを押してマニュアル調節をします。

① 振幅（ぬい目幅）調節キー

振幅量のマニュアル設定をします。

② 送り調節キー

送り量のマニュアル設定をします。

③ エロンゲータ

模様のあらさをかえずに、模様長さをかえます。

④ 初期化キー

キーを押すと、表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

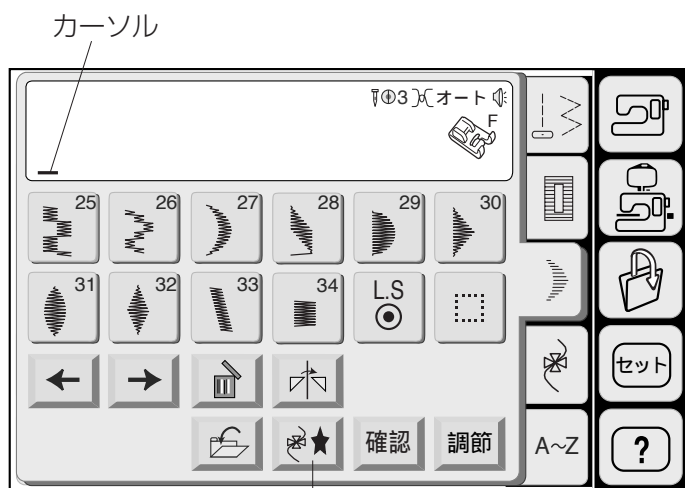
⑤ 取消キー

キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面にもどります。

⑥ OKキー

キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面にもどります。

※電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、振幅、送り、エロンゲータのセットはキャンセルされます。



(3) 模様組み合わせキー

模様組み合わせキーを押す毎に、通常モードと記憶モードを切りかえます。

記憶モードでは、カーソルキー、削除キー、確認キー、ファイルセーブキーが表示されます。

模様の組み合わせは、飾り(サテン模様) #25～#34と、飾り模様 #35～#104の中で、組み合わせができます。

※模様組み合わせの後、通常モードにもどすと、プログラム内容は取り消されます。

(4) カーソルキー

カーソルを模様に合わせてその模様を削除したり、「調節」キーの項目が変更できます。

(5) 削除キー

カーソルのついている模様を削除します。

記憶した模様をすべて取り消すときには、一度他のモードを選んでください。

(6) 反転キー

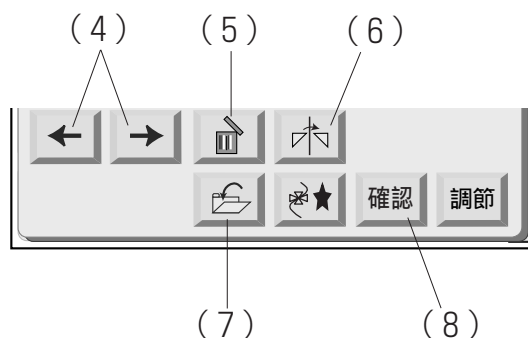
模様を反転させるキーです。

(7) ファイルセーブキー

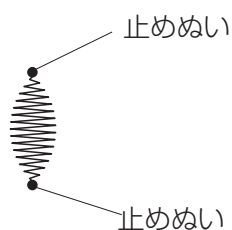
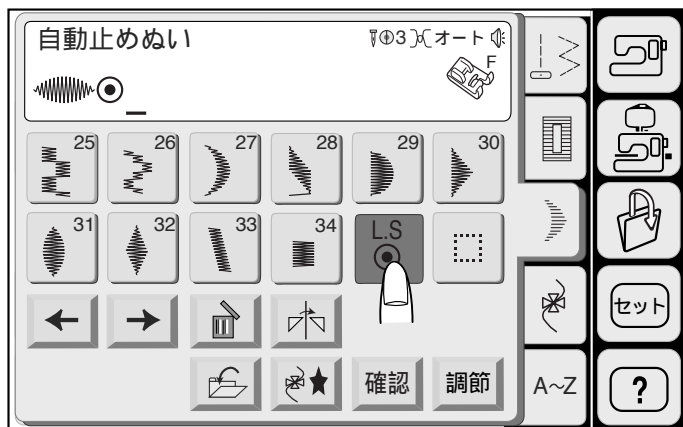
作成したプログラムを記憶しておくことができます。

(8) 模様確認キー

記憶ぬい選択中は記憶した模様の確認ができます。ぬい中は、先頭表示 (**先頭**) になり先頭頭出しすることができます。

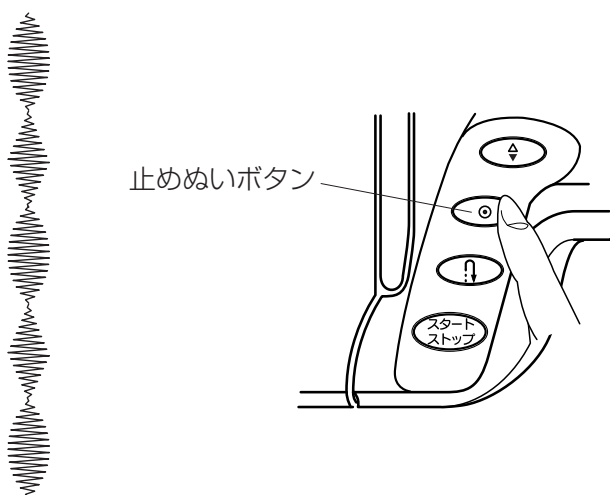
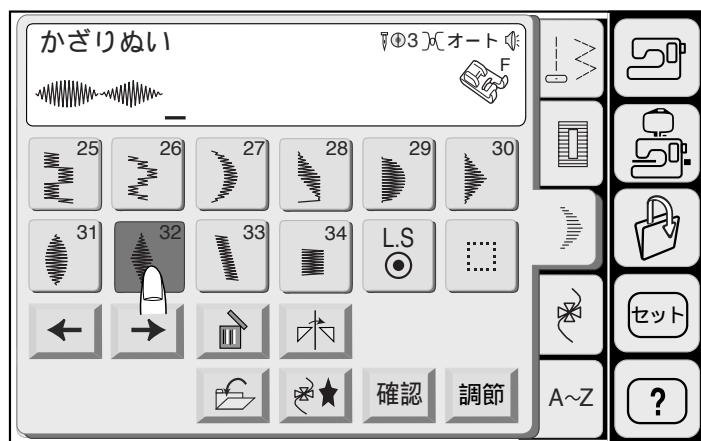


●ワンサイクルぬいの例



- ① 「組み合わせ」 キーを押します。
- ② 模様 # 31 を選びます。
- ③ 自動止めぬいを選びます。
※自動止めぬいの後は、模様を記憶することはできません。
- ④ ミシンをスタートして自動的に止まるまでぬいます。

●組み合わせ連続模様ぬいの例



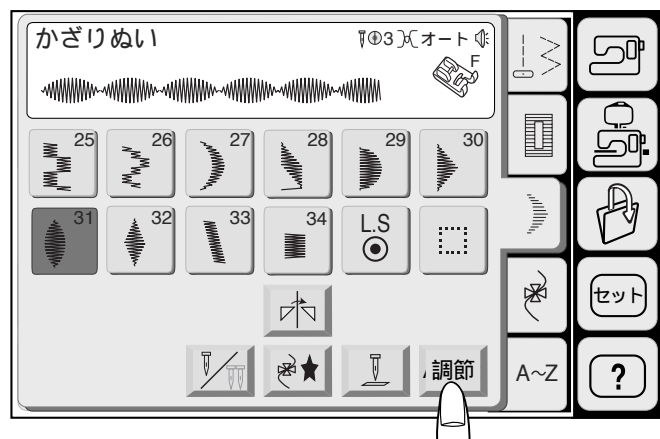
例. 模様 # 31、# 32 の組み合わせ

- ① 「組み合わせ」 キーを押します。
- ② 模様 # 31 を選びます。
- ③ 模様 # 32 を選びます。
- ④ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬい終わり

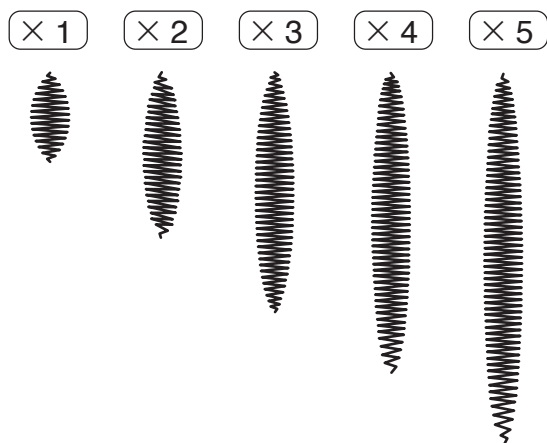
必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。

●エロンゲータぬい



例．模様# 3 1

- ① 模様# 3 1を選びます。
- ② 「調節」キーを押します。
- ③ 模様長さを **+** **-** キーで選びます。
模様長さは×1、×2、×3、×4、×5倍でかえられます。
- ※ ぬい目の幅、あらさをかえると、模様はさらに変化します。
- ④ 「OK」キーを押すともとの画面にもどります。
- ⑤ ミシンをスタートしてぬいます。



※ ぬい途中で止めぬいボタンを押すとその模様をぬって自動的に止まります。

(1) 初期化キー

表示されている項目全てが初期の状態（購入時のセット状態）へもどります。

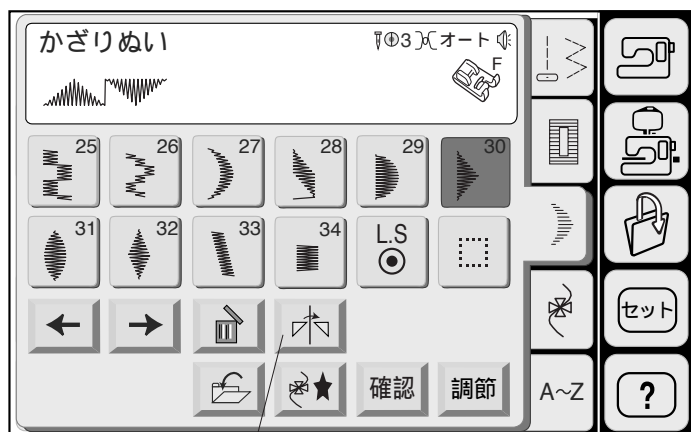
(2) 取消キー

キーを押すともとの数値になり、もとの画面へもどります。

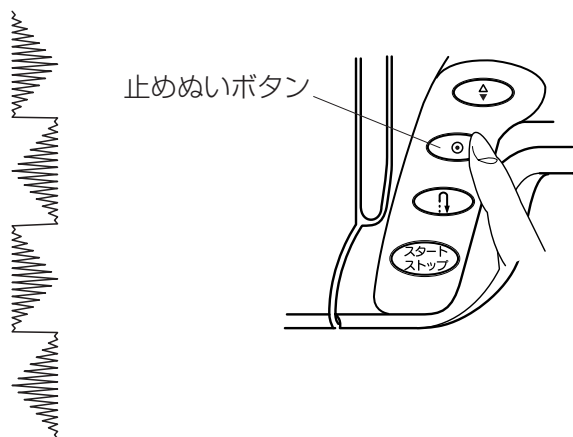
(3) OKキー

キーを押すと表示された数値になり、もとの画面へもどります。

●反転キーを使った連続模様ぬいの例



反転キー



例． 模様 # 3 0

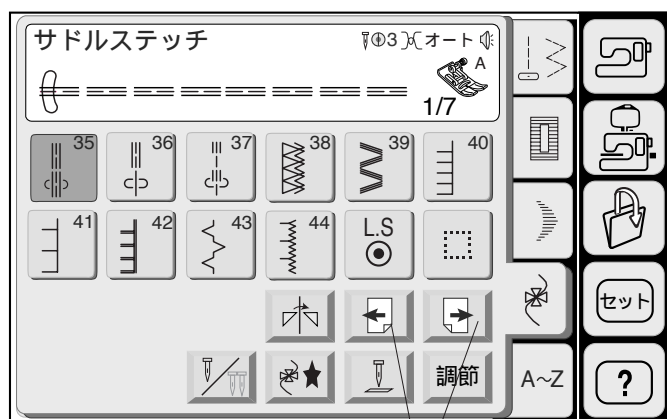
- ① 「模様組み合わせ」キーを押します。
- ② 模様 # 30 を選びます。
- ③ 「反転」キーを押します。
- ④ 模様 # 30 を選びます。
- ⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬい終わり

必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。

◎飾りぬい



●キーのはたらき



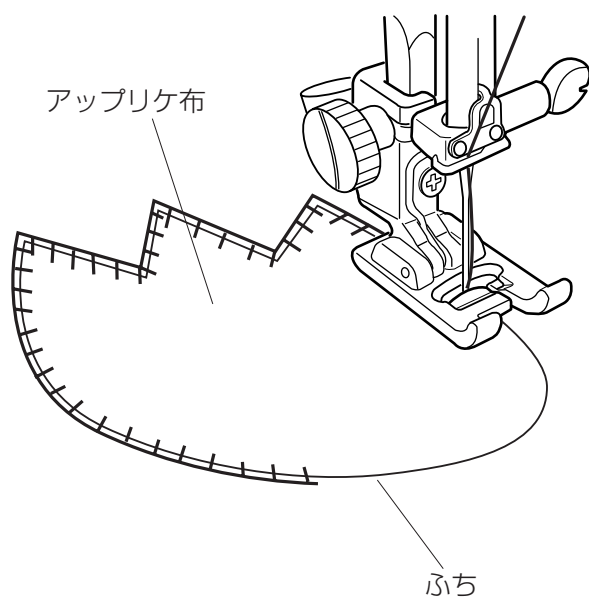
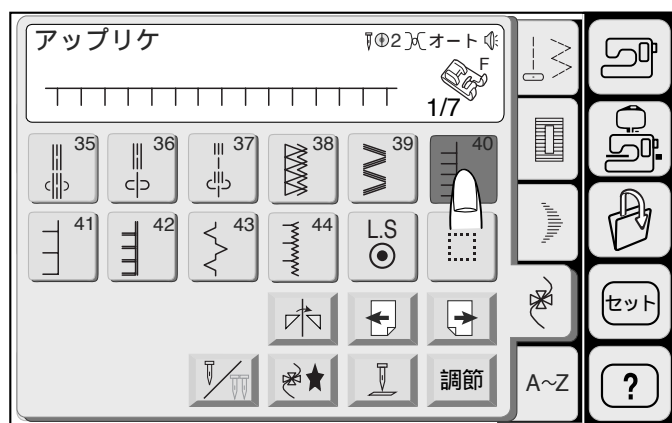
(1)

キー操作は、飾りぬい（サテン模様）と同じです。

(1) ページキー

-  キーは後ろのページに他の模様があることを示します。
-  キーは前のページに他の模様があることを示します。

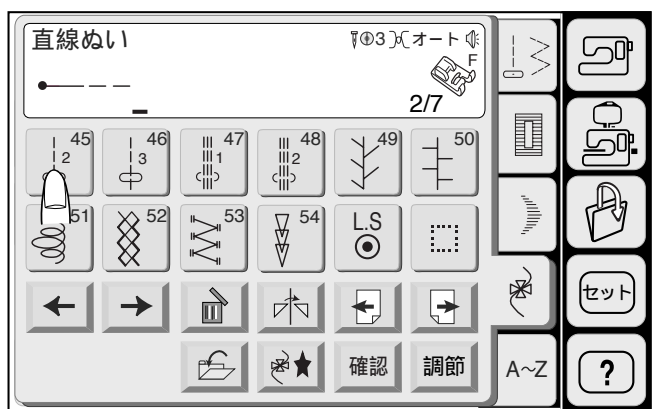
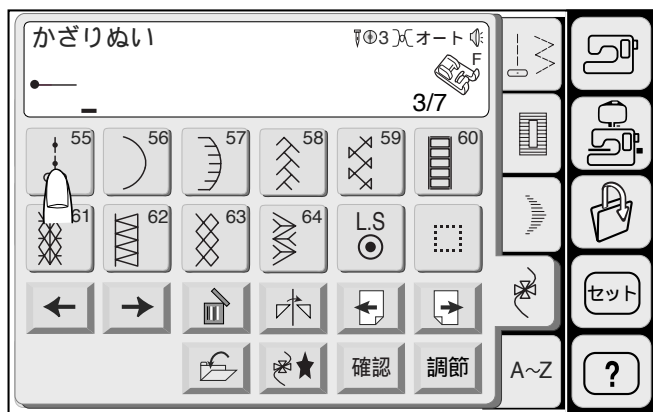
●アップリケ



アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。アップリケ布が針の左にくるように、アップリケ布のふちにそわせながらぬっていきます。

※カーブのところや方向転換するところでは、ミシンを止め、上下停針ボタンを押して、針を右下位置にしたままで方向をかえるときれいに仕上がります。

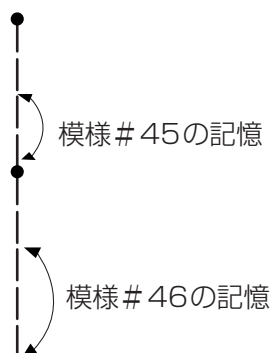
●直線模様の記憶ぬい



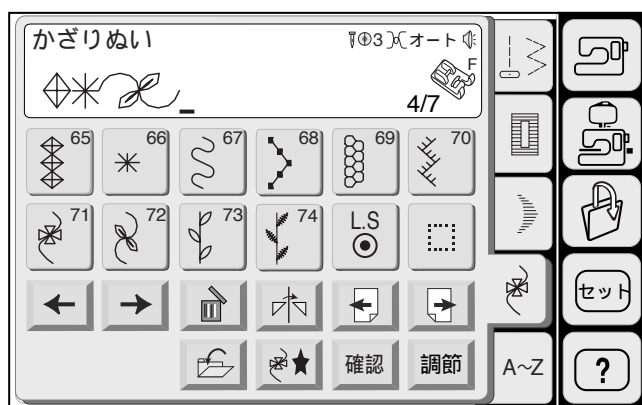
例. 模様 # 55、# 45、# 55、# 46の組み合わせ

- ① 模様組み合わせキーを押して、模様 # 55 を選びます。
- ② 「ページ」キーで2/7画面を表示します。
- ③ 模様 # 4 5 を選びます。
(直線が2針記憶されます。)
- ④ 「ページ」キーで3/7画面を表示します。
- ⑤ 模様 # 5 5 を選びます。
- ⑥ 「ページ」キーで2/7画面を表示します。
- ⑦ 模様 # 4 6 を選びます。
(直線が3針記憶されます。)
- ⑧ ミシンをスタートしてぬいます。

※必要な模様数の最後のぬい途中で止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。



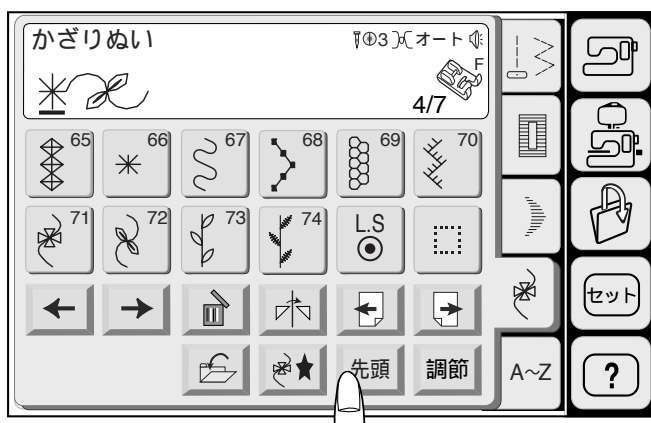
●先頭頭出しキーの使い方



ぬい途中で模様の最初からぬい直したいときに先頭キーを押します。画面表示が先頭表示され、ぬい直しができます。

例.飾りぬい#65、#66、#72の組み合わせ

- ① ミシンをスタートしてぬいます。



- ② ぬい途中でミシンを止めます。

- ③ **先頭** キーを押します。

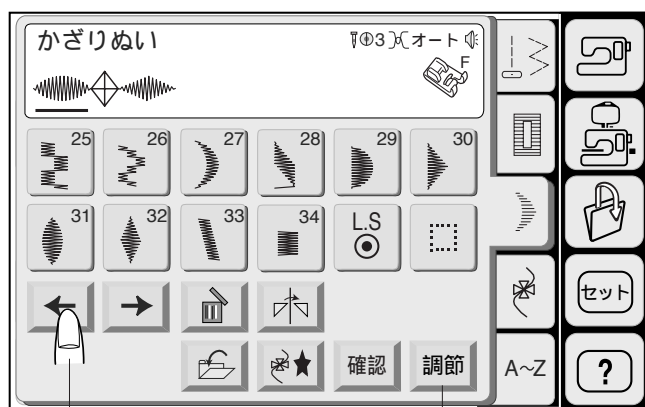


- ④ はじめの模様（先頭）が表示されます。

- ⑤ ミシンをスタートして、はじめからぬうことができます。

●組み合わせ模様の個別調節

プログラムぬい（模様組合せ）のとき、調節キーで、振幅、送り、エロングータの調節をすると、カーソルのついている模様のみが変更されます。



①

②

例) 模様# 3 1、# 6 5、# 3 2を記憶しているときの模様# 3 1の長さの変更

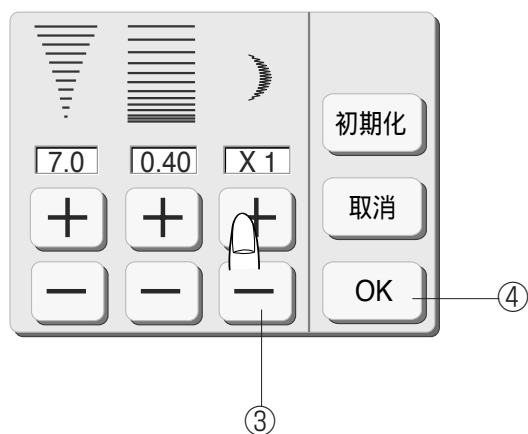
① キーを押して、変更する模様カーソルを合わせます。

② 「調節」キーを押します。

③ 模様長さを **+** **-** キーで選びます。

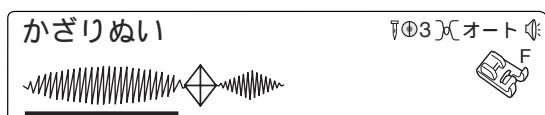
④ 「OK」キーを押すと、もとの画面にもどります。

⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

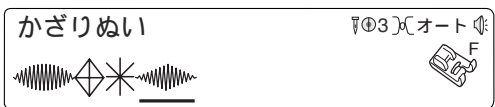
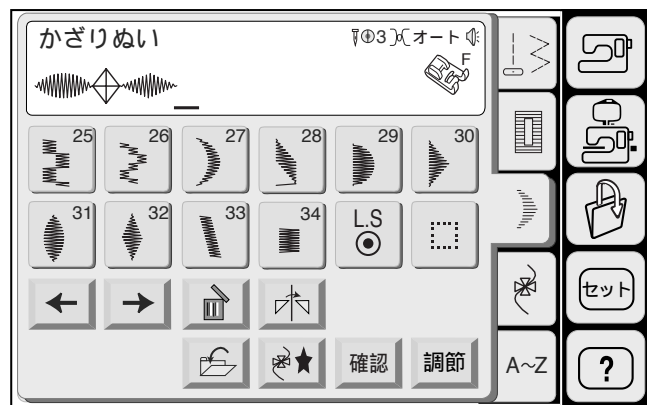
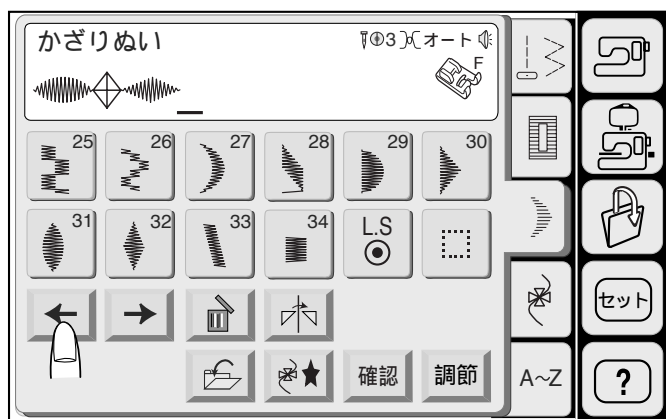


③

④




●プログラム修正



例) 模様 # 3 1、# 6 5、# 3 2 を記憶しているとき

★模様の削除

① 「カーソル」キーで削除する模様カーソルを合わせます。

②  キーを押します。

③ # 6 5 が削除されます。

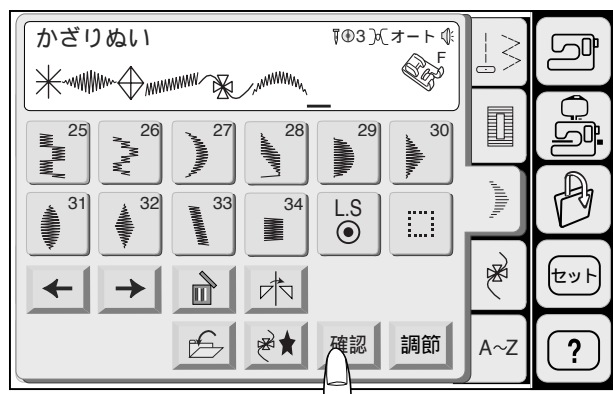
★模様の挿入

① 「カーソル」キーで挿入したい場所の次ぎの模様カーソルを合わせます。

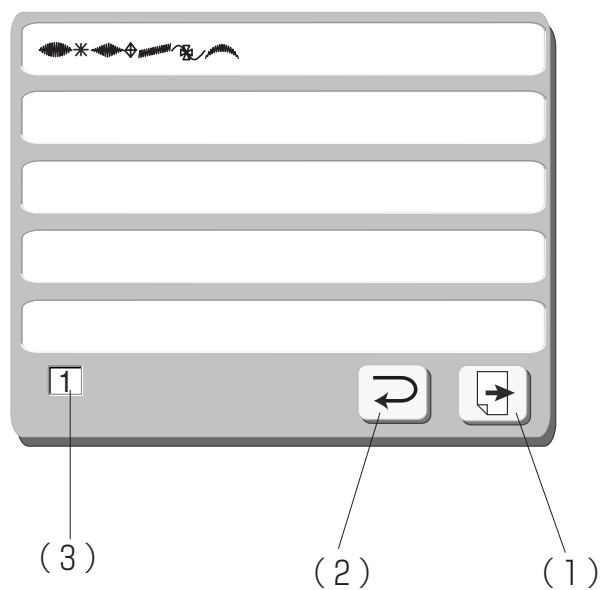
② 模様を選びます。(# 6 6)

③ 模様が挿入されます。

●プログラム確認



確認 キーを押したとき、プログラムした内容が確認できます。



(1) ページキー

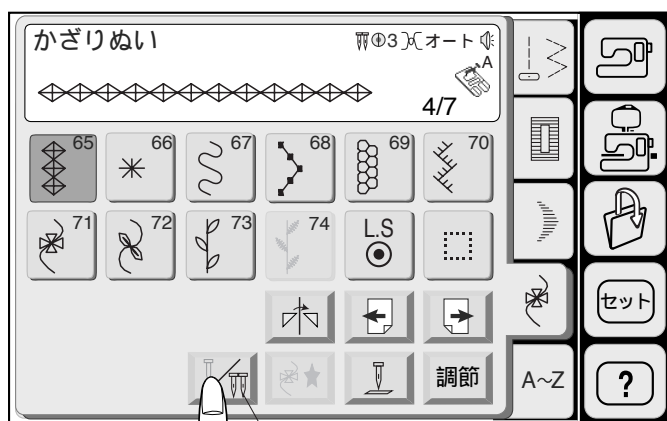
キーで後ろに記憶している模様が一覧できます。
※1画面しか模様が記憶されていないときは、キーは使用できません。

(2) もどりキー

キーを押すと、もとの画面にもどります。

(3) ページ数表示

◎ 2 本針ぬい



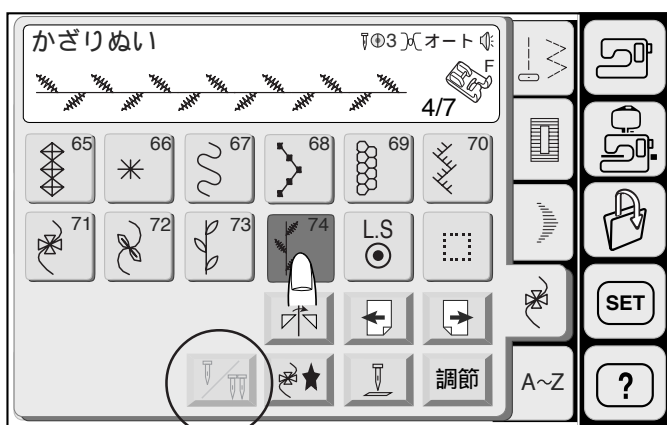
2 本針ぬい切りかえキー

※ 2 本針ぬいを行うときには、必ず試しぬいをしてください。

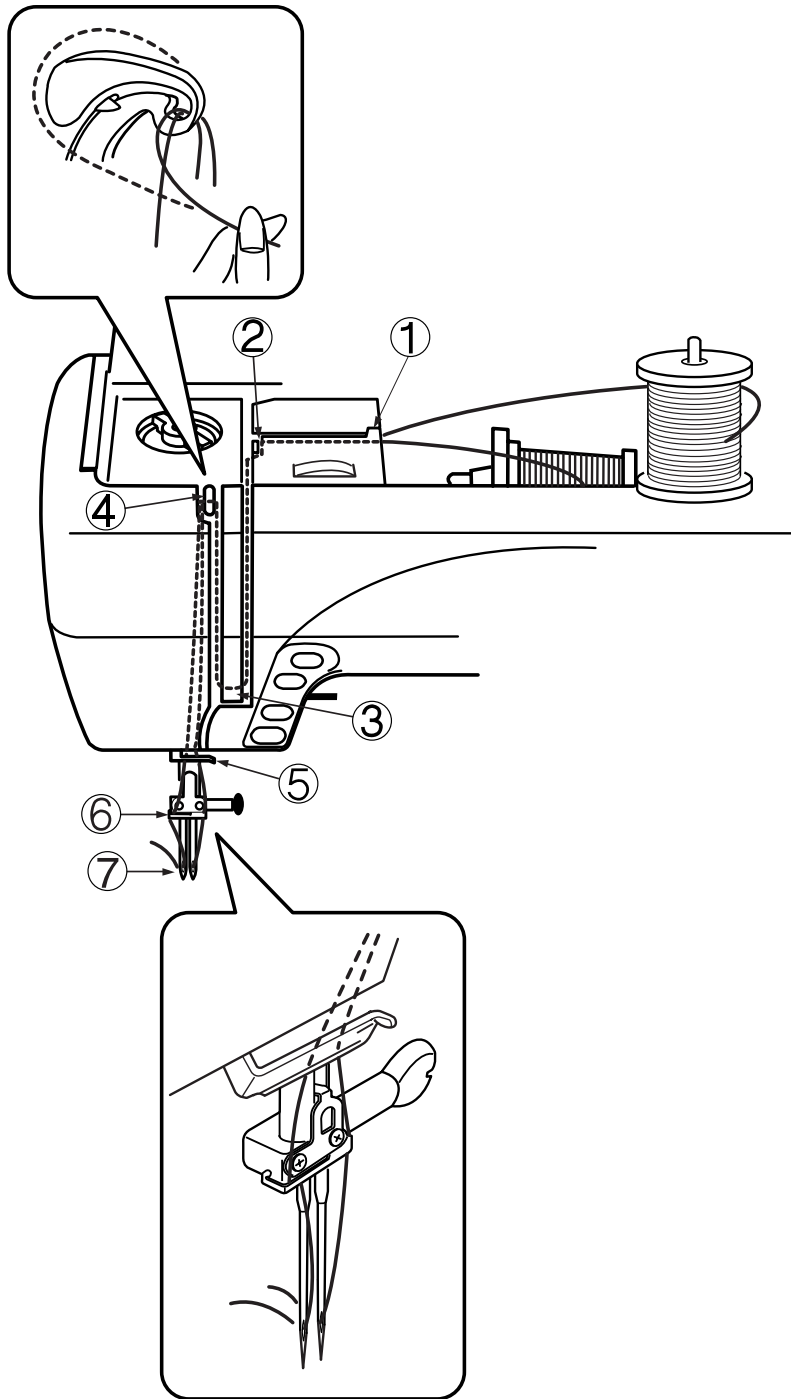
※ 2 本針ぬいのとき押さえは、A:基本押さえ、または F:サテン押さえをご使用ください。
(A:基本押さえ表示模様るとき、布が曲がってまっすぐぬえないときには、F:サテン押さえを使用してください。)

模様を選び、2 本針ぬい切りかえキーを押します。

【1】



【1】 2 本針ぬいに適さない模様の場合
模様を選ぶと 2 本針ぬい切りかえキーがうすくなり使えなくなります。



※取付け穴に補助糸立て棒を立て、フェルト、糸こまを入れます。
(12ページをごらんください。)

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①～⑦の順序で正しくかけてください。

①～⑤の糸の通し方は、1本針のときと同じです。
※糸の端は、下から手前に出るようにします。
※補助糸立て棒の糸こまの糸の端は、向こう側から出るようにします。

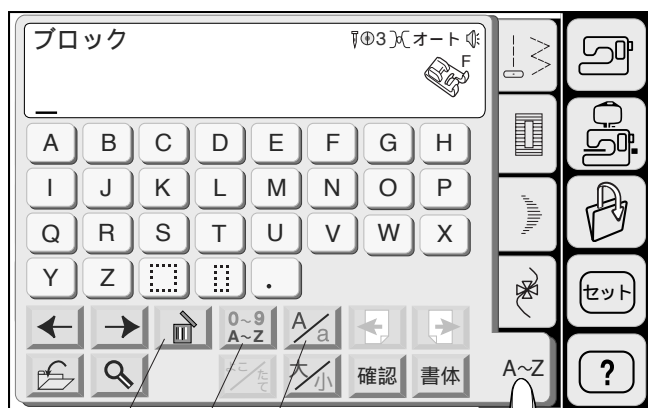
⑥ 針棒糸掛けに左右に分けてかけます。

⑦ 2本針に左右に分けて糸を通します。
※糸通しは使えませんが、針の手前から向こう側に、手で通してください。

※ぬい方向をかえるときは、針を上げて布の方向をかえてください。

◎文字ぬい

●キーのはたらき（ブロック体）



(3) (2)
(1)



(6) (5) (8) (7)

(5)



文字の組合せ模様（文字列）を作成することができます。

(1) 大文字、小文字選択キー

キーを押すごとに大文字・小文字に切りかわります。

(2) アルファベットと数字切りかえキー

アルファベットと数字の切りかえができます。
キーは、一度押すと数字になり、もう一度押すとアルファベットにもどります。


(3) 削除キー

カーソルのついている文字を削除します。

(4) カーソルキー

カーソルキーでカーソルを移動します。
文字の挿入のときにも使用します。カーソルのついている文字の前に挿入されます。


(5) 拡大表示キー

キーが大きくなって選択しやすい画面になります。
 キーを押すともとにもどります。

(6) ファイル保存キー

作成したプログラム（文字列）を記憶しておくことができます。
(69ページをご覧ください。)

(7) 確認キー

プログラム中は文字列の確認、ぬい中は  表示され先頭頭出しさせるキーです。
(58ページをご覧ください。)

(8) 文字大きさ選択キー

文字の大きさが約2/3に縮小されます。
キーは、一度押すと縮小となりもう一度押すと普通サイズにもどります。

●キーのはたらき（明朝体）



(3) (2) (1) (4)

(1) ひらがなとカタカナ切りかえキー

ひらがなとカタカナの切りかえができます。
キーは、一度押すとカタカナになり、もう一度押すとひらがなに戻ります。

(2) 横書き、縦書き切りかえキー

横書きと縦書きの切りかえができます。
キーは、一度押すと縦書きになり、もう一度押すと横書きになります。

(3) ^{だくてん}濁点、半濁点切りかえキー

濁点と半濁点の切り替えができます。
キーは、一度押すと半濁点になり、もう一度押すと濁点になります。

(4) ページキー



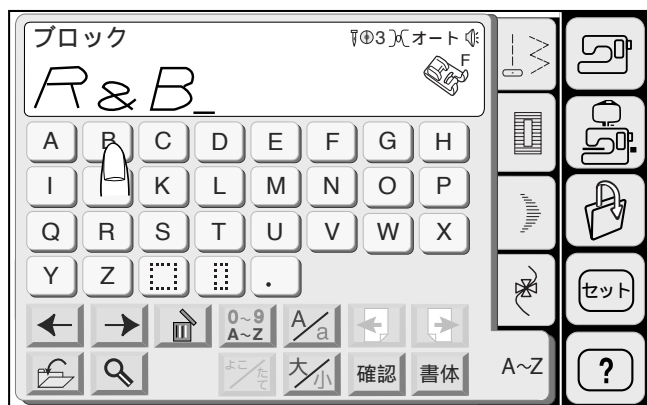
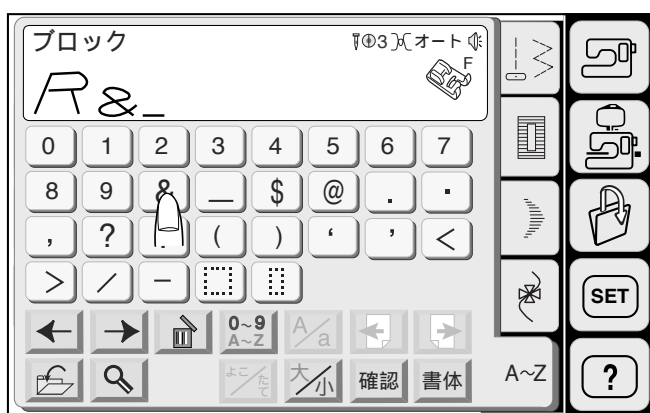
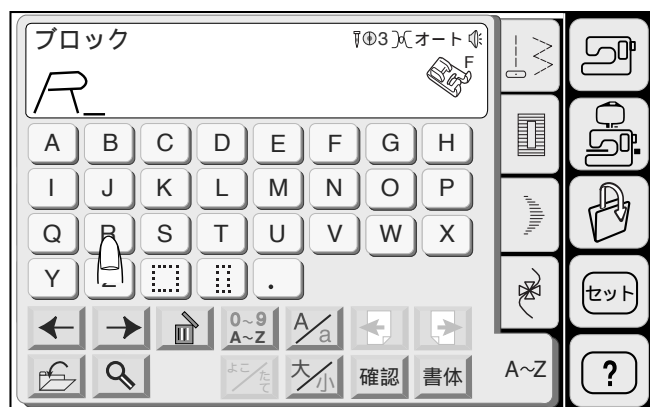
キーは、後ろのページに他の模様があることを示します。



キーは、前のページに他の模様があることを示します。

※その他のキーの使い方は、ブロック体と同じです。

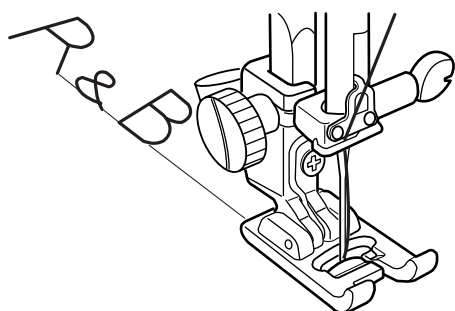
●ぬい例

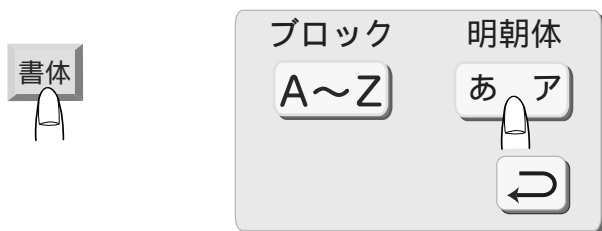


例) ブロック体 R & B

- ① **A/a** キーを押します。(大文字を選びます。)
- ② **L/s** キーを押します。(Lサイズを選びます。)
- ③ Rを選びます。(カーソルが移動してRが記憶されたことになります。)
- ④ **0~9 A~Z** キーを押します。(数字を選びます。)
- ⑤ **L/s** キーを押します。(Sサイズを選びます。)
- ⑥ &を選びます。
- ⑦ **0~9 A~Z** キーを押します。(アルファベットを選びます。)
- ⑧ **L/s** キーを押します。(Lサイズを選びます。)
- ⑨ Bを選びます。
- ⑩ ミシンをスタートして自動的に止まるまでぬいます。

※文字のプログラム修正、および確認は飾りぬいと同じです。
(60～61ページをごらんください。)

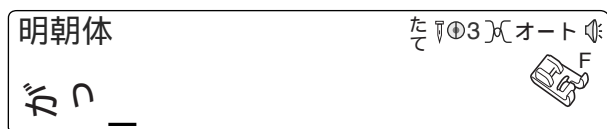
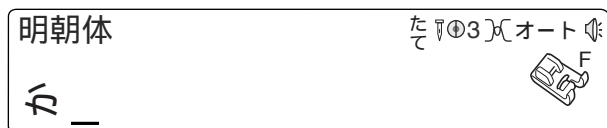
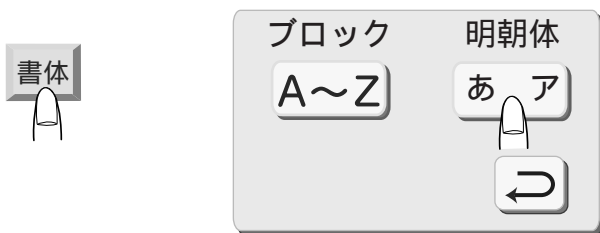




例) 明朝体ひらがな、横書き (がっこう)

- ① 書体キーを押します。
- ② 明朝体キーを押します。
- ③ 「か」を選びます。
- ④ 濁点、半濁点切りかえキーを押します。
- ⑤ ページキーを押します。
- ⑥ 「っ」を選びます。
- ⑦ ページキーを押します。
- ⑧ 「こ」を選びます。
- ⑨ 「う」を選びます。
- ⑩ ミシンをスタートして自動的に止まるまでぬいます。

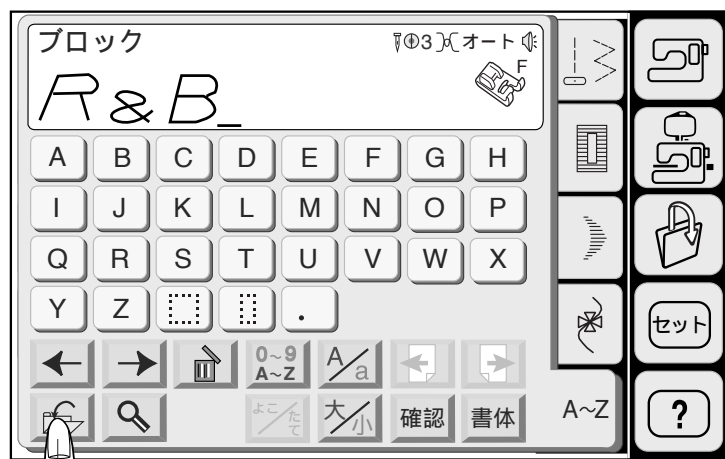




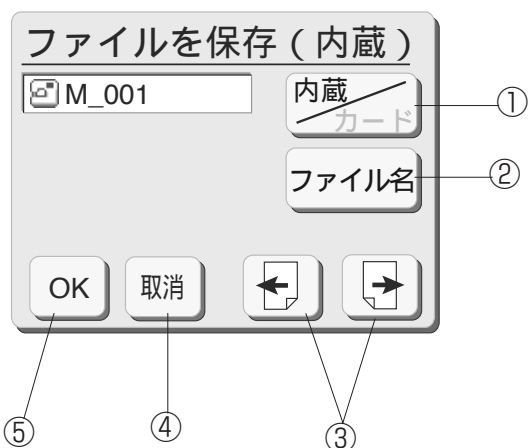
例) 明朝体ひらがな、縦書き (がっこう)

- ① 書体キーを押します。
- ② 明朝体キーを押します。
- ③ 横書き、縦書き切りかえキーを押します。
- ④ 「か」を選びます。
- ⑤ 濁点、半濁点切りかえキーを押します。
- ⑥ ページキーを押します。
- ⑦ 「っ」を選びます。
- ⑧ ページキーを押します。
- ⑨ 「こ」を選びます。
- ⑩ 「う」を選びます。
- ⑪ ミシンをスタートして自動的に止まるまでぬいます。

●ファイルの保存



(1)





(1) ファイル保存キー

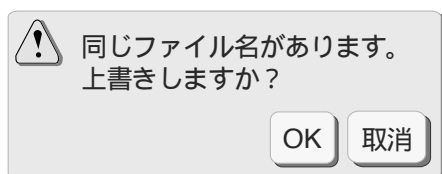
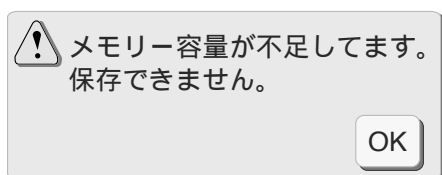
作成したプログラムを記憶しておくことができます。

- ① **内蔵/カード** キーでミシンに保存、またはカードに保存の選択をします。
- ② **ファイル名** キーでファイル名が入力できます。
- ③ **←/→** キーでうしろ、または前のページに保存している項目が一覧できます。
- ④ **取消** キーを押すと、もとの画面にもどります。
- ⑤ **OK** キーを押すと、保存してもとの画面にもどります。

※模様を保存すると、ファイル名を入れないとき
M_001・・・からの連番で自動入力します。

※ファイルを保存中、および開いている途中で電源を切ったり、カードの抜き差しを行わないでください。また、画面に   や砂時計の表示が出ているあいだは、電源を切ったり、カードの抜き差しを行わないでください。記憶したデータが消失したり、ミシンがダメージを受ける場合があります。

【1】



【1】 ファイル名の入力

ファイル名 キーを押すと入力画面が表示されます。

アルファベット、数字キーを押して入力します。
(8文字まで入力できます。)

⑥ **B.S** キーで入力修正します。

⑦ **取消** キーを押すと、ファイル保存の画面にもどります。

⑧ **OK** キーを押すと、ファイル保存画面にもどり、ファイル保存されます。

記憶容量がいっぱいになったときは、注記表示されますので、**OK** キーを押してください。

記憶が必要な場合は、ファイルを開いて、不要な模様を削除することにより、記憶容量を確保してからもう一度保存してください。

※保存したデータが誤操作や故障等で消失する場合に備え、別売のマイカードにも保存することをお勧めします。

同じファイル名のときは、注記表示されます。

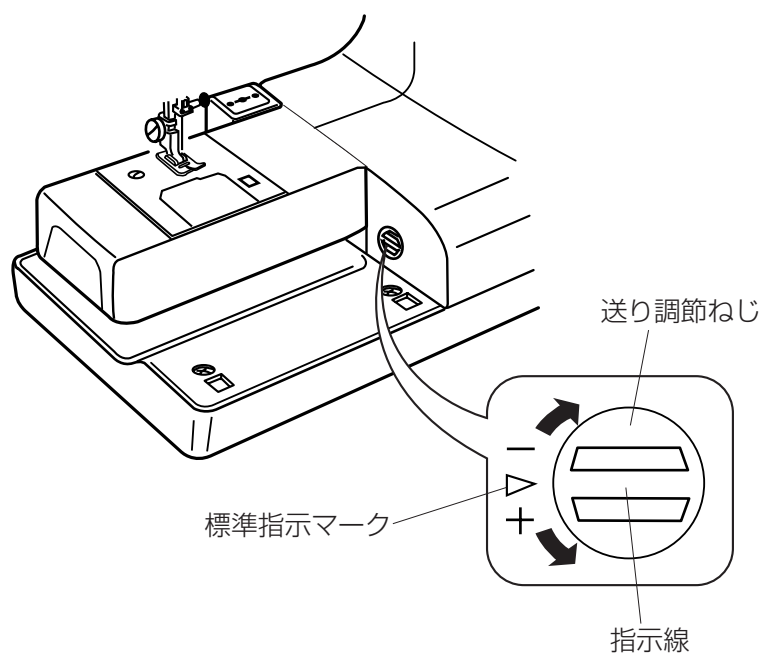
OK キーを押すと、上書きし、もとの画面にもどります。

取消 キーを押すと、上書きせずに、もとの画面にもどります。ファイル名を変更してから、保存してください。

◎模様の形の整え方

布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が模様を正しくぬえる目安の位置です。



【1】

【1】スーパー模様の形の整え方

模様が伸びたり、つまったりして形が整わないときは、下記方法で調節します。

※スーパー模様は、前進ぬいと後進ぬいがある模様です。

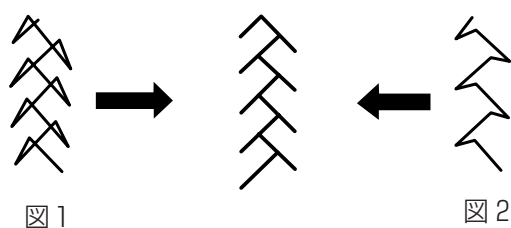


図1のように、模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

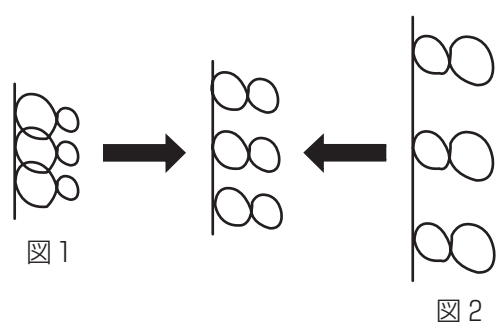
図2のように、模様が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

【2】

【2】文字・数字の形の整え方

図1のように、文字がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように、文字が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

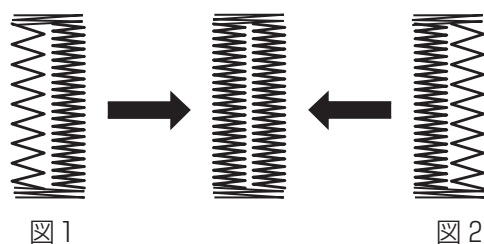


【3】

【3】オートボタンホールの左右のぬい目あらしの整え方

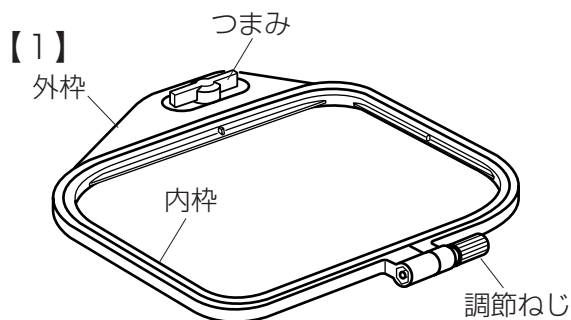
図1のように、左側があらいとときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように、右側があらいとときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。



◎刺しゅう

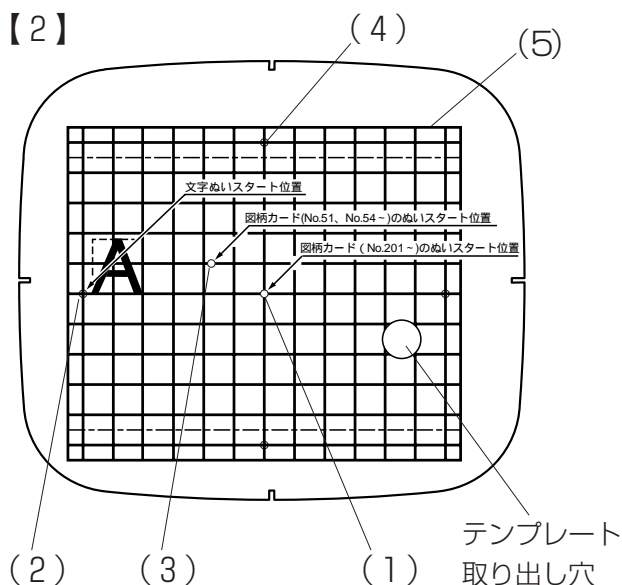
●刺しゅう枠（テンプレート）の種類と用途



【1】標準刺しゅう枠 A (F)

刺しゅう範囲は、126mmX110mmで標準的な刺しゅうに使用します。

※ (F) は、ワンタッチ刺しゅう枠でオプションです。



【2】テンプレート


(1)内蔵模様および、図柄カード(No.201~)のぬいスタート位置また、文字ぬいの2 エンブレム、3 エンブレムのぬいスタート位置

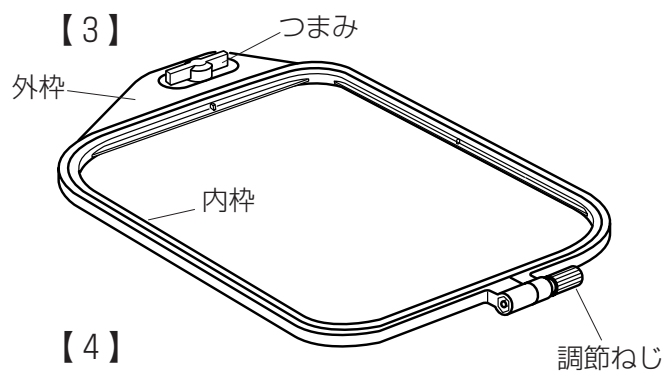
(2)文字ぬい（よこ書き）のぬいスタート位置

(3)カードリーダ（オプション）読み込み模様および、図柄カード(No.51、No.54~)のぬいスタート位置

(4)文字ぬい（たて書き）のぬいスタート位置

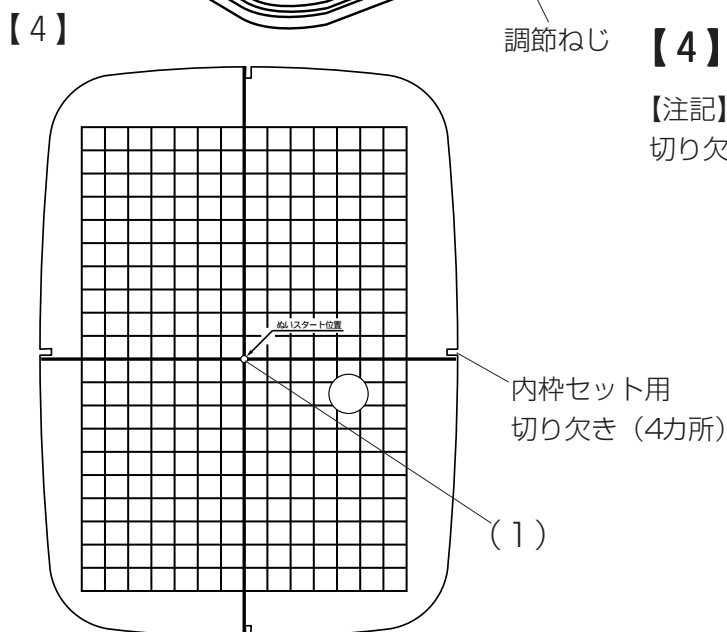
(5)  内蔵模様、文字ぬいの刺しゅう範囲を示します。

(6)  カードリーダ読み込み模様および、図柄カード(No.51、No.54~)の刺しゅう範囲を示します。



【3】大型刺しゅう枠 B

刺しゅう範囲は、140mmX200mmで大型模様を刺しゅうしたり、組み合わせに使います。



【4】テンプレート

【注記】

切り欠きは基準線とは関係ありません。

●芯地

芯地を刺しゅう部分の布の裏側に使うとききれいに仕上がります。

しっかりした厚手の布なら芯地を貼らずにそのままぬえます。

薄い布や化繊布、または、ジャージーのような伸縮性のある布の場合は、不織布の芯地を貼ります。

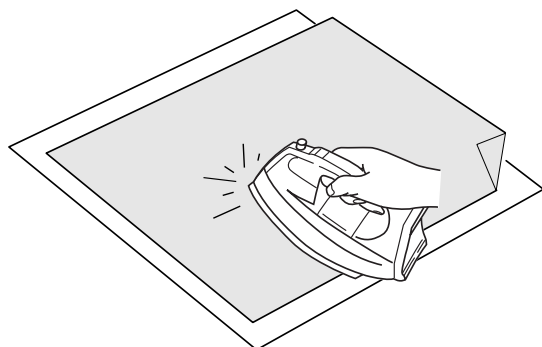
芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。

接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうするときに使ってください。

布がしっかりしている場合には、芯地のかわりに布の下に薄紙を敷いてもよいでしょう。

接着芯地は布の厚さに合わせて選びます。

厚手の布の場合は、ややそれより薄い芯地がよいでしょう。



【接着タイプ】

刺しゅうしない面（裏）と、芯地の光沢のある面（糊付^{のり}き）を向かい合わせにしておき、かどを折ってアイロンがけします。

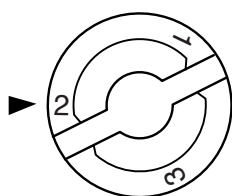
※芯地のかどを折っておくと、刺しゅうが終わったあとに、芯地をはがしやすくなります。

●刺しゅう糸

布	針	糸
うすい布	11番 ブルー針	ミシン刺しゅう糸（ジャンメテレーザ50番） 絹糸50番～100 化繊糸50番～100番
普通の布		
ニット地		
厚い布	14番	

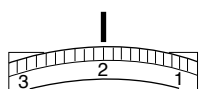
※刺しゅうの下糸には、専用の「テレーザ下糸用スパン糸 90 番」をおすすめします。

●押さえ圧ダイヤル

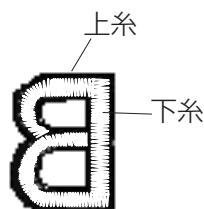


押さえ圧ダイヤルは、「2」にセットしてください。

●糸調子



布の裏

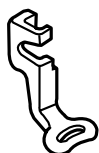


正しい糸調子

糸調子ダイヤルは、「2」にセットしてください。

正しい糸調子は、布の裏側に少し上糸が見えるくらいです。

●押さえ



P:刺しゅう押さえ

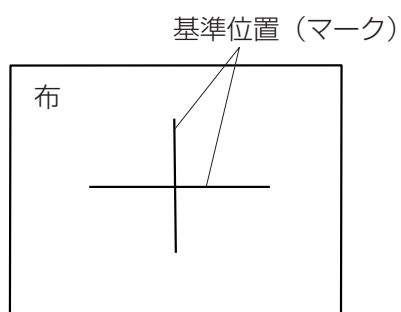
押さえの取り付け方は、10ページをごらんください。

●針

うすい布・普通の布・ニット地 11番,ブルー針
厚い布 14番

●布の張り方

①

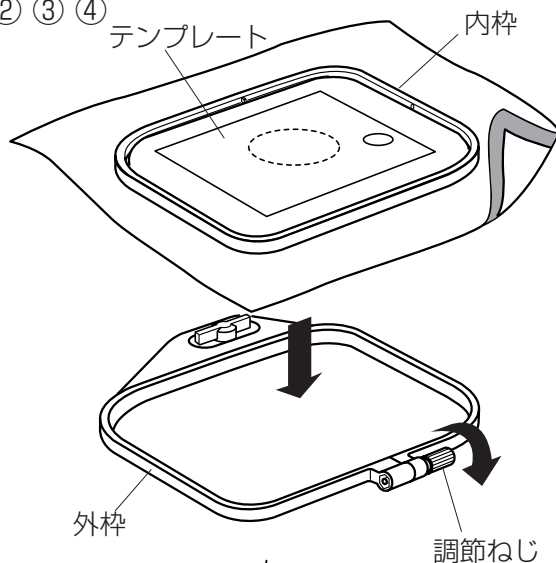


① 模様の位置を決めるために、布に模様の基準位置（ぬい原点）をマーク（十字）します。

※ 模様の基準位置（ぬい原点）は、付属の模様用テンプレートシートに位置が示されています。

※ クロスセッターⅡ（オプション）を使うと簡単に正確な位置決めができます。

② ③ ④



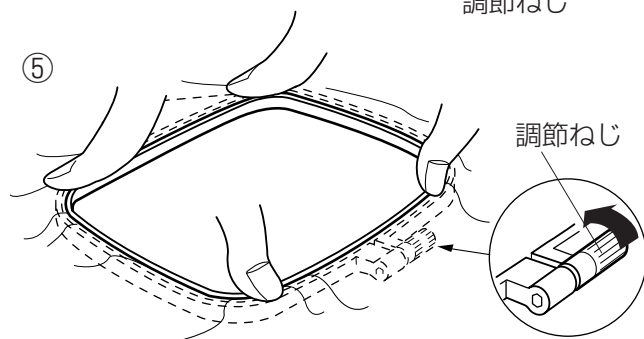
② 外枠の調節ねじをゆるめます。

③ 布の上に内枠を置き、その上にテンプレートを入れ、テンプレートと布の基準線を合わせます。

※ マークが枠の中心になるように、かつ、水平方向、垂直方向も合わせて位置を決めます。

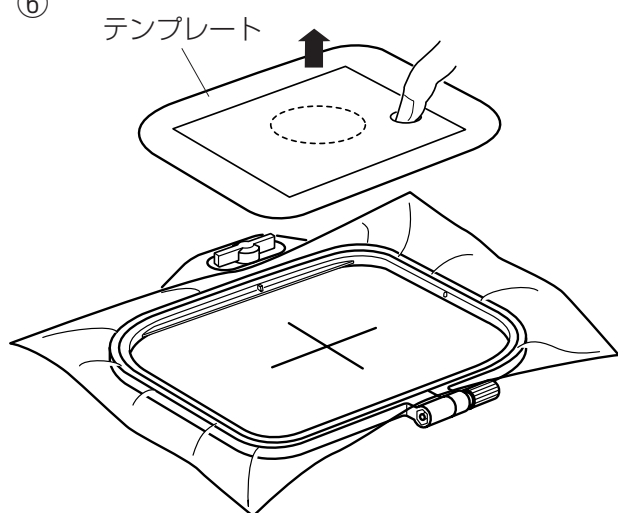
④ 布とテンプレートの基準線がズレないように外枠にセットします。

⑤



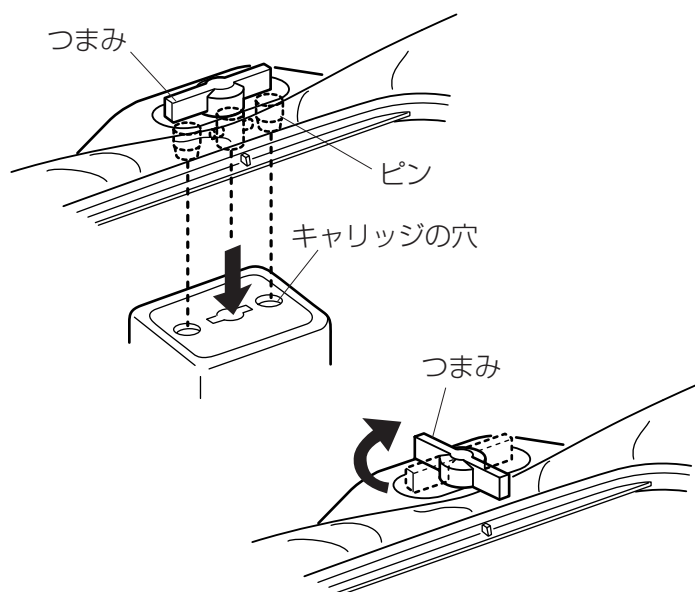
⑤ 調節ねじをしめて、布を張ります。

⑥



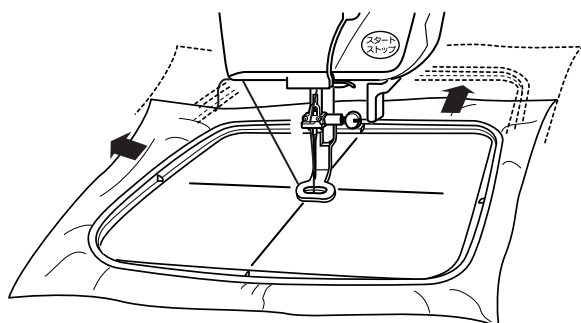
⑥ テンプレートを外します。

●刺しゅう枠の取り付け



刺しゅう枠のつまみを真横にして、ピンをキャリッジの穴に差し込み、つまみを右にまわして、刺しゅう枠を取り付けます。

外すときは、つまみを左にまわして外します。

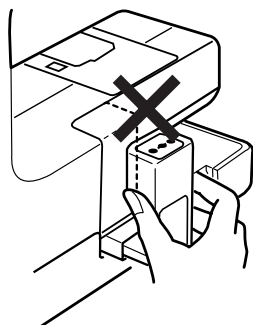


【注記1】

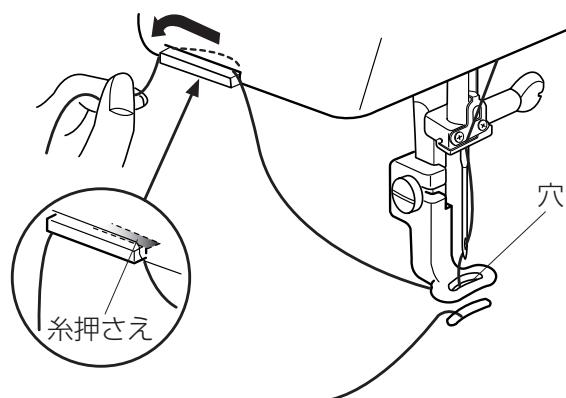
キャリッジが移動しますので、キャリッジ、およびミシンの周辺にはものを置かないようにしてください。

【注記2】

キャリッジは手で動かさないでください。
故障の原因になります。

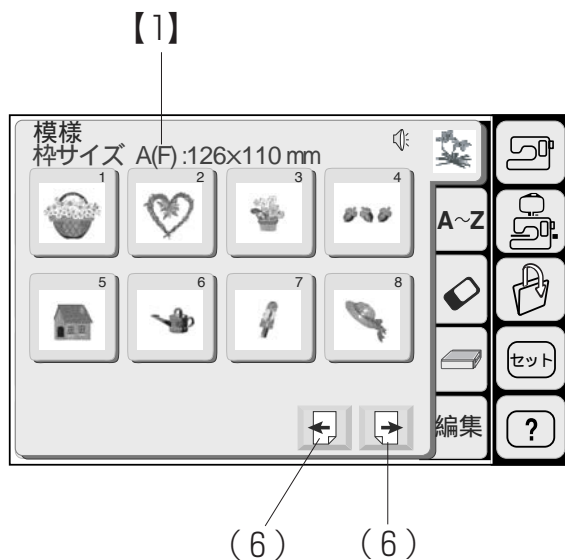
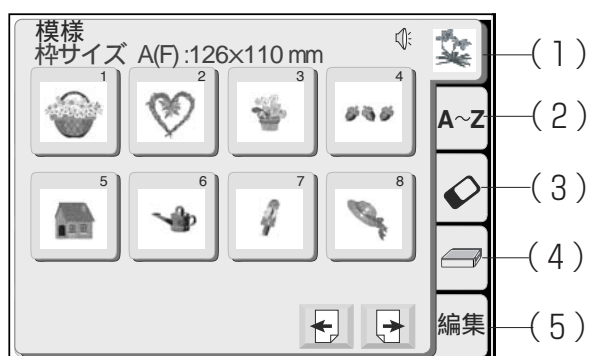
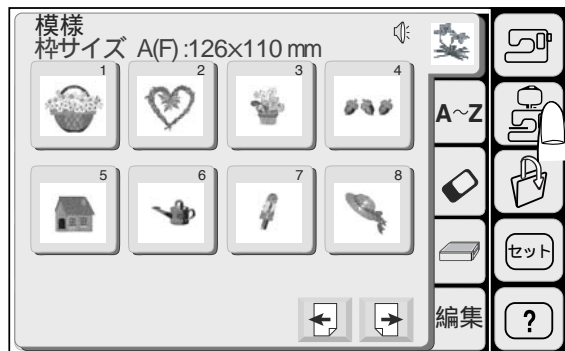


●ぬい始めの糸掛け



上糸は、押さえの穴に通し、糸端を糸切りの糸押さえ部に手前から向こう側へ2～3 cmかけます。

●内蔵模様



刺しゅうモードは、5つに分類されていて、画面には常に各選択キーが表示されていますので、キーを押すことによって目的の刺しゅう模様を選択することができます。

(1) 内蔵模様

91の内蔵刺しゅう模様を選択することができます。

(2) モノグラム模様

モノグラム8書体

ゴシック、スクリプト、チェルトナム、2-エンブレム、3-エンブレム、明朝体、まるもじ、明朝体（漢字）が内蔵されています。

(3) メモリーカード

メモリーカード（オプション）から模様データを読み込んで刺しゅうをします。


(4) カードリーダー読み込み


カードリーダー（オプション）から、図柄カード No.51, No.54～（オプション）のデータを読み込んで刺しゅうをします。

(5) 編集

刺しゅうデータを編集して刺しゅうすることができます。

(6) ページキー

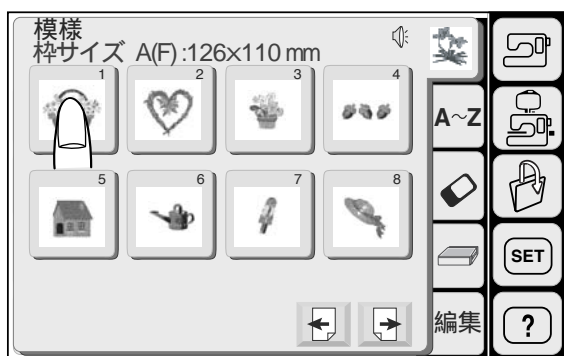
 キーは、選択できる模様がうしろのページにあることを示します。

 キーは、選択できる模様が前のページにあることを示します。

【1】 枠サイズ

選択した模様を刺しゅうするとき使用する刺しゅう枠が表示されています。

●刺しゅう画面キーのはたらき



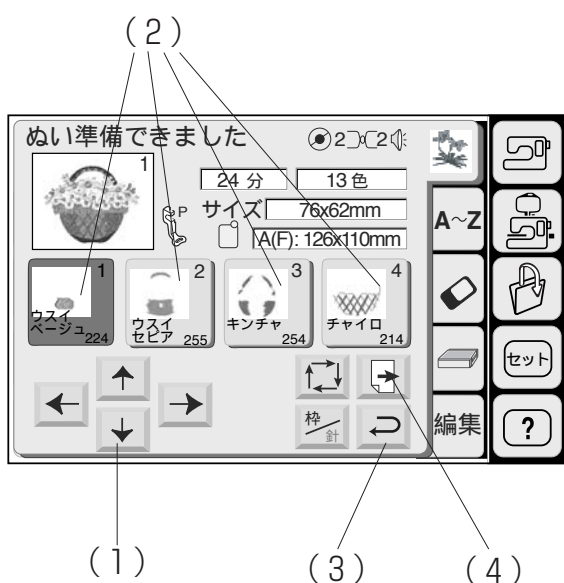
(1) ジョグキー

模様の基準位置をかえることができます。
あらかじめ布にマークされた模様の基準位置を針の真下にくるようにジョグキーで位置合わせをすることにより、思い通りの位置に刺しゅうすることができます。

(2) 色替えキー

色ごとに分かれた模様が一つ一つのキーに表示されています。ぬい始めると一色のブロックを終わってミシンは、自動的に停止します。
糸を交換して再びスタートしてください。ぬい終えた部分は、キーの色がうすくなります。

※ 色名の横の数字は、糸（オプション）番号です。



【スキップ機能】

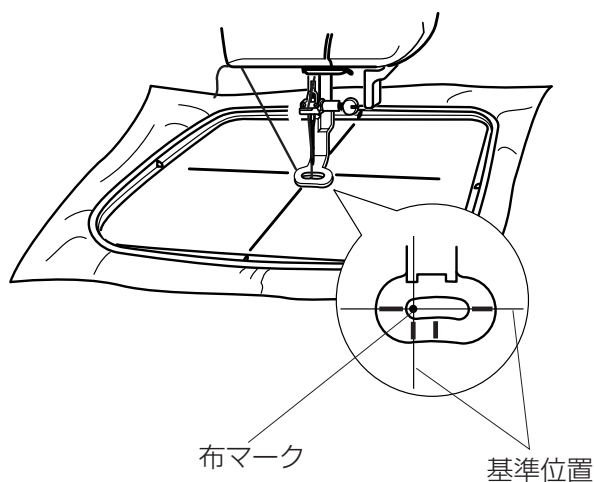
刺しゅうする前に、色替えキーを押すと、押したキーまで模様を省略してぬい始めます。
そのとき、押したキーの色がうすくなります。
もとにもどすときは、うすくなっていない、いずれかの色替えキーを押します。

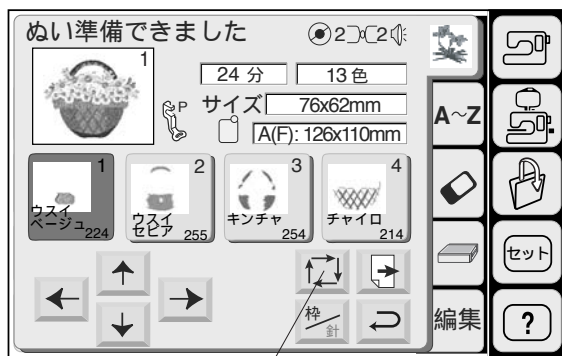
(3) もどりキー

キーを押すと、模様選択画面にもどります。

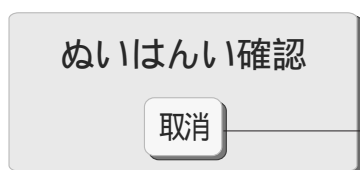
(4) ページキー

キーを押すことによって、残りの色替えキーが表示されます。

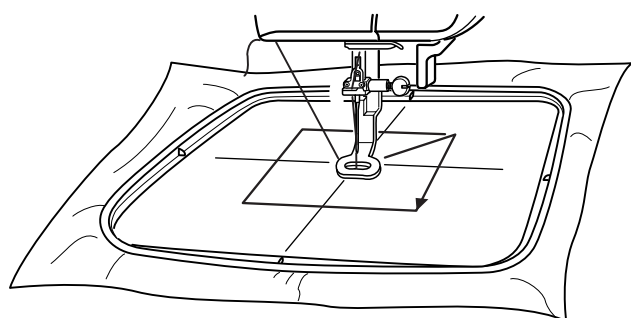




(5)



(6)



(5) 刺しゅう範囲確認キー

キーを押すと自動的にぬい範囲を確認します。確認が終わると、刺しゅう画面に切りかわります。

(6) 取消しキー

キーを押すと、刺しゅう画面にもどります。

(7) 針前進/後進キー

ぬい始めると、枠キーが消えて、針前進/後進キーが表示され、同時に窓に1針目からのトータル針数が表示されます。

- +** キーを押すと、数字が進み、進めた分の針数がスキップします。
- キーを押すと、数字がもどり、もどったところから、改めてぬえます。

(8) 枠/針切りかえキー

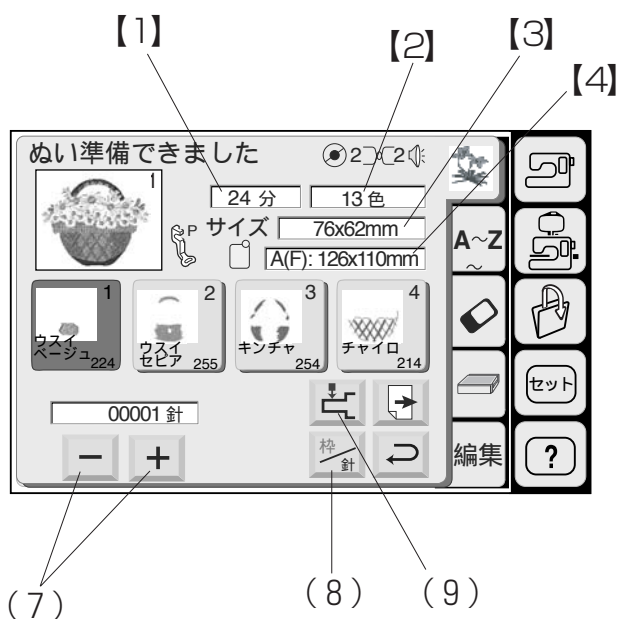
刺しゅう画面では、刺しゅうを始める前には枠キーを表示し、刺しゅうを始めると針前進/後進キーが表示されます。

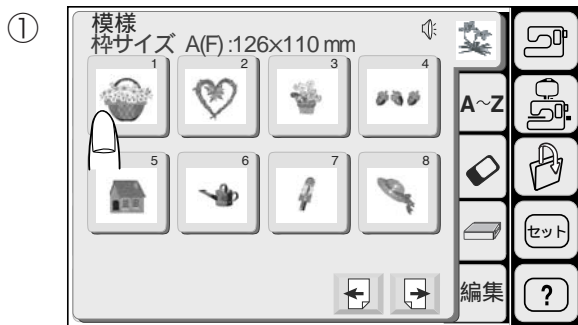
(9) キャリッジ収納キー

キーを押すと、キャリッジを収納することができます。

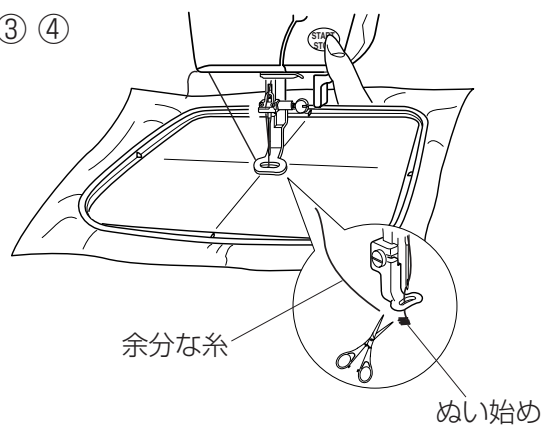
【その他画面説明】

- 【1】 刺しゅう時間表示
- 【2】 色替え数表示
- 【3】 模様サイズ表示
- 【4】 使用する刺しゅう枠表示



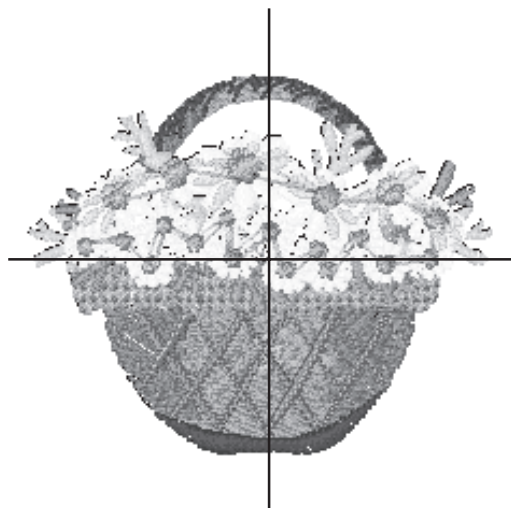


② ③ ④



★ぬい

- ① 模様を選びます。(例.# 1)
- ② 押さえをさげて、スタート・ストップボタンを押し、5〜6針ぬったところでスタート・ストップボタンをもう一度押し、ミシンを止めます。
- ③ 押さえをあげて、ぬい始めの余分な糸をぬい目のきわから切り、押さえを下げます。
- ④ ミシンをスタートして、自動的に止まるまでぬいます。



【ぬいあがり】

模様は、布の基準線に対して図のようにぬいあがります。
※基準線に対する模様の位置は、付属の模様テンプレートシートに示されています。

●文字刺しゅう

カーソル

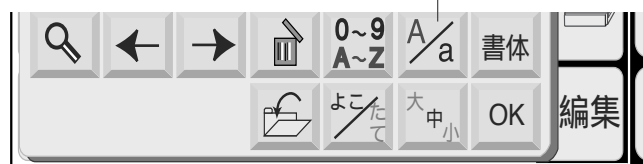


(1)



(2)

(3)



★モノグラム選択画面

モノグラム選択画面で直接文字キーを押して、文字列をプログラムします。

文字キーを押すと、押された文字は確定しカーソルが移動します。

※刺しゅう枠は、標準刺しゅう枠Aを使用してください。

★キーのはたらき

(1) 書体キー

書体切り換え画面が表示されます。

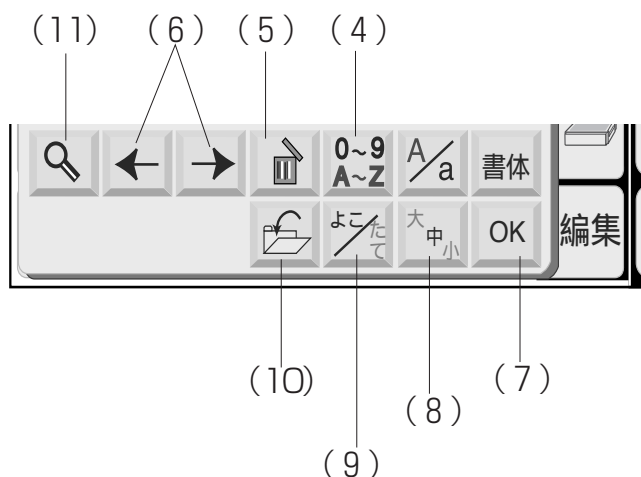
ゴシック
スクリプト
チェルトナム
2-エンブレム
3-エンブレム
明朝体 (ひらがな、カタカナ)
まるもじ (ひらがな、カタカナ)
明朝体 (漢字)
を切りかえます。

(2) もどりキー

もどりキーを押すと、はじめの画面にもどります。

(3) 大文字/小文字選択キー

大文字と小文字を切りかえます。



(4) アルファベットと数字切りかえキー
アルファベットと数字の切りかえができます。
キーは、一度押すと数字になり、もう一度押すとアルファベットにもどります。

(5) 削除キー
カーソルの合っている文字を削除します。

(6) カーソルキー
カーソルキーでカーソルを移動します。
文字の挿入のときにも使用します。カーソルのついている文字の前に挿入されます。

(7) OKキー
選択した文字列を確定し、刺しゅう画面に切りかわります。


(8) 文字大きさ選択キー
文字大きさを大・中・小選択できます。
文字を選択する前に選びます。

※ 文字の大きさの目安は、
大 (L) サイズは、各書体とも30mm、
中 (M) サイズは、各書体とも20mm、
小 (S) サイズは、各書体とも10mmです。
なお、文字によって大きさが多少異なっています。

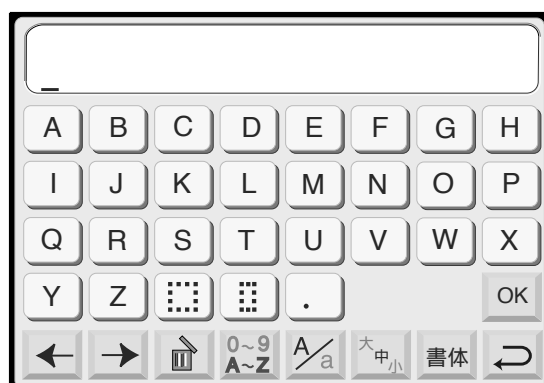
(9) 縦書き/横書き切りかえキー
刺しゅうする方向を縦方向と横方向で選ぶことができます。
キーは、一度押すと縦書きになり、もう一度押すと横書きにもどります。

(10) ファイル保存キー
作成したプログラムを記憶しておくことができます。
(92ページをのぞいてください。)

(11) 拡大表示キー
キーが大きくなって選択しやすい画面になります。

 キーを押すと、もとにもどります。

(11)



①



★文字ぬい例（ゴシック体）「Bear」

- ① 書体キーを押して「ゴシック」を選び、文字「B」を選びます。（文字サイズ「中」）

②



- ② 大文字/小文字選択キーを押して、小文字を選びます。

③ ④



- ③ 「e」、「a」、「r」と選びます。

- ④ 「OK」キーを押します。

⑤



- ⑤ 刺しゅう画面に切りかわります。

(1) 色替えキー

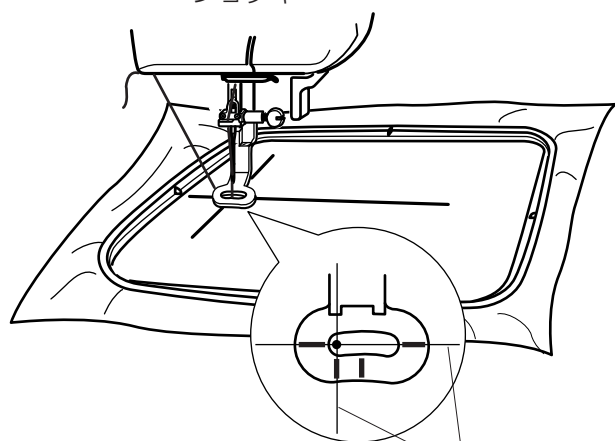
ぬいの前にキーを押すと、1文字ぬって自動的に止まりますので、糸を交換してください。

その他のキーの使い方は、内蔵模様のとときと同じです。

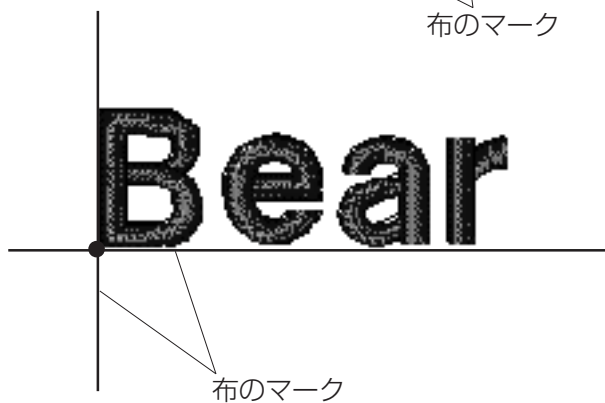
⑥



ジョグキー

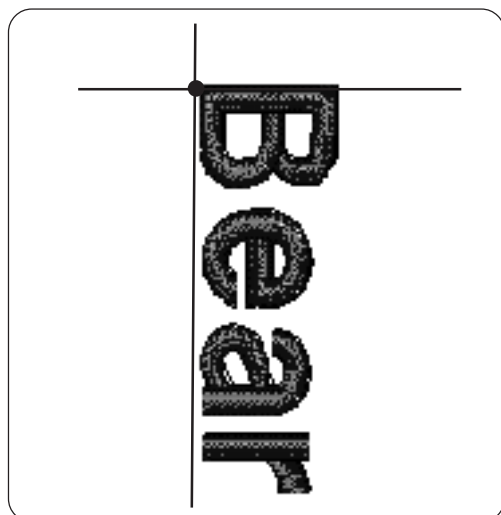


布のマーク



布のマーク

たて書きのときのぬい



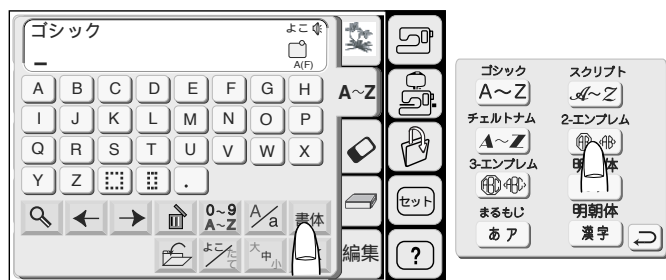
⑥ ジョグキーを使って、布のマークの中心が針の真下にくるように、位置決めします。

⑦ 押さえをさげて、ミシンをスタートします。
5～6針ぬったところでミシンを止めます。

⑧ 押さえをあげて、ぬい始めの余分な糸をぬい目の
きわから切り、押さえをさげます。

⑨ ミシンをスタートして、自動的に止まるまでぬい
ます。

①




★2-エンブレム

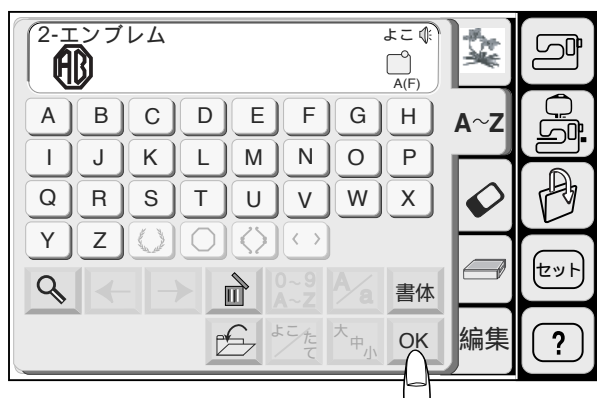
- ① 「書体」キーを押して、2-エンブレムを選びます。

②




- ②  を選びます。
※エンブレムを付けるときには、はじめに選択します。

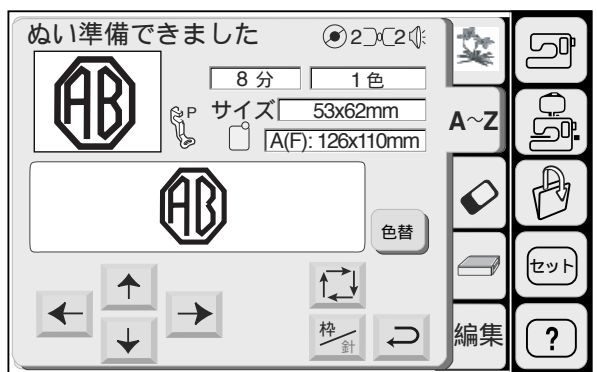
③



- ③ 「A」、「B」を選び、「OK」キーを押します。

※文字の入れかえをするときは、 キーを押して、はじめから選び直します。

④



- ④ 刺しゅう画面が表示されますので、ミシンをスタートしてぬいます。

※3-エンブレムは、2-エンブレムと同じ要領で行います。

※2-エンブレムと3-エンブレムのぬい原点（スタート位置）は、中央になります。

●プログラム修正

ゴシック
BEAT_

よこ 

A(F)

①

ゴシック
BEEAT

よこ 

A(F)

② ③

ゴシック
BAT

よこ 

A(F)

①

ゴシック
BAT

よこ 

A(F)

② ③


ゴシック
BEAT


よこ 

A(F)

★文字の削除

例．ゴシック「BEAT」入力


①  キーで削除する文字にカーソルを合わせます。

②  キーを押します。

③ 文字「E」が削除されます。

★文字の挿入

例．ゴシック「BAT」を入力

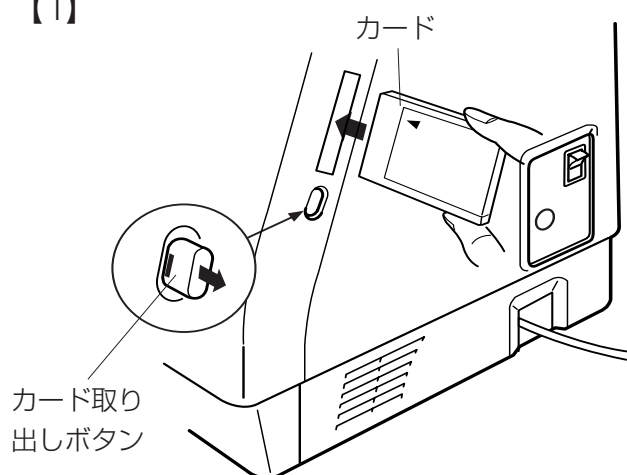
①  キーで挿入したい場所の次ぎの文字にカーソルを合わせます。

② 文字を選びます。(例．ゴシック「E」)

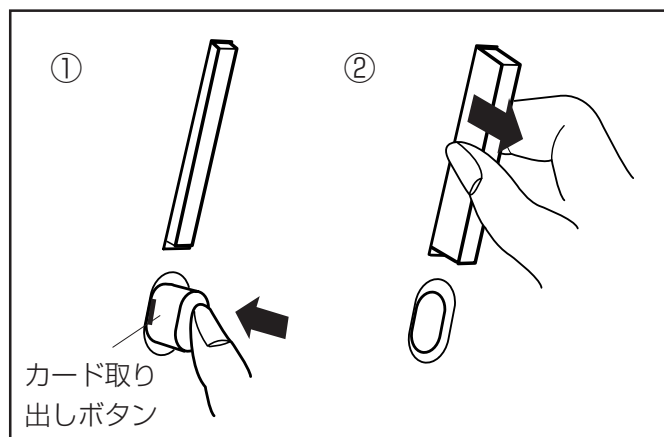
③ 「E」が挿入されます。

●カード刺しゅう（別売品）

【1】





【2】



★メモリーカードのセットと取り出し方

（注記）

電源スイッチ「入」「切」どちらのときでもメモリーカードのセットまたは取り出しは可能ですが、  や砂時計の表示中には、カードのセット、または取り出しは行わないでください。

【1】 セット

カードの表紙（矢印）を表にして、まっすぐに差し込みます。

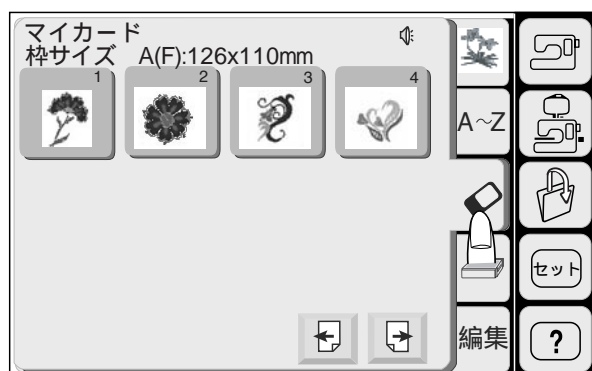
※「カチッ」と小さな音がするまで少し強く押し込むと、カード取り出しボタンが飛び出します。

（注記）

メモリーカードをセットして、電源を入れたとき、立ち上がりに時間がかかることがあります。

【2】 取り出し方

- ① カード取り出しボタンを押します。
- ② 少し飛び出したカードを手で取り出します。

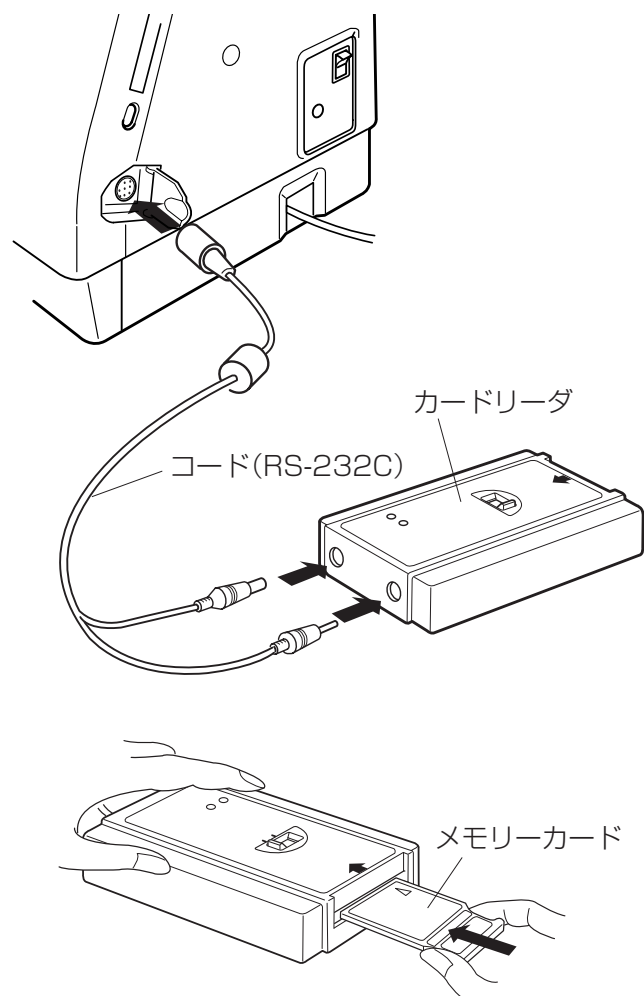


★模様選択

メモリーカードキーを押し、模様を選択すると刺しゅう画面に切りかわります、キーなどの操作は、内蔵模様と同じです。

※カードによっては、一部の大きな模様は選択できない場合があります。その模様を選択すると「枠をオーバーします。」のメッセージが表示されます。

●カードリーダー（別売）読み込み



カードリーダー（オプション）からメモリーカード No.51, No.54～（オプション）のデータを読み込んで刺しゅうをします。

★カードリーダーの接続

- ① ミシンの電源を切っておきます。
- ② カードリーダーコード(RS-232C)をマシンとカードリーダーに差し込みます。

- ③ メモリーカードをカードリーダーに差し込みます。

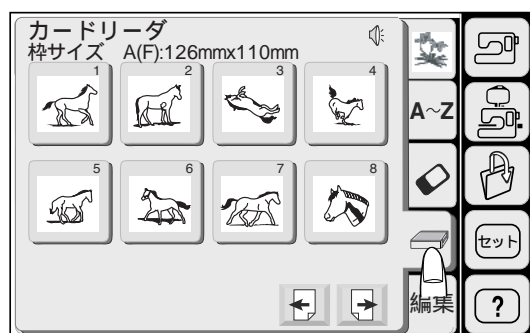
※カードリーダーをはずすときは、電源を切って行ないます。

※カードリーダーの詳しい使い方は、カードリーダーに添付の取扱説明書をごらんください。

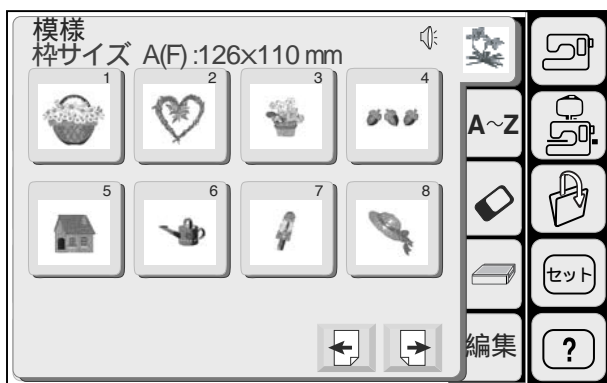
★模様選択

- ① 刺しゅうモードキーを押します。
- ② カードリーダー読み込みキーを押します。

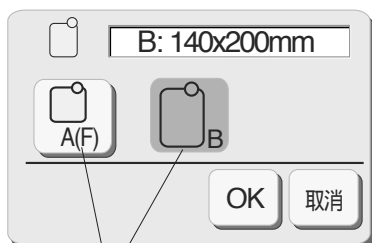
※模様を選択すると、刺しゅう画面に切りかわります。キーなどの操作は、内蔵模様と同じです。



●編集

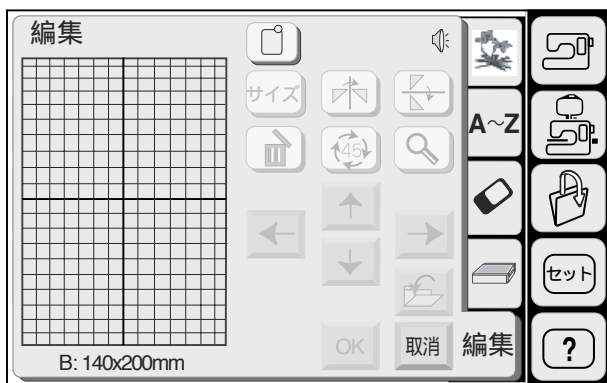


枠選択画面

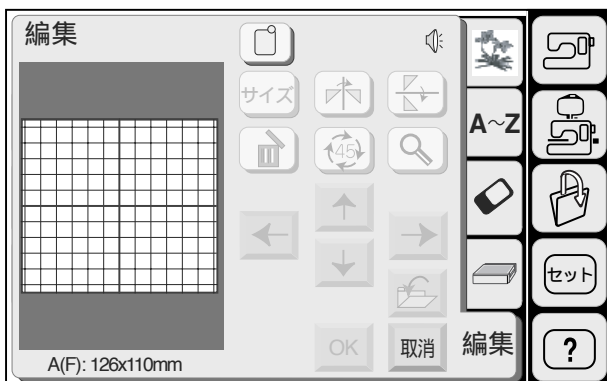


枠選択キー

B枠編集画面



A枠編集画面



編集では、刺しゅうデータを編集して刺しゅうすることができます。

★編集画面

編集キーを押すと、枠選択画面が表示され、刺しゅうに使う枠の大きさを枠選択キーで指定することができます。選択できる画面の大きさは、

A（標準刺しゅう枠） 126X110mm

(F)（ワンタッチ刺しゅう枠） 126X110mm
(オプション)

B（大型刺しゅう枠） 140X200mm

の2種類です。

OK キーを押すと選んだ枠の編集範囲が表示されます。

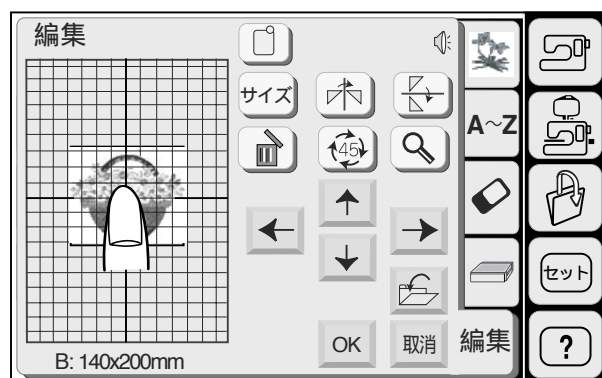
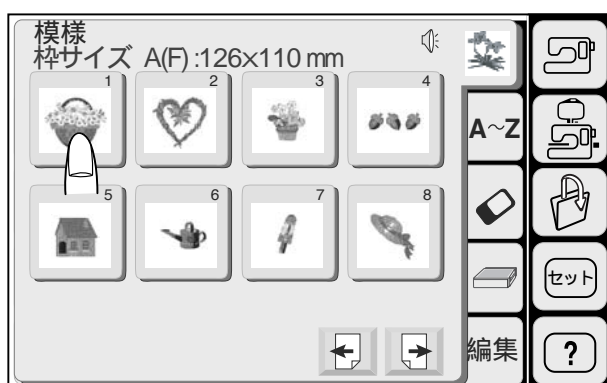
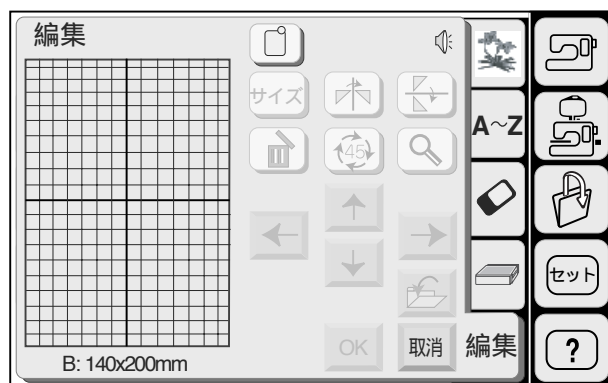
取消 キーを押すと初期値（購入時のセット状態）では、B（大型刺しゅう枠）の画面にもどります。

※模様選択後の枠選択は、90ページをごらんください。

★模様の指定

例 内蔵模様キーを押して、模様#1を選びます。

編集画面の中の変更する模様は画面（パレット）上のその模様に触れることで選択され、四角で囲まれます。四角で囲まれた模様は、いろいろな機能を使って画面（パレット）上で変更（編集）することができます。また、模様に触れそのまま移動しますと、それに従い模様も移動するドラッグ機能があります。先端の鋭くとがったものでは画面に触れないでください。

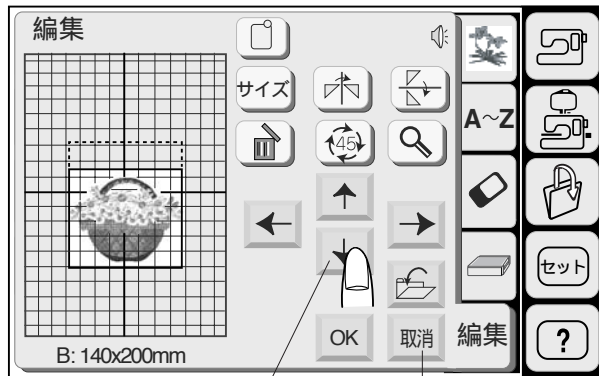


★キーのはたらき

(1) ジョグキー

編集画面でのジョグキーは、画面（パレット）上の指定された模様を移動させるために使います。

※編集画面のジョグキーを動かしてもミシンのキャリッジは動きません。形状は同じですが、ミシンのキャリッジを動かす刺しゅう画面のジョグキーとは機能が違います。ミシンのキャリッジを動かすためには、刺しゅう画面のジョグキーをお使いください。

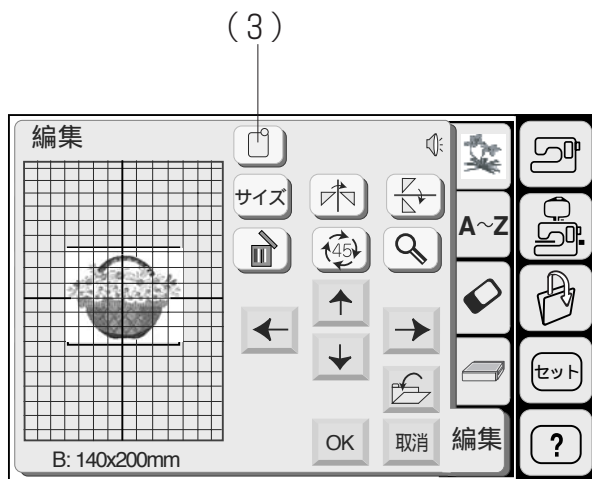


(1)

(2)

(2) 取消キー

編集を中止し、最後に選択した模様を選択画面にもどります。



(3)

(3) 枠選択キー

模様のサイズに合った枠を指定することができます。選択できる画面の大きさは、

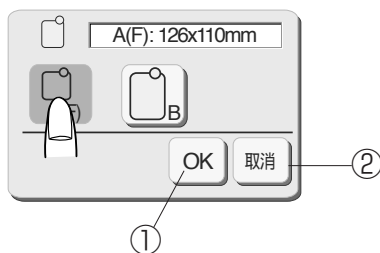
A（標準刺しゅう枠） 126X110mm

F（ワンタッチ刺しゅう枠） 126X110mm

（オプション）

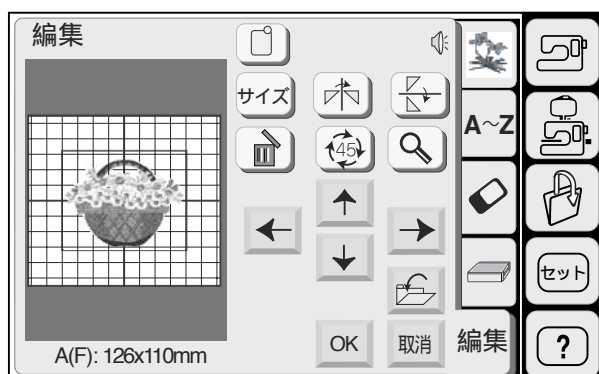
B（大型刺しゅう枠） 140X200mm

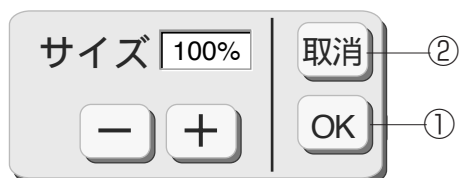
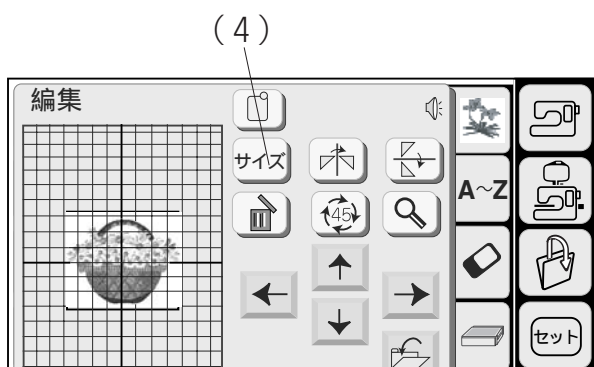
の2種類です。



(1)

(2)



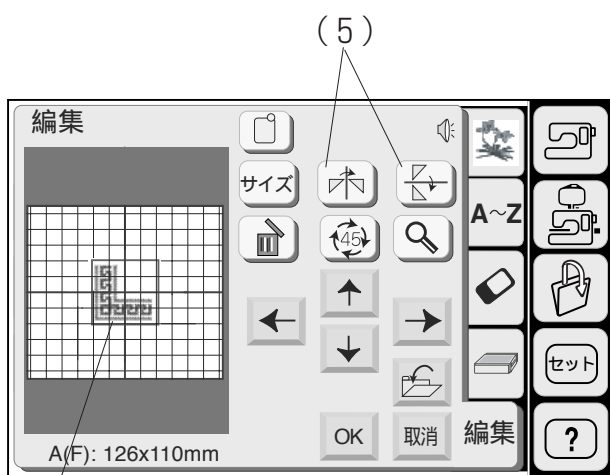


(4) サイズキー

指定された模様（黒枠で囲まれた模様）の大きさを4段階（90%・100%・110%・120%）で拡大縮小できます。

サイズキーを押すと、サイズ変更画面が表示されますので **−** **+** キーで90%・100%・110%・120%、の大きさを選んでください。初期値は「100%」です。

- ① **OK** キーを押すと、サイズ変更され編集画面にもどります。
- ② **取消** キーを押すともとの画面にもどります。



③

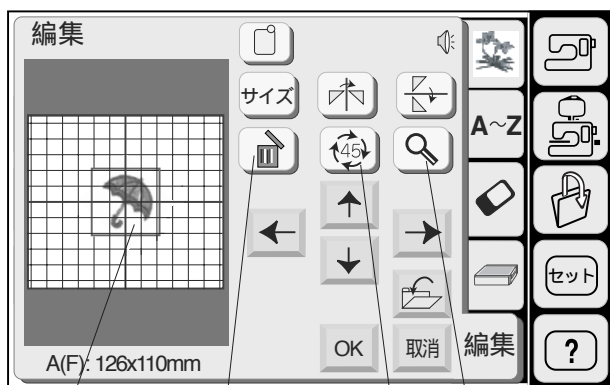
(5) 模様反転キー（ミラーキー）

指定された模様を反転することができます。

左右反転 キーを押すと左右反転します。

③模様 # 75の左右反転例

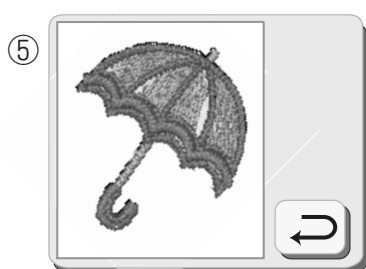
上下反転 キーを押すと上下反転します。



④

(7)

(6) (8)



(6) 模様回転キー（ローテーションキー）

指定された模様を回転することができます。

キーを押すと45° 毎に回転します。

④模様 # 59を回転させた例

(7) 削除キー

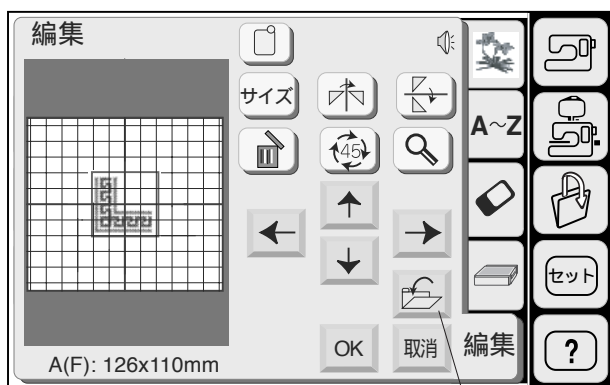
指定された模様を削除することができます。

(8) 拡大表示キー

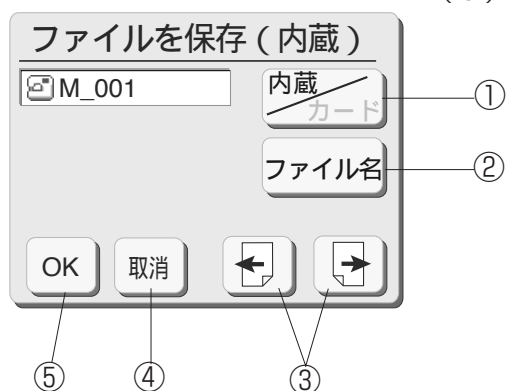
指定された模様を拡大して確認することができます。

拡大表示 キーを押すと、もとの画面にもどります。

⑤拡大表示画面



(9)





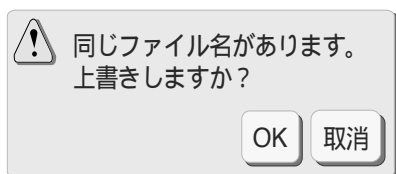
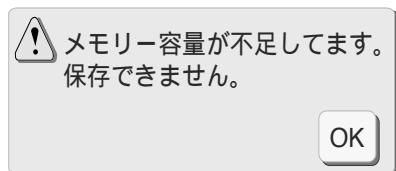
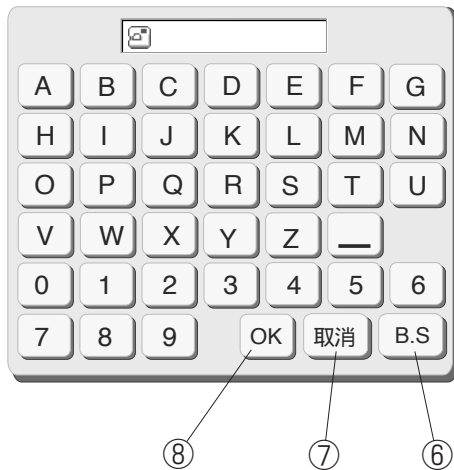
(9) ファイル保存キー

作成したプログラムを記憶しておくことができます。

- ① **内蔵 / カード** キーでマシンに保存、またはカードに保存の選択をします。
- ② **ファイル名** キーでファイル名が入力できます。
- ③ **← / →** キーでうしろ、または前のページに保存している項目が一覧できます。
- ④ **取消** キーを押すと、もとの画面にもどります。
- ⑤ **OK** キーを押すと、保存してもとの画面にもどります。

※模様を保存すると、ファイル名を入れないとき M_001・・・からの連番で自動入力します。

※ファイルを保存中、および開いている途中で電源を切ったり、カードの抜き差しを行わないでください。また、画面に   や砂時計の表示が出ているあいだは、電源を切ったり、カードの抜き差しを行わないでください。記憶したデータが消失したり、マシンがダメージを受ける場合があります。



【1】ファイル名の入力

ファイル名 キーを押すと入力画面が表示されます。

アルファベット、数字キーを押して入力します。（8文字まで入力できます。）

⑥ **B.S** キーで入力修正します。

⑦ **取消** キーを押すと、ファイル保存の画面にもどります。

⑧ **OK** キーを押すと、ファイル保存画面にもどり、ファイル保存されます。

記憶容量がいっぱいになったときは、注記表示されますので、**OK** キーを押してください。

記憶が必要な場合は、ファイルオープンをして、不要な模様を削除することにより、記憶容量を確保してからもう一度保存してください。

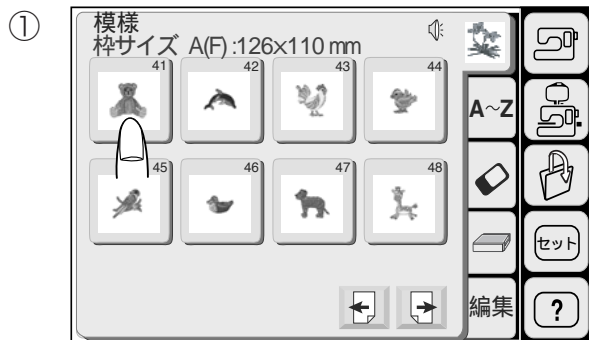
※保存したデータが誤操作や故障等で消失する場合に備え、別売のマイカードにも保存することをお勧めします。

同じファイル名のときは、注記表示されます。

OK キーを押すと、上書きし、もとの画面にもどります。

取消 キーを押すと、上書きせずに、もとの画面にもどります。ファイル名を変更してから、保存してください。

●編集例



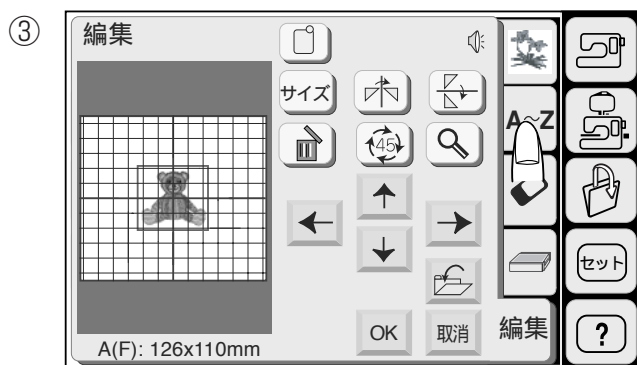
★内蔵模様と文字の組み合わせ

例.内蔵模様#41とモノグラム(ゴシック)「Bear」

① 内蔵模様#41を選びます。



② 編集キーを押します。



③ モノグラム選択キーを押します。



④ 「B」(大文字)を選びます。



⑤ 大文字/小文字選択キーを押して、小文字を選びます。

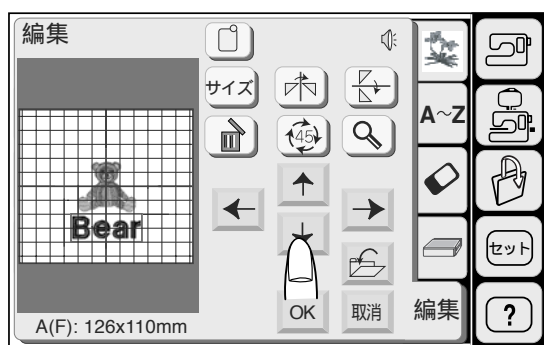
⑥ ⑦



⑥ 「e」、「a」、「r」と選びます。

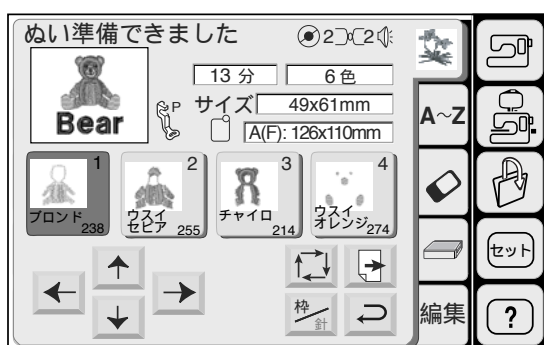
⑦ 「OK」キーを押します。

⑧



⑧ ジョグキー、または指で文字を好きな位置に移動します。

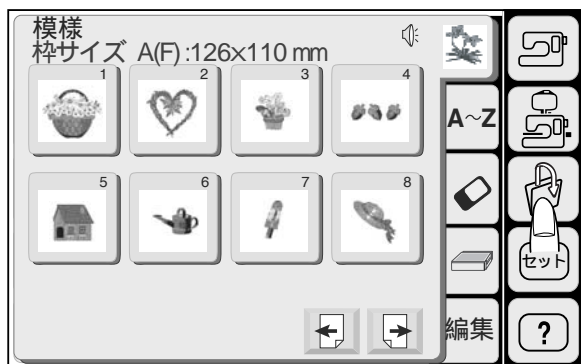
⑨



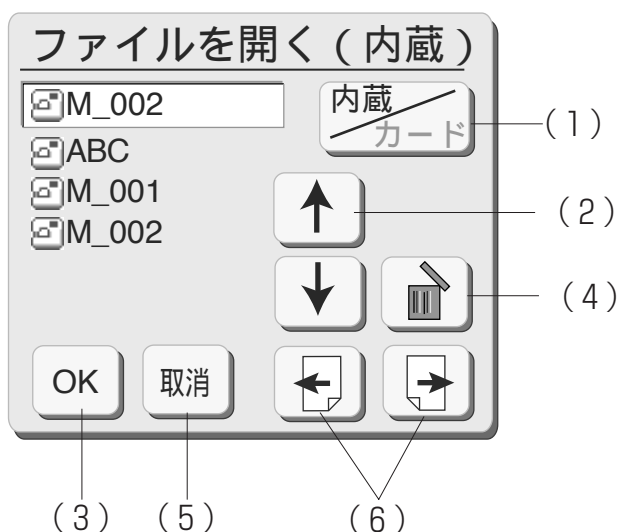
⑨ 刺しゅう画面に切りかわりますので、ミシンをスタートしてぬいます。



◎ファイルオープンキー



ファイルオープンキーを押すことによって、記憶された刺しゅう模様のファイルがリストアップされます。リストアップされた一覧から目的の模様ファイルを選択してぬいます。



(1) キーで模様ファイルが保存されている場所（マシン、またはカード）を選択します。

(2) キーを使い、目的の模様ファイルに合わせます。

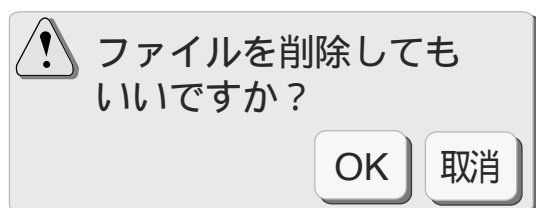
(3) キーを押すと目的の模様ファイルが選択され、ぬい画面が表示されます。

(4) キーを押すと、「ファイルを削除してもいいですか？」の表示が出ます。
「OK」キーを押すと、選択された模様ファイルは削除され、もとの画面にもどります。
「取消」キーを押すと、選択された模様ファイルは削除されずに、ファイルを開く画面にもどります。

連番ファイル名を削除したとき、次に保存するときの連番ファイル名は、削除したファイル名にはなりません。
例) M_001からM_006が保存されていて、M_001を削除したとき、次にセーブする連番ファイル名は、M_007になります。

(5) キーを押すとファイル内の模様は選択されずもとの画面にもどります。

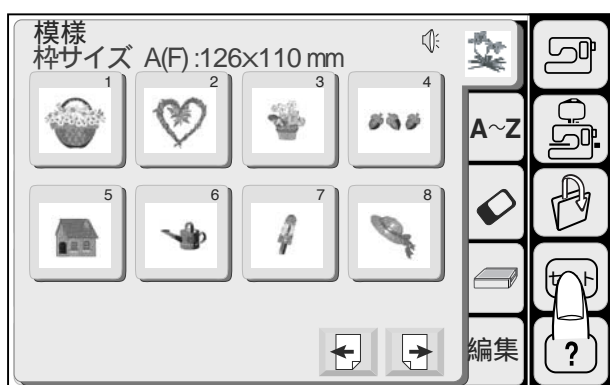
(6) キーでページを切りかえます。



◎ミシンの好みセット

★セットキー

ミシンのセット専用画面が表示されます。



(1) セットキー

キーを押すと、ミシンの状態をお好みの状態にセットすることができます。

(2) 言語選択キー

使用する言語3カ国を選択することができます。

(3) コントラスト

表示画面の色合いと明るさの調節ができます。

+ キーを押すと、色合いが濃く画面は暗くなります。

- キーを押すと、色合いが淡く画面は明るくなります。

(4) 音量

キー操作時のブザー音量をかえることができます。

+ キーを押すと大きくなります。

- キーを押すと小さくなります。

表示数値は0～10までで、音の大きさの目安として調節してください。初期値（購入時の設定状態）は5です。

(5) 省エネモード

電源を入れたままだでも、ミシンを使用しないとき、一定時間がたつと表示画面とランプが消えます。消えるまでの時間を1分から30分の間で設定することができます。

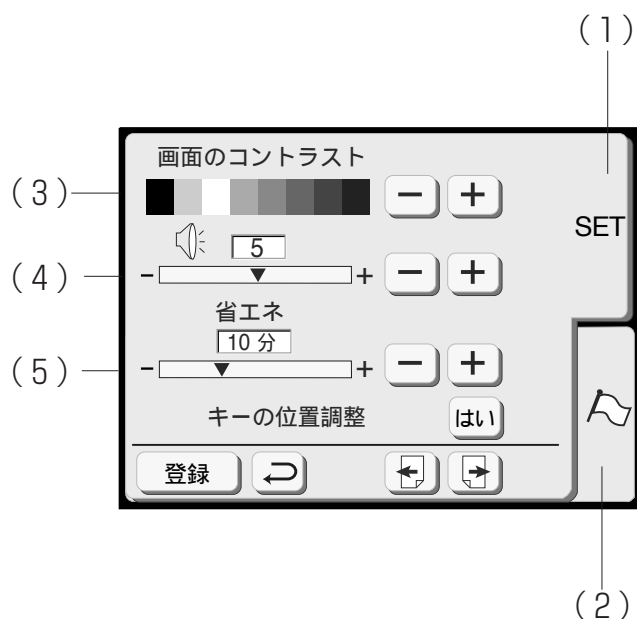
消えている状態で画面に触れると、もとにもどります。

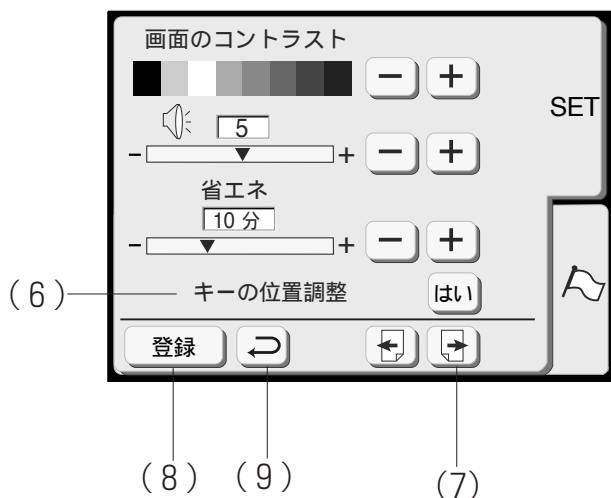
+ キーを押すと設定時間は長くなります。

(30分の次は「OFF」省エネモード解除になります。)

- キーを押すと設定時間は短くなります。

初期値（購入時のセット状態）は10分です。





(6) キーの位置調整

「タッチパネル」のキー位置調節ができます。画面と実際のキー位置がずれていて、うまく押せないときに下記の方法で調節します。

キーを押すと、【A】の表示がでますので、表示されている+を順番に指で軽く押していきます。最後の+表示を押すと【B】表示され調節が終了します。

(7) ページキー

キーはうしろのページに他の項目があることを示します。

(8) 登録

設定した状態を登録し、もとの選択していたモードにもどります。

(9) もどりキー

キーを押すと、変更した状態を登録せずにもとの選択していたモードにもどります。

(10) フリーアーム

刺しゅう用のキャリッジを移動し、フリーアーム長さを調節することができます。

キーを押すとフリーアーム部が長く使えます。

キーを押すとキャリッジは収納位置にもどります。

(11) 刺繍最高ぬい速度キー（刺しゅうモード）

ぬい速度を400～650spm（針/分）のあいだでかえることができます。

デフォルト値は650spm（針/分）です。

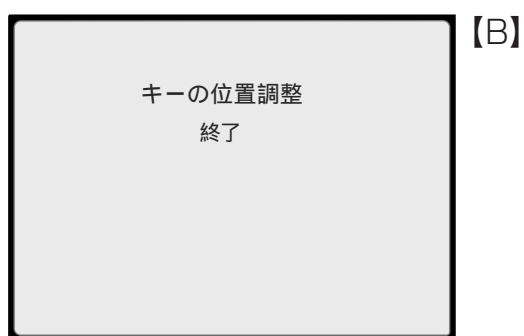
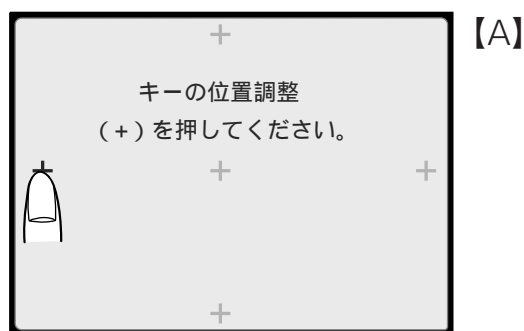
キーを押すと、速度は遅くなります。

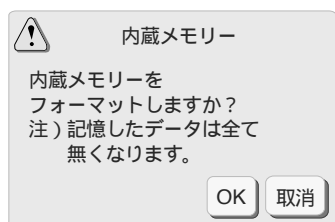
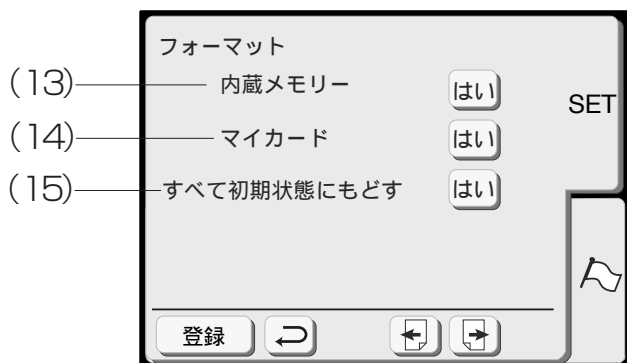
キーを押すと、速度は速くなります。

※小さい模様をきれいにぬうときには、速度を遅くしてください。

(12) ミシンランプ

ランプの「入」「切」を選択することができます。





(13) フォーマットキー（内蔵模様）

内蔵メモリー **はい** を選択したときに、「内蔵メモリーをフォーマットしますか？」と表示されます。

OK キーを押すとフォーマットします。

取消 キーを押すともとの画面にもどります。

(14) フォーマットキー（マイカード）

マイカードを挿入し、マイカード **はい** を選択したときに、「フォーマットしますか？」と表示されます。

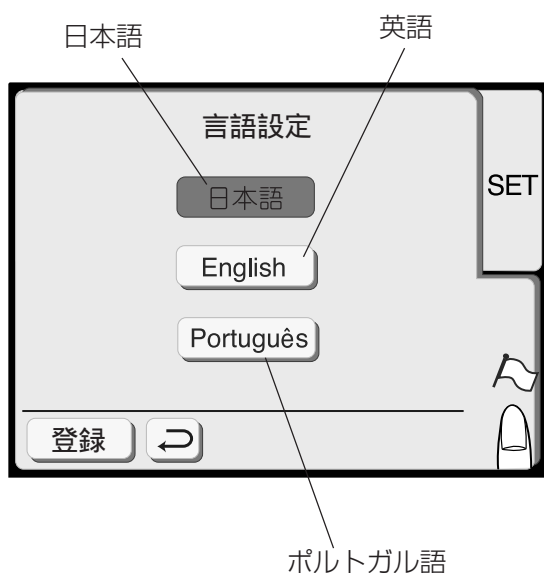
OK キーを押すとフォーマットします。

取消 キーを押すともとの画面にもどります。

(15) すべて初期状態にもどす

ミシンのセット状態をすべて初期値（購入時の設定状態）にもどします。

（注記）言語設定は初期値にはもどりません。

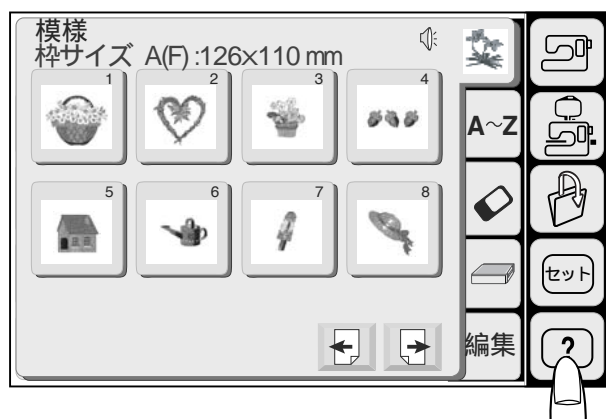


★言語設定キー

それぞれの言語キーを直接押して選びます。

◎ヘルプキー

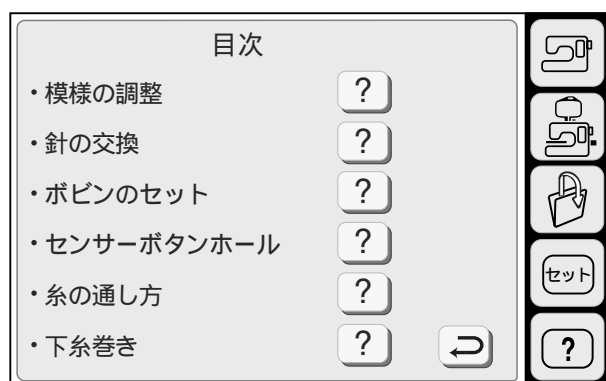
①



ヘルプキーを押すと、ミシンの重要な基本動作6項目の説明を見ることができます。

① ヘルプキーを押します。

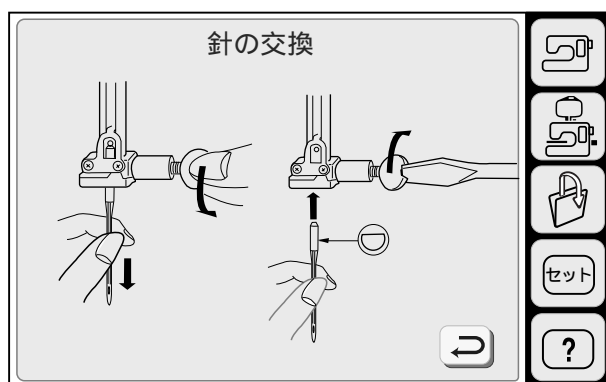
②



② 目次の **?** キーを押します。

↶ キーを押すと、はじめの画面にもどります。

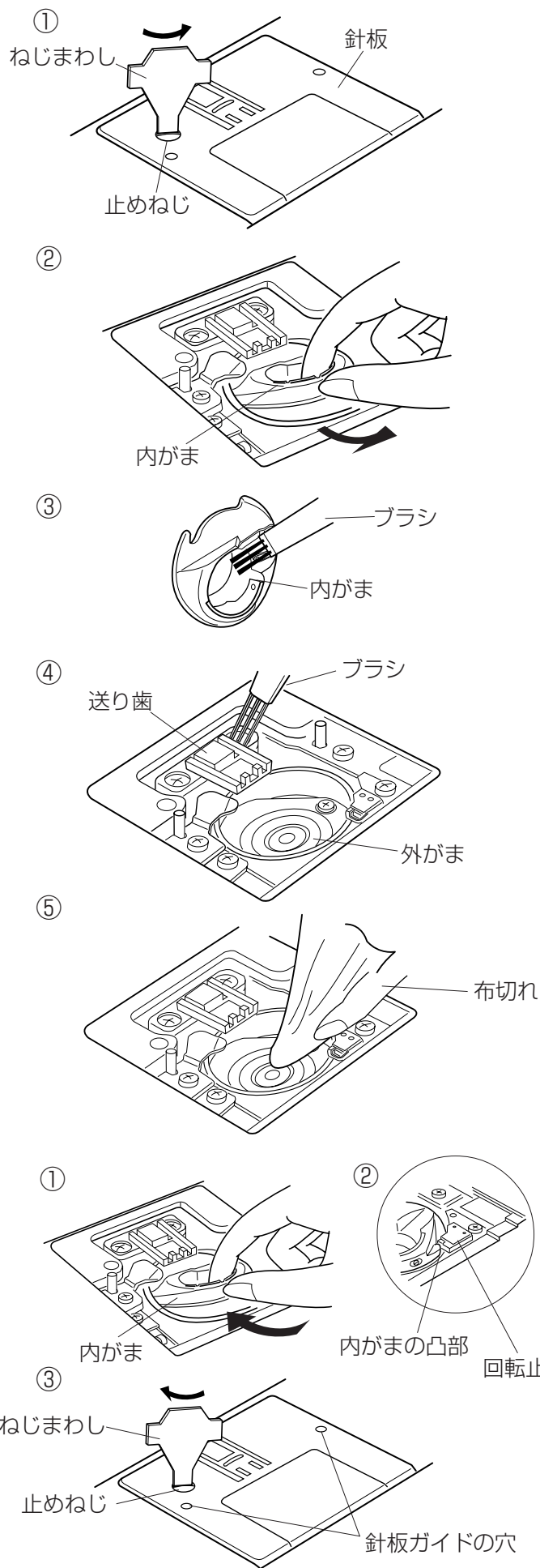
③



③ 説明画面が表示されます。

↶ キーを押すと、目次画面にもどります。

◎ミシンのお手入れ



●かまの掃除

⚠注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - 説明されている場所以外は、分解しないでください。
- 感電・火災・けがの原因になります。

- ① 針と押さえを外します。
針板止めねじを外し、針板を外します。
- ② ボビンを取り出し、内がまは手前を上へ引きながら外します。
- ③ 内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。
- ④ 送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- ⑤ 外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

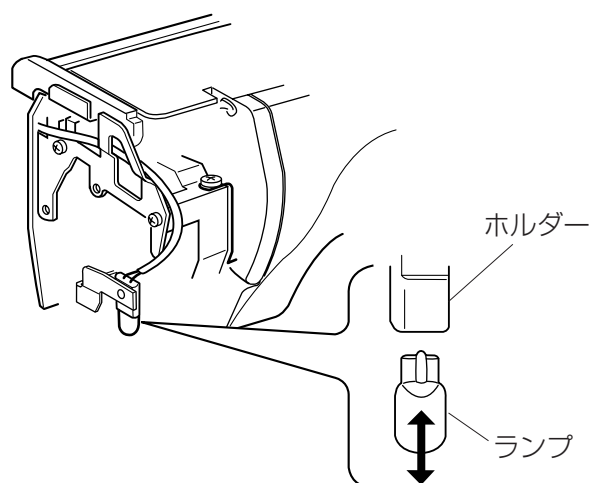
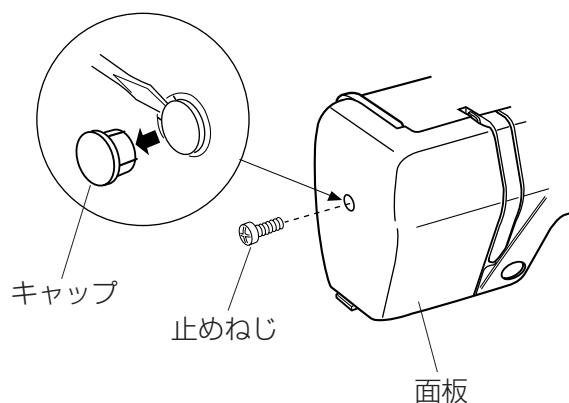
※ ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸い取ってください。

●内がまと針板の組み付け

- ① 内がまを差し込みます。
- ② 内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
- ③ ボビンを入れ、2カ所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴を合わせ、止めねじをしめます。

※ お手入れが終わったら、忘れずに針と押さえを付けてください。

●ランプの取りかえ



△注意

ランプを交換するときは、

- 必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行なってください。
- また、ランプが冷えてから行なってください。

感電・やけどの原因になります。

【取り外し】

- ① キャップを外し、止めねじを左にまわして外し、面板を外します。
- ② ランプをホルダーからそっと引き抜き外します。

【取り付け】

- ③ ランプをソケットの穴に合わせながら、差し込みます。
- ④ 止めねじを右にまわして、面板を取り付け、キャップを取り付けます。

◎ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
音が高い。	①かまの部分に、布ぼこり、糸くずが巻きこまれている。 ②送り歯に、布ぼこり、糸くずがたまっている。	101ページ参照 101ページ参照
上糸が切れる。	①上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところ にからみついている。 ②上糸調子が強すぎる。 ③針が曲っていたり、針先がつぶれている。 ④針の付け方がまちがっている。 ⑤針にくらべて、糸が太すぎる。 ⑥ぬい始めに、上糸・下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 ⑦ぬい始めに、上糸を糸押さえにかけていない。	15ページ参照 19ページ参照 18ページ参照 18ページ参照 18ページ参照 23ページ参照 (刺しゅうぬい) 75ページ参照
下糸が切れる。	①下糸の通し方が、まちがっている。 ②内がまの中に、布ぼこり、糸くずがたまっている。 ③ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。	14ページ参照 101ページ参照 ボビンを交換する。
針が折れる。	①針の付け方がまちがっている。 ②針が曲っていたり、針先がつぶれている。 ③針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 ④上糸調子が、特に強すぎる。 ⑤ぬい終わったとき、布を向こう側に引いていない。 ⑥布にくらべて、針が細すぎる。	18ページ参照 18ページ参照 18ページ参照 19ページ参照 24ページ参照 (通常ぬい) 18ページ参照
液晶表示が見にくい。	①画面のコントラストが合っていない。 ②長時間ミシンを使用した。	97ページ参照 画面のコントラストを再調整する。
ぬい目がとぶ。	①針の付け方がまちがっている。 ②針が曲っていたり、針先がつぶれている。 ③布に対して、針と糸が合っていない。 ④伸縮性のある布や目とびしやすい布地などのとき、ブルー 針を使っていない。 ⑤上糸のかけ方がまちがっている。 ⑥品質の悪い（錆びている、針穴の仕上げが悪い）針を使用 している。 ⑦押さえ圧が弱い。 ⑧刺しゅう枠が正しく取り付けしていない。 ⑨刺しゅう枠に布をきちんと張っていない。 ⑩伸縮性のある布に芯地を使っていない。	18ページ参照 18ページ参照 18ページ参照 18ページ参照 15ページ参照 針を交換する。 20ページ参照 (刺しゅうぬい) 74ページ参照 (刺しゅうぬい) 73ページ参照 芯地を貼る。
ぬい目がしわに なる。	①上糸調子が合っていない。 ②上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の 部分にからみついている。 ③布にくらべて針が太すぎる。 ④布にくらべてぬい目があらずすぎる。 ⑤押さえ圧が合っていない。 ※特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。 ⑥うすい布や、伸縮性のある布に対して、芯地を使っていない。	19ページ参照 14,15ページ参照 18ページ参照 ぬい目を細かくする。 20ページ参照 芯地を張る。

調子が悪い場合	その原因	直し方
ぬいずれがおこる。	①押さえ圧が合っていない。	20ページ参照
布送りがうまくいかない。	①送り歯に糸くずがたまっている。 ②押さえ圧が弱い。 ③ぬい目が細かすぎる。 ④厚手の布のぬい始めに、布が送られない。 ⑤送り歯があがっていない。	(通常ぬい) 101ページ参照 (通常ぬい) 20ページ参照 (通常ぬい) ぬい目をあらくする。 (通常ぬい) 23ページ参照 (通常ぬい) 20ページ参照
ミシンがまわらない。	①コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 ②かまに、布ぼこり、糸くずがたまっている。(このとき、ミシンの安全装置がはたらいて、モーターを自動停止します。) ③電子回路の制御手順にズレが生じている。 ④フットコントローラーが接続されたままで、スタート・ストップボタンを使用している。 ⑤フットコントローラーで刺しゅうぬいをしようとしている。	7ページ参照 101ページ参照 電源スイッチを切り、ふたたび入れて模様をセットしてください。 (通常ぬい) フットコントローラーを外す。 (刺しゅうぬい) 79ページ参照
スイッチONで異常音。 (ミシンがまわらない。)	①キャリッジとアームのあいだに布などがはさまっている。	はさまっているものを取り除く。
模様が整わない。	①指定の押さえを使用していない。 ②上糸調子が強すぎる。 ③布に対して送りが合っていないため、模様・文字・数字が整わない。 ④うすい布や伸縮性のある布に対し、芯地を使っていない。 ⑤刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 ⑥キャリッジの刺しゅう取り付けレバーがゆるんでいる。 ⑦キャリッジの周辺に置いてあるものにあたっている。 ⑧刺しゅうのとき、布が引っかかっているか、はさみ込まれている。 ⑨上糸がなくなったときの布裏の処理がわるい。	指定の押さえを使用してください。 19ページ参照 (通常ぬい) 71ページ参照 芯地を貼る。 (刺しゅうぬい) 74ページ参照 (刺しゅうぬい) 75ページ参照 キャリッジの周辺にものを置かない。 (刺しゅうぬい) 布を正しい位置に直す。 布裏の余分な上糸を切ってください。

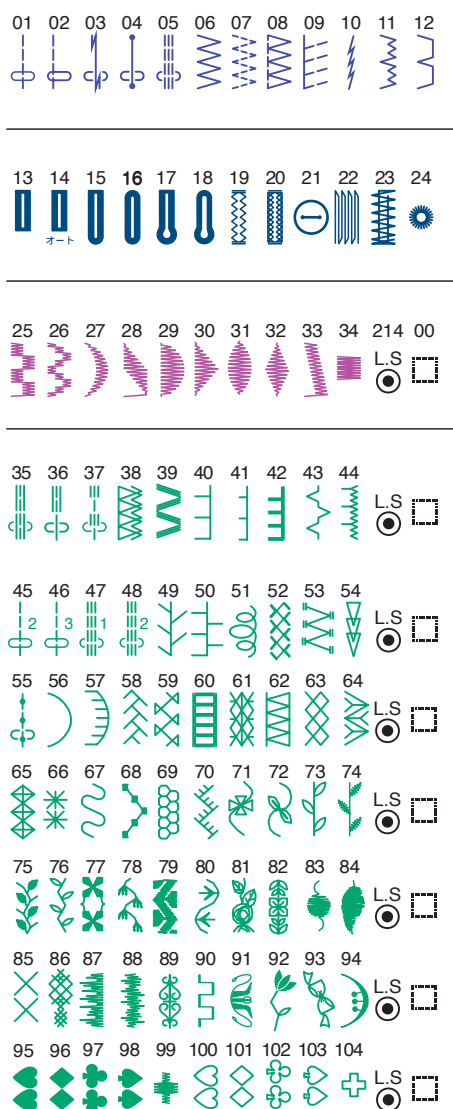
調子が悪い場合	その原因	直し方
ボタンホールがうまくいかない。	①布に対して、ぬい目のあさが合っていない。 ②伸縮性のある布のとき、伸びにくい芯地を使っていない。 ③指定された押さえを使用していない。 ④BHレバーがさがっていない。	(通常ぬい) 43ページ参照 (通常ぬい) 芯地を貼る。 (通常ぬい) 39ページ参照 (通常ぬい) 40ページ参照
模様が選べない。	①キーの位置調整がずれている。 ②電子回路の制御手順にズレが生じている。 ③通常ぬいモード・刺しゅうぬいモードの選択がまちがっている。	98ページ参照 電源スイッチを切り、再び入れて 模様をセットしてください。 21ページ参照

※ (通常ぬい) と記載があるものは、通常ぬいの場合

(刺しゅうぬい) と記載があるものは、刺しゅうぬいの場合にあてはまります。

何も記載のない項目は、通常ぬい、刺しゅうぬいに共通な場合です。

◎模様一覧表 実用ぬい



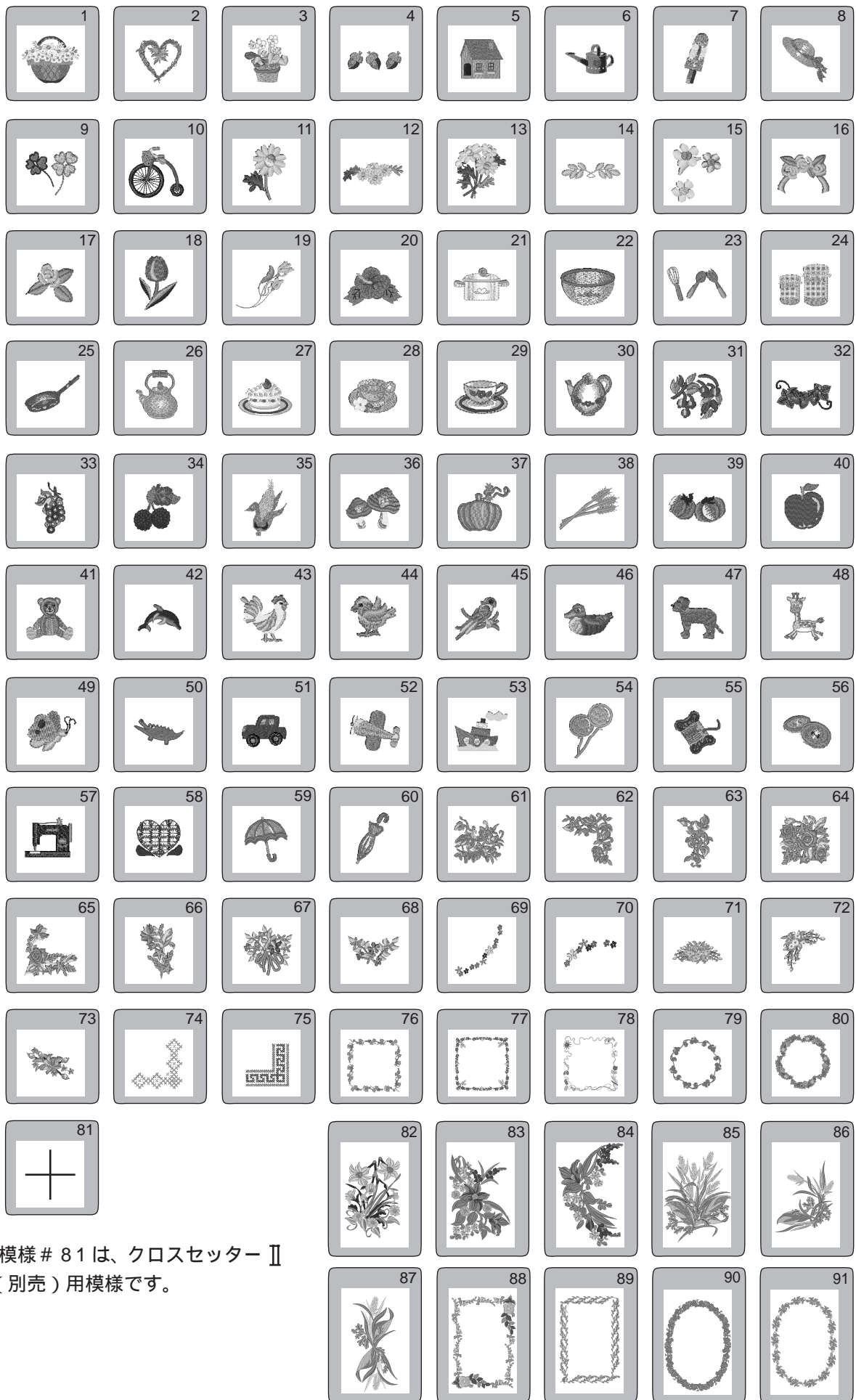
ブロック



明朝体



内蔵模様



模様 # 81 は、クロスセッター II
(別売) 用模様です。

ゴシック

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z □ □ .
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z □ □ .
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 & _ \$ @
. , ? ! () ' ' < > - □ □

スクリプト

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z □ □ .
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z □ □ .
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 & _ \$ @
. , ? ! / ' ' < > - □ □

チェルトナム

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S T U V W X Y Z □ □ .
a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z □ □ .
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 & _ \$ @
. , ? ! () ' ' < > □ - □

明朝体

あいうえおかきくけこさしすせそ
たちつてとなにぬねのはひふへほ
まみむめもやゆよ□□らりるれろ
わをん、。あいうえおっやゅよー
アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホ
マミムメモヤユヨ□□ラリルレロ
ワラン、。アイウエオッヤユョー
小中学校幼稚保育園年組部係班子
供父母入卒式会社祭男女名前住所
春夏秋冬元気晴雨曇雪結婚御見舞
待引越礼知慶新誕様交通安全祝休
株生才時分曜日月火水木金土□一
二三四五六七八九十

まるもじ

あいうえおかきくけこさしすせそ
たちつてとなにぬねのはひふへほ
まみむめもやゆよ□□らりるれろ
わをん、。あいうえおっやゅよー
アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホ
マミムメモヤユヨ□□ラリルレロ
ワラン、。アイウエオッヤユョー

3-エンブレム / 2-エンブレム

